

認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて
環境学習交流センター
岩手県地球温暖化防止活動推進センター

活動報告書

2018年4月 → 2019年3月



i n d e x

● 認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

01 自主事業	3 ページ
---------	-------

● 環境学習交流センター

02 情報誌てとて／いわて環境情報板	5 ページ
03 環境学習交流センター内での展示／特別企画展示	7 ページ
04 環境学習講座	13 ページ
05 アイーナ入居施設との団体協力	17 ページ
06 訪問学習の受け入れ	18 ページ
07 いわてこどもエコクラブ等ネットワークの構築	20 ページ
08 環境アドバイザーの派遣	21 ページ
09 エコカーゴによる出張環境学習会	50 ページ
10 流域活動支援	55 ページ

● 岩手県地球温暖化防止活動推進センター

11 いわてわんこ節電所	57 ページ
12 省エネ・節電キャンペーン	58 ページ
13 いわて温暖化防止フェア	59 ページ
14 岩手県地球温暖化防止活動推進員の派遣	65 ページ
15 いわて森のゼミナール推進事業	78 ページ

● 認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

●環境パートナーシップいわて 自主事業

会員はもとより、一般市民が気軽に参加できる事業を展開しております。

01

◆市民提案プロジェクト

	事業名	着物のリメイク支援プロジェクト
	活動期間・日時	平成30年6月～9月
	場所	陸前高田市
	協力者	NPO法人まあむたかた
内容	環境パートナーシップいわての小赤澤直子理事が、復興支援として全国からいただいた着物を使った着物リメイク講座を開催。10月8日にアイーナで行われた復興バザーでは、完成した洋服を着て支援してくださった方々へのお礼の気持ちをこめ、着物リメイク講座に参加した皆さんがモデルになりファッションショーを行った。	

	事業名	アイーナ夜学
	活動期間・日時	毎月第3金曜日19時～
	場所	いわて県民情報交流センター(アイーナ) 団体活動室等
	協力者	会員・市民・大学教授・学生等
内容	平成18年4月アイーナ開館当初より月1回開催。持続可能な地域社会を実現する新しい産業・都市・住居の階層モデルの提案を行う。30年度はデンマークの再生可能エネルギー状況の視察も行った。	

	事業名	被災地自然再生をベースにした新たな連携
	活動期間・日時	平成30年5月～10月
	場所	釜石市鵜住居根浜海岸
	協力者	根浜地区海岸林再生実行委員会
内容	釜石市鵜住居町の根浜海岸は、震災により海岸林が消失するなどの大きな被害を受けた。関係機関が連携し再生のための対策を進める。当法人は、根浜海岸再生のために組織された実行委員会の中核を担い、根浜海岸自然再生事業に携わる。地元の環境保全団体、中学校、釜石市、町内会、振興局、県立大学などが共同し根浜海岸の清掃、海浜植物の再生、植樹などを行った。	

	事業名	世界首長誓約/日本の推進 サステナビリティフォーラム2018
	活動期間・日時	2018年6月24日(日)
	場所	アイーナ4F県民プラザ
	協力者	環境省東北地方環境事務所、岩手県、岩手大学、温暖化防止いわて県民会議、プラチナ構想ネットワーク、盛岡商工会議所、東北環境パートナーシップオフィス
内容	欧州連合(EU)が2008年から進める「世界気候エネルギー首長誓約」(Covenant of mayors for Climate and Energy)は、持続可能なエネルギーの推進、温室効果ガスの大幅削減、気候変動の影響への適応など、持続可能でレジリエント(強靱)な地域づくりを目指す取り組みである。パリ協定の目標の達成に貢献しようとする自治体の首長が、その旨を誓約し、具体的な行動計画の策定と、地域での取り組みを進める国際的な仕組みで、名古屋大学に「世界首長誓約/日本」の事務局が立ち上がり、全国各地域の自治体首長に対し、温暖化対策の必要性を訴える。当法人は、県内首長にこの趣旨を知らせるため、6月24日に国内初となる世界首長誓約/日本の推進の説明会をアイーナ4F県民プラザにて開催した。	

	事業名	アース王子の環境教育
	活動期間・日時	平成31年3月10日(日) 10:00～15:00
	場所	滝沢市ビッグルーフ滝沢
	協力者	滝沢市自治会連合会、エココネク(株)、滝沢市、滝沢市教育委員会、滝沢市商工会、滝沢市PTA連絡協議会、滝沢市学童保育連絡協議会、滝沢市内保育園、幼稚園、岩手県地球温暖化防止活動推進員
内容	地球環境を守る手段として、ゴミ減量は大きな成果がある。現代社会の中でゴミゼロを目指すことは難しいが資源ごみの回収等を通して「ゴミ減量」の取り組みはさまざまな形で出来る。すでにスーパーやコンビニ、自治会、子ども会、教育機関、環境保全団体等様々な形で多くの県民が取り組む。本事業は、新たな資源ごみの回収方法として、これからの担う子どもたちを対象に、みんなで楽しく気軽にエコ活動に参加できる「リサイクルステーションの体験」を提供し、この体験を通して、ゴミ減量の推進とCO2排出量の削減に繋げようとするものである。	

	事業名	カーボンオフセットの推進
	活動期間・日時	2018年6月24日(日)・11月17日(土)・18日(日)
	場所	アイーナ4F県民プラザ
	協力者	三田農林株式会社
内容	事業活動で出るCO ₂ を削減するため森林が生み出すCO ₂ の排出権を購入し相殺する仕組みがカーボン・オフセットである。当法人では三田農林株式会社が進める間伐促進型プロジェクトの排出権を購入し、CO ₂ のオフセットを行う。30年度は、自主事業であるサステナビリティフォーラム2018の来場者約100名の会場までの移動にかかる排出量102kg-CO ₂ と、共催事業であった「住宅とエネルギーを考える展」の来場者約400名の同じく移動にかかるCO ₂ 排出量401kg-CO ₂ の合計503kg-CO ₂ をオフセットした。排出権無効化の方法は、環境省のJ-VÉR用無効化口座に移転し実施される。三田農林の森林がCO ₂ を吸収して出来た排出権は、環境省の検査を受け1,302トン分が認定されている。今後も当法人は排出権を継続して購入し、岩手の森林の育成を支援する。	



● 環境学習交流センター

環境学習交流センターでは、センターの情報や岩手県内のイベント情報を掲載している情報誌「てとて」を年3回発行しております。

No.38



2018年8月号

- いわて夏エコ☆キャンペーン特集
- いわてわんこ節電所
 - 地球温暖化の最新情報を続々配信中です！
- 団体紹介
 - ・大野の自然を守る会(洋野町)
 - ・きたかみ地球温暖化対策協議会(北上市)
- センター情報
 - ・市民公開講座「今伝えたい地球温暖化最前線国・キリバスのこと＝いつまで他人事?＝」開催しました
 - ・「訪問学習」ご利用申込を受付中！
- 県内のイベント情報
- 環境学習交流センターからイベントのお知らせ

No.39



2018年12月号

- イベント報告：鶏糞バイオマス発電所見学会
- センター情報
 - ・展示「みんなが作ったエコハウス写真展」
 - ・9月環境学習講座「カークラフトをつくってみよう！」
 - ・新着図書の貸出も好評です！
- 団体紹介
 - ・矢沢地域の自然保護を考える会(花巻市)
- 「いわて温暖化防止フェア」が開催されました！
- 「いわて冬エコ☆キャンペーン」&いわてわんこ節電所プレゼントキャンペーン
- 県内のイベント情報
- 環境学習交流センターからイベントのお知らせ

No.40



2019年3月号

- センター情報
 - ・冬休み特別企画
 - 「未来に続く家づくり～リサイクル材料でつくるエコハウス工作教室Part2～」
 - 「こどもエコクラブ交流会in岩手県立県北青少年の家」
- 「SDGs」達成に向けた取組が広がっています！
- 取材報告：「いわて環境学習応援隊」企業～株式会社 環境整備～
- 「環境学習応援隊」を知っていますか？
- 「いわてわんこ節電所」に参画していただける企業・団体を募集しています！
- 県内のイベント情報
- 環境学習交流センターからイベントのお知らせ

いわて環境情報板<<http://www.iwate-eco.jp/known/mailmag.html>>

岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報などを中心にホームページにてお知らせしています。環境という広範囲な話題を皆さんにとって身近に感じられるように、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けします。毎月末更新。

4月号	●特集:SDGs(持続可能な開発目標) ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～1月分～ ●県境産廃いわてだより
5月号	●特集:「山んばサミット岩手」へ行ってきました！ ●「ネイチャーゲームリーダー養成講座」開催のお知らせ(8/18～8/19) ●平成30年度第1回岩手県再生資源利用認定製品の認定申請受付について ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～2月分～
6月号	●特集:6月5日は「環境の日」！環境を守るために行動しよう！ ●平成30年度「クリーンいわて運動」の実施について ●ネイチャーゲームのイベント並びに「ネイチャーゲームリーダー養成講座」開催のお知らせ ●「りば～るくんの郷(さと)づくりパートナー」認定制度スタート！基礎研修6月26日開催！ ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～3月分～
7月号	●特集:いわて夏エコ☆キャンペーンに参加しよう！ ●「りば～るくんの郷(さと)づくりパートナー」認定制度現地研修7月20日(金)開催！ ●第13回「みどり香るまちづくり」企画コンテストについて ●県境産廃いわてだより ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～4月分～
8月号	●特集:夏の星空観察をしてみよう！ ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～5月分～
9月号	●特集:第6回「環境省グッドライフアワード」締切迫る！(9/24) ●守ろうオゾン層 防ごう地球温暖化！！～9月はオゾン層保護対策推進月間です～ ●9/24から10/1までは『環境衛生週間』です ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～6月分～
10月号	●特集:みんなで学ぼう！「いわて温暖化防止フェア」開催 ●岩手県シェアリングネイチャー協会から～10月の「全国一斉シェアリングネイチャーの日」とイベントのお知らせ～ ●10月は『3R推進月間』です！ ●10月は『食品ロス削減啓発月間』です！ ●平成30年度第2回岩手県再生資源利用認定製品の申請受付について ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～7月分～ ●県境産廃いわてだより
11月号	●特集:11月「エコドライブ推進月間」 ●「いわて温暖化防止フェアin北上」開催間近！ ●実践！北上川上流域の森・里・川を守る取組み～「りば～るくん」と考えるふるさとの環境～ ●いわて環境塾で「SDGs」をテーマとした講座を開催します ●プラスチックごみ削減の取組をみんなでシェアしましょう！ ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～8月分～
12月号	●特集:「実践！北上川上流域の森・里・川を守る取組み」へ行ってきました！ ●「東北ESDフォーラムin岩手」開催 ●「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」のお知らせ ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～9月分～
1月号	●特集:「低炭素杯2019」に盛岡市立下橋中学校が出場！ ●岩手県シェアリングネイチャー協会「丸ごと雪を楽しむ」イベント開催！ ●平成30年度「水と緑の交流フォーラム」開催 ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～10月分～
2月号	●特集:2月「省エネルギー月間」ライフスタイルを見直そう！ ●県南広域振興局環境交流フォーラム～2030年の未来のために～ ●冬の星空を観察してみませんか ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～11月分～
3月号	●特集:「いわて三陸ふるさとの魅力再発見事業意見交換会」へ行ってきました！ ●「いわて環境報告書バンク」に掲載する環境報告書を募集しています ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)～12月分～
※常時掲載:環境学習交流センターからのお知らせ、環境保健研究センター新着情報、助成金情報、おすすめメールマガジン、県内のイベント情報	

●環境学習交流センター内での展示／特別企画展示

03

アイーナ5Fの展示スペースを利用し、県内企業の取組や生活に役立つエコな情報等、環境・地球温暖化に関する情報発信を行っています。

No	1	展示名	「からだと暮らしにこちいい」
		協力	Käsiフレンドリー
		展示期間	平成30年4月1日(日)～4月20日(金)
		内容	「からだと暮らしにこちいい」をキーワードに、オーガニックコットンやリネンといった素材にこだわった着心地のいいウェア、雑貨、食品など国内外のブランドのセレクト(フェアトレード)ショップの紹介。

No	2	展示名	100年後の子どもたちに今、できることをはじめよう！
		協力	特定非営利活動法人 紫波みらい研究所
		展示期間	平成30年4月21日(土)～5月20日(日)
		内容	紫波みらい研究所は「100年後の子どもたちによりよい紫波を残す」という未来づくりをするために設立された。いのちの繋がりを考え、自然と調和した暮らし方を学び、話し合い、行動していく場づくりを行っている。次の世代、その次の世代の子どもたちによりよい紫波を引き継いでいくことをめざしている。紫波みらい研究所の活動の一端をパネルで紹介。

No	3	展示名	産業の活性化、漆植栽の普及のために。TAKUO プロジェクトは動き出した。
		協力	株式会社浄法寺漆産業
		展示期間	平成30年5月21日(月)～6月20日(水)
		内容	優れた職人に与えられるTAKUMIプロジェクトに選定されたことより、漆産業の活性化、漆植栽の普及のためのプロジェクト、TAKUOプロジェクトとして紹介。

No	4	展示名	あしたの地球を考えよう
		協力	花王株式会社
		展示期間	平成30年6月1日(金)～6月30日(土)
		内容	『花王国際こども環境絵画コンテスト』入賞絵画展示。

No	5	展示名	暮らしも快適 地球も快適 これからはクリーンモデル
		協力	TOTO株式会社
		展示期間	平成30年6月21日(木)～7月31日(火)
		内容	岩手県のいわての水を守り育てる条例に伴い、水まわりに携わる企業として、節水技術などをさらに進めることで、これまでの環境活動を劇的に加速させるTOTO GREEN CHALLENGEなどの紹介。

No	6	展示名	栄養ケアのサポーター
		協力	イーエヌ大塚製薬株式会社
		展示期間	平成30年8月1日(水)～8月31日(金)
		内容	イーエヌ大塚製薬は、科学的な証拠にもとづいた製品や情報を提供することで、病気や高齢の方が生き活きと長生き出来るように応援して、医療や介護に貢献することを目指している。摂食回復支援食“あい〜と”と、イーエヌ大塚製薬の3Rおよびその他の環境取組みをSDGsと関連づけて紹介。

No	7	展示名	りぱ〜るくんと一緒に川を知る。川を楽しむ
		協力	岩手県盛岡広域振興局保健福祉環境部
		展示期間	平成30年8月2日(木)～9月1日(土)
		内容	りぱ〜るくんが応援に来てくれたよ！！川遊びの安全対策と楽しさを紹介。

No	8	展示名	時代と環境の変化をとらえ、発展する企業を目指す(株) ジャパンセミコンダクター
		協力	株式会社 ジャパンセミコンダクター 岩手事業所
		展示期間	平成30年9月1日(土)～11月8日(木)
		内容	岩手県では、温暖化防止対策において、県内事業者をリードする模範的な事業所や、優れた取り組みを実施した事業所を「ECOアクション賞」として表彰。平成30年度表彰された5事業者のひとつであるジャパンセミコンダクター岩手事業所(北上市)の環境保全活動の紹介。材料調達から製造・廃棄に至る全ての事業プロセスにおいても環境を意識した企業活動を実践し、半導体製品の提供を通じて社会に貢献することを目指している。CSR活動、従業員の環境意識向上活動など多様な活動や社内環境情紙なども紹介。

No	9	展示名	ピーエスの室内気候は、第2の自然、活動空間。私たちピーエスは、温度と湿度の専門メーカーです
		協力	PS株式会社
		展示期間	平成30年11月9日(金)～12月28日(金)
		内容	PS株式会社は自然や気候を上手に活用することで、室内に第2の自然をつくるお手伝いをする温度と湿度の専門メーカー。産業用加湿器や除湿器、除湿型放射冷暖房ラジエーターなどの開発、製造、販売も行っている。タオルウォーマータイプのヒーターを設置し暖かさを体験できる展示とした。

No	10	展示名	愛鳥週間ポスターコンクール作品展
		協力	岩手県自然保護課
		展示期間	平成30年11月22日(木)～12月28日(金)
		内容	愛鳥週間ポスターコンクールの入賞作品を含む全作品を一挙に展示。

No	11	展示名	環境保全につながる水なし印刷、(株)ソノベが提案する『環境配慮型印刷』
		協力	株式会社ソノベ
		展示期間	平成30年1月4日(金)～2月4日(月)
		内容	有害な化学薬品の使用を抑制し、廃液を出さない印刷方式である「水なし印刷」。地球環境に対する負荷が大きな社会問題となっている現在、数多く発行されている印刷物に関しても、環境への負荷が少ない地球環境に配慮した印刷が、必要とされている。(株)ソノベの、環境負荷の軽減につながる印刷手法としての「水なし印刷」と「カーボンオフセット」を組み合わせた、より地球にやさしい印刷、環境『配慮型印刷』の紹介。

No	12	展示名	平成30年度地球温暖化を防ごう隊参加校の取組紹介(紫波町立上平沢小学校)
		協力	岩手県環境生活部
		展示期間	平成30年1月5日(金)～2月23日(木)
		内容	小学4～6年生が家庭の地球温暖化対策に取り組む活動「地球温暖化を防ごう隊」取組校が作成した壁新聞、写真等の展示。

No	12	展示名	火のある暮らしはじめませんか
		協力	薪・ペレットストーブ専門店 グリーングローブ
		展示期間	平成31年2月5日(火)～3月31日(日)
		内容	木質ペレットを燃やす時に出るCO ₂ は、樹木が成長する時に吸収したCO ₂ だけなので、化石燃料のように大気中のCO ₂ を増加させることがない。ペレットストーブは遠赤外線での体の芯から温まり、炎は、癒しの効果もあり、人にも優しいストーブ。重厚で存在感のあるイタリア製のストーブとかわいいペレット入れバケツを展示。

No	13	展示名	ぬくまる食堂
		協力	株式会社ウノーインダストリー
		展示期間	平成31年3月1日(水)～3月31日(日)
		内容	株式会社ウノーインダストリーは、株式会社共立精工から、岩手県南広域振興局環境大賞受賞式のあった2月14日に社名を変更した。社長の思いから設立に至った、ぬくまる食堂(子ども達が、気軽に集まって、手作りのご飯を食べたり遊んだり、安心して過ごす事が出来る居場所)、その他にも社長の思いがぎゅっと詰まった、株式会社ウノーインダストリーのSDGsを見据えた取り組みを紹介。

●展示・イベントの工夫

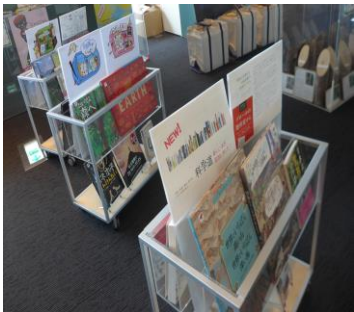
ー展示ー

No	1	展示名	SDGsについて学ぼう
		展示期間	平成30年6月1日(金)～11月21日(水)
		内容	SDGs＝Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)とは2030年までに達成すべき17の国際社会共通の目標です。SDGsについてのパネルを展示。

No	2	展示名	環境展に行ってきました！！
		展示期間	平成30年6月1日(金)～6月30日(土)
		内容	環境展に行ってみて来たことや感じたことの報告と資料展

No	3	展示名	「知りたい！」気持ちから未来をひらいた科学者たちの見方・生き方・考え方がわかる！ 科学の絵本の展示。第二弾！！
		開催期間	平成30年6月1日(金)～随時
		内容	科学が得意なきみも、苦手なきみも、昆虫ハカセに動物ハカセ、スキこそ最高の勉強だ。自然の不思議、ホネホネたんけんたい、ホネホネどうぶつえん、ざんねんないきもの事典、おいでよ森へ、もしも地球がひとつのリンゴだったら、ひとしずくの水、宇宙、油の絵本など多様な科学の絵本の展示。

No	4	展示名	昆虫の森
		展示期間	平成30年7月14日(土)～継続中
		内容	親子ら来館者が楽しみながら昆虫クラフトを作成しセンター内にある樹木に展示。このことによりセンター内の展示物として視覚的効果が高まった。昆虫も持ち帰り用とせずに継続的に展示。クラフトを作った親子がリピーターとなって来館した。

No	5	展示名	「知りたい！」気持ちから未来をひらいた科学者たちの 見方・生き方・考え方がわ・か・る、科学絵本展示第二弾！！
	展示期間	平成30年9月1日(土)～随時	
	内容	見方・生き方・考え方がわかる、科学絵本展第二弾！！ 科学絵本展に新しい書籍を追加した。 「世界でいちばん深い海」、「世界のキレイでかわいいカエル」、「やま かわ うみ の知をつなぐ」など、そして「宮沢賢治の地学」まで、盛沢山の絵本の展示。	

No	6	展示名	みんなが作ったエコハウス写真展 こんな作ったよ！！
	展示期間	平成30年9月1日(土)～10月8日(月)	
	内容	8月の夏休みに開催したエコハウス工作教室の工作作品と作製中の様子の写真展。	

No	7	展示名	森林、3RについてSDGsから考えてみましょう！！10月は木づかい推進月間、3R推進月間、食品ロス削減啓発月間、容器包装廃棄物の減量強化月間です。
	展示期間	平成30年9月1日(土)～10月8日(月)	
	内容	SDGs＝Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)とは2030年までに達成すべき17の国際社会共通の目標です。貧しい国も、豊かな国も、すべての国々に対して、豊かさを追求しながら、地球を守ることを呼びかけています。SDGsについて理解を深め、10月を森林や3Rについて考える月にする啓発パネル展。	

No	8	展示名	手回し発電で風船を浮かべてみよう！
	展示期間	平成30年11月1日(木)～継続中	
	内容	手回し発電機の外観をハウス型にし、視覚的に興味を持つ体験ツールとした(手回し発電すると風船が浮き、楽しみながらエネルギーについて学ぶツールとなった)。	

No	9	展示名	11月はエコドライブ推進月間です。 あなたも今日からエコドライバー
	展示期間	平成30年11月1日(木)～11月30日(金)	
	内容	地球とお財布にやさしいエコドライブを始めましょう！あなたのちょっとした心がけひとつで、二酸化炭素排出量の削減につながります。「エコドライブ10のすすめ」を解説したパネルなどの展示。	

No	10	展示名	12月は地球温暖化防止月間です。 未来の地球のために
	展示期間	平成30年12月1日(土)～12月28日(金)	
	内容	地球温暖化のメカニズム、20世紀末はどうなるの？そして、具体的な、二酸化炭素の排出状況、家庭でできる省エネ行動などについての説明パネル展示。盛岡市発行の広報もりおか12月1日号では、特集として地球温暖化をとりあげています。未来の地球のために、ひとりひとりができることを提案。	

No	11	展示名	2月は省エネルギー月間です。
	展示期間	平成31年2月1日(金)～2月28日(木)	
	内容	冬季は暖房の使用などによってエネルギーの消費量が多い季節。2月は「省エネルギー月間」です。暖房が過度にならないよう気をつけるなど、毎日の暮らしの中で一人ひとりが省エネルギーを実践することの大切さを訴えるパネルや、『我が家の冬はZOO(ズー)っとおトク』というポスターをセンター入口壁面に展示。	

No	12	展示名	エコ×アート展
	展示期間	平成31年3月1日(金)～3月31日(日)	
	内容	季節の草花や野菜・果物などをじっくり観察することで、身近な自然に親しむ心を育んできた水彩画サークル「エコ×アート」。会員の皆さんが描いた作品を一挙に展示。	

●土日環境学習講座

04

環境学習講座の中でも定期的開催されている、通称『土日講座』。参加者が気軽にふらっと立ち寄れる講座として、本格的なお話から体験型のイベント、工作等さまざまな内容やテーマで開催しています。

番号	1	講演タイトル	【土日講座】もりおか 星空セミナー	
	日時	平成30年4月14日(土) 13:30～15:00		
	講師	吉田 偉峰氏		
	参加者数	16名		
内容	● 星空環境の現状と課題、保全と対策 ● 盛岡周辺の星空・岩手県内の星空・全国の星空環境 ● 写真から見る空の魅力 ● 星空環境の問題点			

番号	2	講演タイトル	【土日講座】「今伝えたい地球温暖化最前線国・キリバスの事＝いつまで他人事？＝	
	日時	平成30年5月12日(土) 10:30～12:30		
	講師	ケンタロ・オノ氏		
	参加者数	43名		
内容	キリバス共和国は太平洋のど真ん中、21世紀を最も早く迎えた大変美しい人口11万人の島国。そんな小さな国が直面している地球温暖化＝気候危機、他人事ではないことへの理解を深め今私たちに出来ることを考える講演であった。			

番号	3	講演タイトル	【ミニ講座】①「フラワーチャームを作ってみよう！」②「SDGSとつながる一歩」	
	日時	平成30年5月19日(土) 10:00～16:00		
	講師	センタースタッフ		
	参加者数	①30名 ②13名		
内容	①(公財)岩手県国際交流協会・JICA東北・環境学習交流センター連携事業として「2018世界フェアトレード・デーinいわて」が開催された。環境学習交流センターでは連携事業としてリサイクル工作を実施、国際交流協会内で行われたエコクラフト体験、「新聞紙エコバッグ」につけるフラワーチャーム作りを行った。②同イベント内で環境学習交流センターではJICA東北との連携で「SDGS(エス・ディー・ジーズ)とつながる一歩」と題して身近なプラスチックが海の環境に及ぼす影響について考えるワークショップを行った。			

番号	4	講演タイトル	【ミニ講座】見えたら解るのに地球温暖化	
	日時	平成30年6月23日(土) 13:30～15:00		
	講師	工藤 好博氏		
	参加者数	3名		
内容	地球温暖化防止コミュニケーターが使用できるPPを使用して地球温暖化のメカニズム及び今後の展開などをわかりやすく説明。CO2がなぜ熱を吸収するのか講師自身が知りたいと思い、そのことを参加者に伝えたいと思った。CO2は振動することで熱を吸収する。地球温暖化の原因として自然起源・人為起源・地球本体が持つ内部起源エネルギー収支について本の紹介を行った。小倉 義光「大気における放射 自然気象学2版第5章地球の大気と海洋」			

番号	5	講演タイトル	【土日講座】～旬を感じてみよう～夏野菜丸ごとクッキング～
	日時	平成30年7月28日(土) 10:00～13:00	
	講師	若生 和江氏	
	参加者数	親子20名	
内容	メニュー:①夏野菜カレー②トウモロコシごはん③簡単漬け物④ミニトマトのシロップ煮①夏野菜カレーでは野菜の水のみで水は一切使わないカレー作り、親子で野菜を切る、炒めるを行った。②トウモロコシごはんではトウモロコシの芯から黄身をそぎ落とし、芯も小さくカットして一緒に炊き込むことによって甘味が増すことを学んだ。③簡単漬け物では材料と塩を袋に入れて小さな子供も「フリフリ」混ぜる作業を行なった。袋を使用することによって洗い物を減らし混ぜ合わせやすい方法を学んだ。④ミニトマトのシロップ煮ではミニトマトに爪楊枝で穴をあけ簡単な湯剥きの方法を学んだ。片づけ方では捨ててもかまわない布切れや紙などであらかじめ食器を拭き汚れを落とすことにより洗剤の量やすすぎの水を減らす方法を学んだ。		

番号	6	講演タイトル	【土日講座】知ろう！風力発電☆学んでみよう！星空環境
	日時	平成30年8月4日（土） 10:00～13:00 会場：一戸町観光天文台	
	講師	吉田 偉峰氏	
	参加者数	6名	
内容	吉田偉峰氏による星空環境の環境学習講座を一戸町観光天文台にて開催。昼間の天体観測を行う予定であったがあいにくの曇りで観望会は中止とし雨天用のプログラムに切り替えて行った。PPによる星空環境、光の害がある場合と無い場合での星の見え方の違いなど。 実際に自分たちが住む街での星の見え方についての質問があり、それぞれの地域によって星空環境が違うことを学んだ。プラネタリウムで星について学ぶとともに天文台の施設見学も行った。		

番号	7	講演タイトル	【土日講座】未来に続く家づくり～リサイクル材料で作るエコハウス工作教室～
	日時	平成30年8月4日(土) 10:00～13:30	
	講師	櫻田 文昭氏	
	参加者数	親子26名	
	内容	①講師より家づくりのコンセプトについてのお話。目的は笑顔を作ること、家族がこんなだったらいいなという家をイメージ。夏暖かい、冬寒いではだめ、夏涼しい、冬暖かい家が良い。断熱材やひさしの重要性を説明。②親子で簡単な設計図を作成③それぞれエコハウス工作を行った。	

番号	8	講演タイトル	【ミニ講座】「夏休み自由研究におすすめ・知ろう地球温暖化」
	日時	平成30年8月夏休みの5日間 13:30～15:00	
	講師	櫻井 則彰(センタースタッフ)	
	参加者数	11名	
内容	地球温暖化の話を主に小学生を対象として自主講座として開催。実際は親子での参加、年配の方の参加もあり温暖化の現状と対策について理解を深めることが出来た。		

番号	9	講演タイトル	【土日講座】エコカークラフトを作ってみよう！ 「子供と一緒にまなぶエコドライブ10のススメ」
	日時	平成30年9月30日(日)①10:30～11:30②13:00～14:00	
	講師	高橋 功氏	
	参加者数	14名	
内容	親子でエコカーづくりを楽しみながらエコドライブ10について学んだ。		

番号	10	講演タイトル	【土日講座】新月の夜の、小さな習慣 講演～新月の夜に環境を考える講演＆口笛コンサート～
	日時	平成30年12月8日(土) 15:30～17:00	
	講師	高橋 良和氏・野澤 日出夫(環境学習交流センター/温暖化センター両センター長)	
	参加者数	30名	
内容	新月の夜にあかりを消し、エネルギーのこと、温暖化防止のこと、私たちの未来のことを考えるため環境学習交流センター、岩手県地球温暖化防止活動推進センターセンター長の野澤日出夫氏に講師を依頼しお話いただいた。環境アドバイザー、岩手県地球温暖化防止活動推進員の高橋良和氏に環境講話(高橋氏のこれまでの環境活動の経緯、身近な環境問題の対処方法など)をお話しいただき、口笛コンサートを実演した。		

番号	11	講演タイトル	【土日講座】～ミニチュア・クリスマスガーデンを作ってみよう！～
	日時	平成30年12月22日(土) 10:00～16:00	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	59名	
内容	木の実や落ち葉を段ボールの台紙や空き箱をお庭に見立ててクリスマスバージョンのガーデンを作るリサイクル工作。木の実や落ち葉など身近な自然環境を知るきっかけとなった。		

番号	12	講演タイトル	【土日講座】未来に続く家づくり～リサイクル材料で作るエコハウス工作教室part2～
	日時	平成31年1月12日(土) 10:00～13:00	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	親子19名	
内容	作品作りの前に間伐材の活用など岩手の木についてとエコハウスの基本を親子で学び、岩手県産材の廃材を主に使ってエコハウス工作を行った。		

番号	13	講演タイトル	【土日講座】SDGs学び合いセミナー
	日時	1月15日(日) 13:30～15:30	
	講師	岩手県立大学総合政策学部教授 渋谷 晃太郎氏	
	参加者数	市町村、企業23名	
内容	SDGSの概要について。世界を変えるための17の目標と169のターゲットについての概要。カードゲームを通して経済、環境、社会へのかかわり、自分が起点という視点を学んだ。		

番号	14	講演タイトル	【土日講座】楽器を作って音にさわろう！ ペットボトルオーケストラ2019春！ in 東北
	日時	3月16日(土) 14:00～15:30 会場:盛岡市動物公園 動物資料館	
	講師	NPO法人サウンドクリエイター	
	参加者数	一般70名	
内容	楽器は小さなお子様でもすぐ作れるのであきることなく完成。飾り付けを行うことで自分だけの楽器とすることが出来た。しゃかたんという音の出し方の組み合わせで音楽に参加し、楽器を習ったことがない方でもちょっとしたレクチャーでオーケストラの仲間入りをすることが出来、楽しいひと時を過ごすことが出来た。曲の合間に3Rとプラスチックのごみ問題についてのミニレクチャーを行った。		

●アイーナ入居施設との団体協力

05

アイーナ館内の各センターと連携し、イベント等を効果的に開催しています。

	イベント名	2018世界フェアトレードデーinいわて
	日時	平成30年5月19日(土)①12:00～12:45②13:00～15:00
	場所	①5階ミーティングルーム②環境学習交流センター内
	協力団体	(公財)岩手県国際交流協会・JICA東北
内容	①SDGsとつながる一歩世界の未来を変えるための17の目標が自分とどのようにつながっているか？一人ひとりがどんなことが出来るか思いを広げるワークショップ。PPを使用してプラスチックごみ問題をテーマにワークショップを行った。②エコクラフト体験は環境学習交流センター内にてお花のチャーム作りを行った	
	イベント名	環境月間(6月)に伴うライトアップ
	日時	平成30年6月1日(木)～7日(水)夜間
	場所	アイーナ6階 ラウンジライト
	協力団体	NPO活動交流センター
内容	6月の環境月間に合わせてアイーナ6階ラウンジの照明をグリーンにライトアップし、SNS等を通じて環境月間をPRした。	
	イベント名	第5回いわて親子フェスティバルinアイーナ
	日時	平成30年10月8日(月)10:00～16:00
	場所	環境学習交流センター
	協力団体	青少年活動交流センター
内容	親子フェスティバルでスタンプラリーのポイントとして協力、たくさんの方に来館していただきセンターを知っていただく機会となった。	
	イベント名	2018ワンワールドフェスタinいわて 新月の夜のちいさな習慣講演&口笛コンサート
	日時	平成30年12月8日(土)
	場所	環境学習交流センター
	協力団体	(公財)国際交流協会
内容	国際交流協会主催のワンワールドフェスタイベントでのSDGsスタンプラリーにチェックポイントとして協力、同日環境学習講座として「新月の夜のちいさな習慣」講演&口笛コンサートを開催した。	

●訪問学習

06

環境学習交流センターでは訪問学習を受け付けています。展示や体験キットを使った学習の他、クイズや工作など、楽しみながら環境について学べるプログラムを用意しています。※許可をいただいた団体のみ写真掲載

番号	1	団体名	北上市立更木小学校
	学年	5年生	
	日時	2018年6月19日(火) 12:55～13:30	
	人数	児童8名 引率2名 計10名	
内容	環境紙芝居「ももたろう21」、ごみ問題・3Rクイズ、森林保全・森林の役割について(オイスカ紙芝居引用)		

番号	2	団体名	一戸町立鳥海小学校
	学年	3、4年生	
	日時	2018年6月22日(金) 12:45～13:30	
	人数	児童6名 引率2名 計8名	
内容	環境紙芝居「ももたろう21」、環境のおはなし、自由見学		

番号	3	団体名	すくすく会
	学年	小学校低学年および保護者等	
	日時	2018年6月30日(土) 10:00～11:00	
	人数	児童7名 引率・乳幼児13名 計20名	
内容	リサイクル工作、地球温暖化とリサイクルの話、自由見学		

番号	4	団体名	水道橋くるみ幼稚園らくだ組
	学年	年長	
	日時	2018年7月2日(月) 10:00～12:00	
	人数	園児34名 引率40名 計74名	
内容	牛乳パックでリサイクルはがきをつくろう、アイーナの森たんけん(簡単バージョン)		

番号	5	団体名	金ヶ崎町街地区生涯教育センター
	学年	小学校1～6年生、引率	
	日時	2018年7月30日(月) 11:30～12:30	
	人数	児童19名 引率3名 計22名	
内容	アイーナの森たんけん		

番号	6	団体名	学童保育クラブMJけやき子供会
	学年	小学校1～6年生	
	日時	2018年8月9日(木) 10:15～12:15	
	人数	児童46名 引率5名 計51名	
内容	マイ箸づくり(3～6年生)、森の工作館(1～2年生)、アイーナの森たんけん		

番号	7	団体名	エコロジー八の森環境保全隊
	学年	一般(保全団体会員)	
	日時	2018年8月19日(日) 10:00～10:30	
	人数	33名	
内容	プラスチックごみについてのお話(海の生態に及ぼす影響、自分ができること)、自由見学		

番号	8	団体名	厨川4丁目子ども会
	学年	小学校1～6年生、引率	
	日時	2018年9月1日(金) 9:50～11:50	
	人数	児童19名 引率6名 計25名	
内容	牛乳パックでリサイクルはがきをつくろう、ごみっしょんいんぽっしる		

番号	9	団体名	二戸市立福岡小学校
	学年	4年生	
	日時	2018年9月10日(月) 13:20～14:20	
	人数	児童51名 引率4名 計55名	
内容	環境紙芝居「地球がたいへんだ～!」、地球温暖化を防ごう隊アンケート、自由見学		

番号	10	団体名	岩手大学教育学部附属特別支援学校
	学年	中学部2年生	
	日時	2018年9月21日(金) 9:10～9:50	
	人数	生徒6名 引率3名 計9名	
内容	自由見学		

番号	11	団体名	八幡平市立柏台小学校
	学年	1・2年生	
	日時	2018年9月26日(水) 11:05～11:35	
	人数	児童14名 引率3名 計17名	
内容	環境紙芝居「地球がたいへんだ～!」、質問タイム、自由見学		

番号	12	団体名	盛岡市立仙北小学校
	学年	2年生	
	日時	2018年10月26日(金) 10:00～11:30	
	人数	児童114名 引率5名 計119名	
内容	環境紙芝居「地球がたいへんだ～!」、自由見学		

番号	13	団体名	盛岡市立大新小学校
	学年	2年生	
	日時	2018年11月7日(水) 9:40～11:20	
	人数	児童84名 引率5名 計89名	
内容	環境紙芝居「地球がたいへんだ～!」、自由見学		

番号	14	団体名	ひらいずみ地球温暖化対策協議会
	学年	一般(協議会会員)	
	日時	2018年11月13日(火) 10:30～12:00	
	人数	11名	
内容	「最近の異常気象と今後」・「SDGsについて」(講演)、もてるかな? エネルギーのかばん、自由見学		

番号	15	団体名	岩手県立盛岡みたけ支援学校
	学年	高等部1年生	
	日時	2018年11月27日(火) 10:00～11:30	
	人数	生徒14名 引率8名 計22名	
内容	「3Rについてのお話し」、森の工作館、自由見学		

番号	16	団体名	盛岡市立生出児童館
	学年	小学校1～6年生、引率	
	日時	2018年12月3日(月) 10:05～11:35	
	人数	児童27名 引率2名 計29名	
内容	アイーナの森たんけん、森の工作館～クリスマスバージョン～(松ぼっくりのツリーづくり)、自由見学		

番号	17	団体名	盛岡駅前新町子供会
	学年	幼児、小学校1～6年生、引率	
	日時	2019年1月19日(土) 9:30～11:30	
	人数	子ども9名 大人4名 計13名	
内容	木の実あそび「どんぐりつまみ」、森の工作館、アイーナの森たんけん		

●いわてこどもエコクラブ等ネットワークの構築

07

県内で活動するこどもエコクラブ会員の活動を支援したり、クラブ同士の交流の場を設けたりしながら、ネットワークの構築を目指します。

こどもエコクラブ交流会 … 県内のクラブ同士の交流と子供達の自然体験の場として年1回開催しました。

1	こどもエコクラブ交流会in岩手県立県北青少年の家	
	日時	2019年2月2日(土)9:30～3日(日)15:00
	場所	岩手県立県北青少年の家
	参加者数	いわいずみエコクラブ、雫石わーくてんばー、一般家族2組、スタッフ・支援者 計26名
	協力者等	岩手県スケート協会 講師2名
内 容	2/2 ・スケート体験 ・エコクッキング ・屋内スポーツ交流 ・豆まき(鬼退治)2/3 ・プラネタリウム鑑賞 ・雪像づくりコンテスト	

2	いわてこどもエコクラブ サポートーズミーティング	
	日時	2018年5月26日(土) 13:30～16:30
	場所	盛岡市遺跡の学び館 研修室
	参加者数	講師・発表者4名／一般参加3名／スタッフ6名 計13名
内 容	第1部 事例発表 13:30～15:30 ①鹿妻穴堰土地改良区 津嶋氏 ②網張ビクターセンター運営協議会 坂内氏 ③大槌町白澤鹿子踊保存会 東海氏／三陸自然学校大槌 臼澤氏 第2部 情報交換会 15:35～16:30	

こどもエコクラブNEWSいわて … 交流会や県内の活動の様子、イベント情報などを年2回発信しています。

Vol.27		●平成30年10月発行 ・5月26日開催の「いわてこどもエコクラブサポートーズミーティング」の報告 ・「鹿妻穴堰土地改良区」の「頭首工施設」の見学レポート ・「いわて温暖化防止フェア」(10月13日～14日)案内 ・「いわて温暖化防止フェアin北上」(11月4日)案内 ・「こどもエコクラブ交流会」(2月2日～3日)案内 ・2017年秋のイベント情報
--------	---	---

Vol.28		●平成31年3月発行 ・エコクラブ交流会in岩手県立県北青少年の家 開催のようす ・環境学習交流センターからイベントのご案内 など ・2019年春のイベント情報
--------	---	---

●環境アドバイザーの派遣

県民の皆様が環境問題に関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として環境アドバイザーを派遣しています。

08

実施日	4/7(土)	主催者	骨寺村ガイドス運営協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	30名		
研修会		祭時山と本寺の自然観察			
テーマ		祭時山の大自然と日本の原風景が残る本寺地区の自然を学ぶ ・祭時山のミズバショウ ・里山の植物			
内容		9時30分頃から祭時山のふもとから磐井川のほうに向かいました。いつも見ているふきのとうに雄、雌があること、クマが木に登った跡なども教えていただきながら、ミズバショウが咲いている所に行きました。参加者の方はたくさんのミズバショウを写真に収めたり、他の植物のことを先生に聞いたりしていました。午後は厳美町本寺地区のミズバショウとザゼンソウを観察しました。			

実施日	4/15(日)	主催者	奥州市牛の博物館	アドバイザー	川田 昌代
		対象	13名		
研修会		白鳥館遺跡野草観察会			
テーマ		白鳥館遺跡の野草観察会 ・白鳥館遺跡で早春に見られる植物 ・里山での自然と人のかかわり ・その他、白鳥館遺跡で見られる野鳥、昆虫など			
内容		参加者は知識の習得に大変意欲的だった。観察会では、講師の説明も分かりやすく、植物の性質から人が利用してきた知恵、白鳥館遺跡の歴史に渡るまで、幅広く参加者の興味を引いていた。講師に準備いただいた写真を見て参加者がその植物を探す方式で進行し、参加者は積極的に植物を探し、次々と質問が挙げられており、自然と双方向のやりとりが産まれ、よい雰囲気観察会であった。			

実施日	4/26(木)	主催者	岩山自然観察会	アドバイザー	亀山 喜作
		対象	10名		
研修会		岩山自然観察会			
テーマ		岩山の春から初夏の植物観察 ・季節の植物について ・岩山の植物、野草について			
内容		岩山の春の色々な植物について詳しく学びました。特に桜の種類がいろいろわかって皆さんとても楽しかったと言っていました。			

実施日	5/3(木)	主催者	杉のこもれ日	アドバイザー	鈴木 千里
		対象	11名		
研修会		心と体のバランス塾			
テーマ		女性の心と体のメンテナンス ・化学物質を使わない化粧品でのメイク ・保湿について ・他の化粧品との違い			
内容		少人数でしたので聞きたい事もじっくりと聞け理解出来たようでした。又、和やかな雰囲気楽しい研修会となりました。			

実施日	5/13(日)	主催者	岩手県立県北青少年の家	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	231名		
研修会		ステラパル春まつり			
テーマ		星空環境調査・天文宇宙について ・地域の星空環境について ・天体観測、天体望遠鏡について			
内容		多くの参加者に、天体観測用の機器や天体等のパネルに触れてもらうことができ、大変満足していただいた。会場を広く設定することで、見学の流れを作ることができ、滞りなく研修を進めることができた。			

実施日	5/15(火)	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	15名		
研修会		平成30年度せんまや里山塾 リフォームコース(古着の有効活用リメイク教室)			
テーマ		古着の有効活用リメイク教室 ・古着の有効活用を通して、地球にやさしいエコ生活につなげる			
内容		初めての方もいましたが、先生のご指導でどんどん作業を進めているようでした。先生の大胆な作業には驚きましたが、指導も慣れていらっしやるので参加者の皆さんも作業を進めることが出来たようです。			
実施日	5/19(土)	主催者	森のハンドルネッサンス	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	25名		
研修会		紫波町山屋での映画会「奥会津の木地師」(民族映像文化研究所制作)を観て山地資源の有効性への認識を新たにした集会			
テーマ		森の文化と思想を体現する行動には何があるか？			
内容		民族映像文化研究所が1976年に作成した映画「奥会津の木地師」を鑑賞し、当時の山村文化に思いを馳せると同時に、紫波町山屋地区およびこの近隣に暮らし、山や沢と、そこに生育、繁茂する多くの山菜、植物、樹木、動物たちと私たちの暮らしの関係の再構築を考えた。アドバイザー川村晃寛氏に樹木の話をしていただいた他、集まった多様な技能を持つ人たち(木地師、鞆作りの職人、木樵など)から地域の資源と人の生業の関係を話し合い、今後の山屋地区の有用資源をどう活かしていくか、情報発信の基礎づくりとした。			
実施日	5/20(日)	主催者	滝沢市川前自治会13区	アドバイザー	大友 晃
		対象	21名		
研修会		ウォーキングと植物の不思議探検			
テーマ		樹木・山野草の自然観察 ・樹木はどのようにして子孫をふやすのか ・山野草の名前や観察 ・花の咲く時期			
内容		講師の先導で森林公園内を歩きながら、樹木や山野草に直接手で触れたり、真近で観察しました。最後に講師の紙芝居で観察した樹木を振りかえりました。			
実施日	5/23(水)	主催者	岩泉町立小川小学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	28名		
研修会		大峰登山			
テーマ		大峰の自然について ・大峰山の動植物について			
内容		参加者全員で大峰登山をしながら、木や草花に関するいろいろなことを教えていただいた。実物を見ながら説明を聞くことができたので、よく理解することができてよかった。質問にも詳しく答えていただいた。			
実施日	5/26(土)	主催者	いちのせき健康の森	アドバイザー	千田 典文
		対象	11名		
研修会		自然観察会「ノビネチドリとアズマギク」			
テーマ		初夏の山を散策し、自然に親しむ ・ノビネチドリやアズマギクなどの草花の名称を知る			
内容		一関市の祭時山山麓にある「いちのせき健康の森」周辺を散策しながら、国内でもめずらしいといわれる、ノビネチドリの群生や、里山でも数が少なくなったアズマギクを中心に初夏の花々を観察し、植物への知識と愛着を深めることができました。			
実施日	5/30(水)	主催者	和賀地区自治協議会	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	24名(北上市立笠松小学校)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		自然の大切さや素晴らしさを、川の生物調査をとおり学習する			
内容		①尻平川で1時間ほど、川の状態調査、水生生物の採取を行った。 ②学校に戻り、水生生物の仲間分けを行い、尻平川がきれいな川であることを確認した。 ③水生生物の生態についての講義が行われた。 ④児童からの感想発表を行った。 ⑤30種類の水生生物が採取され、きれいな水を住みかとする生き物が多いたので、尻平川はきれいな川であることがわかった。			

実施日	5/30(水)	主催者	滝沢市立鵜飼小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	25名		
研修会	鵜飼小4年生 総合的な学習の時間「鵜飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	自分たちの住んでいる川の指標生物を調べ、川の水質調査をする				
内容	・水生生物調査の意義 ・水生生物調査の方法 ・調査、記録				

実施日	5/30(水)	主催者	滝沢市立鵜飼小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	26名		
研修会	鵜飼小4年生 総合的な学習の時間「鵜飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	自分たちの住んでいる川の指標生物を調べ、川の水質調査をする				
内容	・水生生物調査の意義 ・水生生物調査の方法 ・調査、記録				

実施日	5/30(水)	主催者	滝沢市立鵜飼小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	25名		
研修会	鵜飼小4年生 総合的な学習の時間「鵜飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	自分たちの住んでいる川の指標生物を調べ、川の水質調査をする				
内容	・水生生物調査の意義 ・水生生物調査の方法 ・調査、記録				

実施日	5/31(木)	主催者	滝沢市立鵜飼小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	25名		
研修会	鵜飼小4年生 総合的な学習の時間「鵜飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	自分たちの住んでいる川の指標生物を調べ、川の水質調査をする				
内容	・水生生物調査の意義 ・水生生物調査の方法 ・調査、記録				

実施日	5/31(木)	主催者	滝沢市立鵜飼小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	23名		
研修会	鵜飼小4年生 総合的な学習の時間「鵜飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	自分たちの住んでいる川の指標生物を調べ、川の水質調査をする				
内容	・水生生物調査の意義 ・水生生物調査の方法 ・調査、記録				

実施日	5/31(木)	主催者	滝沢市立鵜飼小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	25名		
研修会	鵜飼小4年生 総合的な学習の時間「鵜飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	自分たちの住んでいる川の指標生物を調べ、川の水質調査をする				
内容	・水生生物調査の意義 ・水生生物調査の方法 ・調査、記録				

実施日	6/2(土)	主催者	いちのせき健康の森	アドバイザー	千田 典文
		対象	4名		
研修会	自然観察会「木々の花を見よう」				
テーマ	初夏の山を散策し、自然に親しむ ・草花、木の名称				
内容	少ない参加者ではありましたが、快晴でハクウンボクの花を沢山みることができました。タニウツギ、ホオノキ、ツルアジサイなどこの季節でしか見られない木々の花を楽しみながら観察することができました。				

実施日	6/3(日)	主催者	滝沢市教育委員会事務局生涯学習スポーツ課	アドバイザー	大友 晃
		対象	21名		
研修会		たきざわ少年少女&ファミリーふれあい講座「安比高原ブナの森探検」			
テーマ		小学生児童を中心とした家族の地球環境保全への興味関心と意識啓発を図る学習プログラム			
内容		ブナの森散策や環境学習を通じて、大自然の素晴らしさや植物の命の営みを学ぶことができ、参加者は自然環境の大切さを再認識することができました。			

実施日	6/3(日)	主催者	高森高原まつり実行委員会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	170名		
研修会		高森高原まつり			
テーマ		星空環境体験・昼間の天体観測 ・地域住民の交流を深め、高森高原の良好な自然環境を広く周知する			
内容		高森の星空について説明あり			

実施日	6/7(木)	主催者	和賀地区自治協議会	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	20名(北上市立和賀西小学校)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		自然の大切さや素晴らしさを、川の生物調査をとし学習する。			
内容		①鈴鴨川で1時間ほど、川の状態調査、水生生物の採取を行った。 ②学校に戻り、水生生物の仲間わけを行い、鈴鴨川がきれいな川であることを確認した。 ③水生生物の生態についての講義が行われた。 ④児童からの感想発表を行った。			

実施日	6/13(水)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	14名(奥州市立梁川小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査 ・児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		広瀬川での水生生物調査を予定していたが、低温等のため室内での代替学習の実施となった。内容は田んぼの生き物調査として、あらかじめ講師が採取していた田んぼの水生生物を顕微鏡の使用を交えながら観察した。観察にあたり顕微鏡も初めて使用したが、操作等に悪戦苦闘しながらも児童たちは興味深く取り組んでいたようだった。			

実施日	6/13(水)	主催者	松園地区公民館	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	24名		
研修会		軽登山・環境トレッキング(夏)			
テーマ		高森高原の自然、再生可能エネルギー ・軽登山を通して山野草などの自然観察や環境保全に関心を持つ			
内容		・講師の分かりやすい説明により、高森高原の自然の特長について知ることができた。また、環境保全等についての興味関心を高めることができた。 ・風力発電の仕組みについて理解を深めることができた。			

実施日	6/14(木)	主催者	特定非営利活動法人 紫波みらい研究所	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	10名		
研修会		環境講座「着物リメイク」			
テーマ		箆笥に眠っている古着が生まれ変わることを愉しみながら体験してもらう			
内容		・環境講座としてダンスにしまいこんでいる着物の活用方法について学びました。 ・2年目の参加の方を中心に、運営のお手伝いをしてもらいながら進めました。 ・小赤澤先生からは参加者でリメイクした作品でファッションショー開催を目指そうと提案があり、皆さんのやる気もアップしてきました。			

実施日	6/18(月)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	40名		
研修会		中津川を探検しよう			
テーマ		中津川周辺の様子や生き物について調べる			
内容		中津川はどのようにできたのか、川と海の違いや周辺の様子について詳しく説明してくださいました。映像を通して中津川とその周辺のことについて説明して下さり、とても分かりやすかったです。			

実施日	6/18(月)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	35名		
研修会		中津川を探検しよう			
テーマ		中津川周辺の様子や生き物について調べる			
内容		中津川はどのようにできたのか、川と海の違いや周辺の様子について詳しく説明してくださいました。映像を通して中津川とその周辺のことについて説明して下さり、とても分かりやすかったです。			

実施日	6/18(月)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	30名		
研修会		中津川を探検しよう			
テーマ		中津川周辺の様子や生き物について調べる			
内容		中津川はどのようにできたのか、川と海の違いや周辺の様子について詳しく説明してくださいました。映像を通して中津川とその周辺のことについて説明して下さり、とても分かりやすかったです。			

実施日	6/19(火)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	10名(奥州市立稲瀬小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査			
内容		水生生物採取の際は、生物を発見するたびに歓声上がるなど、各児童とも楽しんでいた。 生物分類・水質判定は、採取生物が多すぎたこともあり苦労したようだが、班内で協力していた。 (水質判定Ⅰ きれいな水)			

実施日	6/19(火)	主催者	岩山自然観察会	アドバイザー	亀山 喜作
		対象	8名		
研修会		岩山の自然観察会 初夏			
テーマ		岩山の植物について ・岩山に見られる初夏の植物について			
内容		担当者の説明がとてもわかりやすく、それぞれの動物について愛着が湧いてくる様でした。昆虫の説明も初めてきました。セミやトンボやチョウなども興味深く観察できました。また動物園内の樹木や草花なども沢山あり、学ぶ事が多かったです。			

実施日	6/20(水)	主催者	一関市弥栄市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	14名		
研修会		「自然観察会(八幡平)」			
テーマ		自然観察・自然保護 ・八幡平の自然や植物について			
内容		途中で天候が急変し、予定よりも早く観察会を切り上げた。 参加者は、観察場所の動植物に関する千田講師からの説明に熱心に耳を傾けていた。			

実施日	6/21(木)	主催者	宮古市立磯鶏小学校	アドバイザー	水木 高志
		対象	57名		
研修会		「八木沢川探検」			
テーマ		八木沢川上流の水生生物調査 ・八木沢川上流に生息している水生生物の名前や生息環境について ・生息している水生生物からわかる水のきれいさについて ・生息している水生生物が餌にしている生き物について			
内容		・グループに分かれて、八木沢川の生物の観察。 ・今と昔の八木沢川の様子についてお話を聞く。 ・上流と中流に分かれて観察。			

実施日	6/22(金)	主催者	めだかの学校 住田教室	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	7名		
研修会		めだかの学校 住田教室			
テーマ		着物のリメイク ・眠っている着物資源の活用と地域交流			
内容		昨年参加した方、今年初めて参加した方と入り混じっての開催となりました。縫製業経験者の方は飲み込みも早く、柄合わせなど工夫しているし、初めての方も目からウロコで、作る楽しみが出来たと話す。			

実施日	6/23(土)	主催者	骨寺村ガイダンス運営協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	15名		
研修会		「照井堰と荘園遺跡の探訪ぶらり」			
テーマ		照井堰の様々な役割を見て知る ・堰の位置 ・堰が地域を潤した役割			
内容		午前中は一関市巖美町の骨寺村荘園遺跡内を見学しました。千田先生によると荘園遺跡内は本寺川から取水したと思われる用水路が流れており巖美町山谷地区まで流れて田んぼを潤しているとのこと。また遺跡内の花や木の名前も教えていただきました。午後は一関市山目、中里地区を照井堰沿いに歩き、位置の確認や歴史を教えてくださいました。			

実施日	6/24(日)	主催者	藤里振興会環境保健部	アドバイザー	若生 和江
		対象	23名		
研修会		藤里振興会環境保健部研修会			
テーマ		ごみの減量化や省エネルギー、「食」について ・昔から受け継がれてきた食文化を大切にしながら食の伝承活動につとめ、また環境保全など多方面で活躍されている講師先生の活動へかける思い。 ・地元の野菜を生かし、知恵と工夫を凝らしたメニューなど。			
内容		「こころがうれしくなるようにエコしよう！」のテーマでおはなしていただきました。「鍋帽子®」は省エネクッキングでお母さんを助けるグッズとして紹介していただいたり、油污れを洗う際には古布で拭き取る事で洗剤や水の削減になるとの事でした。まずは個々が出来る身近なことからはじめましょう！そして続けることが大切だという事。先生のお話しのなかで忘れていたことが思い出されてとても勉強になりました。			

実施日	6/25(月)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	16名(奥州市立衣川小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査 ・児童の環境に対する理解と認識を深める			
内容		水生生物採取の際は楽しそうに採取していたが、生物分類・水質判定には苦労していたようだ。 (水質判定 I きれいな水)			

実施日	6/26(火)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	14名(奥州市立人首小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査 ・児童の環境に対する理解と認識を深める			
内容		天候にも恵まれ、水生生物採取の際は積極的に行動していた。生物分類・水質判定に苦労していたようだ。(水質判定・Ⅰ・きれいな水)			

実施日	6/26(火)	主催者	大槌学園	アドバイザー	臼澤 良一
		対象	38名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		ふるさと科の学習の一環で、地域の川の水質調査を行うことで、豊かな自然に気付き、ふるさとへの愛着を育むため。 ・水質調査。水生生物と水質の関係。 ・どんな目的で水質調査が行なわれているのか。 ・調べた事はどのような活動に活かされているのか。			
内容		大変スムーズに活動することができた。 安全面に気を付けながら、児童は水生生物を探すことができた。 水生生物の下敷きをみながら調査活動をした。その下敷きを見ても分からないことをアドバイザーに聞くことができ、有意義な時間だった。			

実施日	6/26(火)	主催者	大槌学園	アドバイザー	加藤 直子
		対象	38名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		ふるさと科の学習の一環で、地域の川の水質調査を行うことで、豊かな自然に気付き、ふるさとへの愛着を育むため。 ・水質調査。水生生物と水質の関係。 ・どんな目的で水質調査が行なわれているのか。 ・調べた事はどのような活動に活かされているのか。			
内容		大変スムーズに活動することができた。 安全面に気を付けながら、児童は水生生物を探すことができた。水生生物の下敷きをみながら調査活動をした。その下敷きを見ても分からないことをアドバイザーに聞くことができ、有意義な時間だった。			

実施日	6/26(火)	主催者	大船渡市立越喜来小学校	アドバイザー	根子 英郎
		対象	15名		
研修会		総合的な学習の時間(川の恵み)			
テーマ		浦浜川の水生生物・水質調査 ・水生生物の種類 ・浦浜川の水質の状態			
内容		水生生物調査の方法を児童にもわかるように丁寧に指導していただいたため、児童も楽しみながら生き生きと活動することができた。浦浜川の水質について児童が理解することができた。			

実施日	6/26(火)	主催者	雫石町立御明神小学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	15名		
研修会		総合的な学習の時間			
テーマ		チョウセンアカシジミを中心とした環境学習のため ・チョウセンアカシジミの一生 ・チョウセンアカシジミが育つ環境			
内容		チョウセンアカシジミの生態など詳しく教えていただき、児童も喜んでいた。 ・チョウセンアカシジミが住みやすい環境 ・デワノネリコの種類			

実施日	6/26(火)	主催者	西和賀町立沢内小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	25名		
研修会		第3学年「水生生物調査」			
テーマ		水生生物調査の意味・方法、実地調査の指導 ・水生生物(種類や生態)について ・和賀川がどのくらいきれいな川なのか			
内容		西和賀町立沢内小学校周辺のシンボリックな和賀川に触れ、川の環境や生物について学習したほか、弁天島の厳島神社の由来や地域の歴史についても学ぶことができました。水生生物を採取するときは、水辺の安全な行動について学び、水の循環(海森川)や洪水などの災害についても学習しました。			

実施日	6/26(火)	主催者	一関市狐禅寺市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	16名		
研修会		高齢者学級「自然観察会」			
テーマ		高山植物の観察 ・高山植物の名前や生態などについて ・高齢者が美しく豊かな自然に触れながら、環境意識を高めることを目的とする			
内容		最初はシラタマノキ湿原・泥炭地の高山植物や自然について、説明していただきました。次に須川高原温泉へ車で移動し、賽の嶺～名残ヶ原周辺の散策コースの高山植物や自然について、説明していただきました。晴天に恵まれ、様々な高山植物が咲いており、参加者は熱心に質問していました。			

実施日	6/27(水)	主催者	岩手県立西和賀高等学校	アドバイザー	瀬川 強
		対象	23名		
研修会		平成30年度岩手県立西和賀高等学校1学年第2回総合的な学習の時間			
テーマ		郷土の自然観察学習 ・地元西和賀町の自然観察の学習を通して、郷土愛を養い関心を強めること。 ・自然観察に加え、地域の文化、エネルギー活用など。			
内容		沢内病院のチップボイラーやJA花巻の雪の貯蔵室を見学し、再生可能エネルギーの活用について学んだ。雨天のため、午前は志賀来山での森の学習が中止となったが、代わりに太田八幡宮の大銀杏や杉沢の一本杉など西和賀町の指定文化財を見学しました。午後は川の学習として湯田ダムを訪れ、講師から水中生物について説明を受け、水辺の生態系について学んだ。ダムの内部に入ってダムの仕組みを学ぶことができたので、有意義な研修であった。			

実施日	6/27(水)	主催者	岩手県立西和賀高等学校	アドバイザー	瀬川 陽子
		対象	10名		
研修会		平成30年度岩手県立西和賀高等学校1学年第2回総合的な学習の時間			
テーマ		郷土の自然観察学習 ・地元西和賀町の自然観察の学習を通して、郷土愛を養い関心を強めること。 ・自然観察に加え、地域の文化、エネルギー活用など。			
内容		沢内病院のチップボイラーやJA花巻の雪の貯蔵室を見学し、再生可能エネルギーの活用について学んだ。雨天のため、午前は志賀来山での森の学習が中止となったが、代わりに太田八幡宮の大銀杏や杉沢の一本杉など西和賀町の指定文化財を見学しました。午後は川の学習として湯田ダムを訪れ、講師から水中生物について説明を受け、水辺の生態系について学んだ。ダムの内部に入ってダムの仕組みを学ぶことができたので、有意義な研修であった。			

実施日	6/27(水)	主催者	岩手県立西和賀高等学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	10名		
研修会		平成30年度岩手県立西和賀高等学校1学年第2回総合的な学習の時間			
テーマ		郷土の自然観察学習 ・地元西和賀町の自然観察の学習を通して、郷土愛を養い関心を強めること。 ・自然観察に加え、地域の文化、エネルギー活用などの内容にも触れていただきたい。			
内容		沢内病院のチップボイラーやJA花巻の雪の貯蔵室を見学し、再生可能エネルギーの活用について学んだ。雨天のため、午前は志賀来山での森の学習が中止となったが、代わりに太田八幡宮の大銀杏や杉沢の一本杉など西和賀町の指定文化財を見学しました。午後は川の学習として湯田ダムを訪れ、講師から水中生物について説明を受け、水辺の生態系について学んだ。ダムの内部に入ってダムの仕組みを学ぶことができたので、有意義な研修であった。			

実施日	6/28(木)	主催者	黒岩自治振興会	アドバイザー	藤原 正
		対象	57名		
研修会		少年少女学級白山わいわい塾「ホタル観察会」			
テーマ		ホタルの生態について観察 ・黒岩地区の自然豊かな地域に生息しているホタルを観察することで、地元の良さを見直すとともに、感性豊かな児童を育むことを目的に実施する。			
内容		前日の大雨が心配された。当日は曇りで気温も上昇してきたが、小雨が時々降る中での観察となった。昨年の観察会とくらべると、あまり多くのホタルを見つけることは出来なかったが、観察日の条件が良ければ、沢山のホタルを見ることが出来たと感じました。アドバイザーが事前に採取したホタルの餌になるカワニナを観察させたりと細かい配慮がされていたり、農薬を使わないなど環境整備への配慮により、より多くのホタルが生息することを丁寧にわかりやすく、説明いただきとても良い観察会となりました。			

実施日	6/28(木)	主催者	県友園芸同好会	アドバイザー	大友 晃
		対象	14名		
研修会		高松の池周辺の植物探索会			
テーマ		高松の池周辺における花木や自生する植物、樹木の観察 ・野草、樹木の名称、生育環境(土質ほか)など ・バラの管路、アジサイ等花木の生育環境、手入れのコツ			
内容		高松の池周辺の散策路を辿りながら、花木や自生する植物、樹木を観察し、名称のほか特徴を学びました。特に身近なモミジとカエデの見分け方、老木桜の営みなど分かりやすく説明を頂きました。また、散策の途中で高台の配水池に上がり志波三山の山並みを眺望したうえで、山の名称、特徴の説明などおまけの学習もあり充実した研修会となりました。			

実施日	6/29(金)	主催者	骨寺村ガイドス運営協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	70名		
研修会		第6回「ホタルを観る会 in 本寺」			
テーマ		骨寺村荘園は歴史的価値のみならず、中世からの伝統的土地利用が継承されていることで豊かな里山の生態系が広がる場所であることも学ぶ。			
内容		19:00より交流館展示棟内にてプロジェクターを用いホタルの生態や生育環境等の勉強会を行いました。ホタルや餌となるカワニナの繁殖環境や市内で確認されたホタル分布図など、普段知りえない貴重な情報を得ることが出来ました。 勉強会中には雷混じりの大雨だったにも拘らずフィールド(遺跡)に出る頃には雨も止み、ちらほらホタルが飛び始め、山側に50頭ほどのゲンジ、田んぼ側のもへいけの姿を確認でき、参加者は闇夜に浮かぶ美しホタルの群舞に歓声を上げていました。ただ雷雨後、急に気温が下がったので、昨年ほどの頭数を見ることは出来ませんでした。			

実施日	7/2(月)～ 3(火)	主催者	岩手大学教育学部附属中学校	アドバイザー	菅沼 賢治
		対象	150名		
研修会		第1学年生活トレーニングセンター			
テーマ		夢をもって生きるとはどのようなことだろうか ・早池峰山で環境保護の活動に取り組んでいるやりがい ・山頂からのし尿担ぎおろし活動の立ち上げから活動拡張まで、特に苦勞な事したこと ・困難な条件をクリアしていくために特に努力な事したことなど			
内容		早池峰山登山においては、生徒の安全確保のためにご尽力いただき、安全に実施することができました。また、講演会では、菅沼さんが早池峰の環境を保全するため、これまで活動してきた経緯や様子を伺い、改めて環境を守っていくことの大切さ、むずかしさを学ぶとともに、一人の大人が夢をもって生きる姿を感じることができるものであった。			

実施日	7/3(火)	主催者	更木地区交流センター	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	39名		
研修会		ほたる観賞会			
テーマ		ホタルの生育や生態に関すること ・更木の自然環境の保全と将来的な維持のための観察会			
内容		パワーポイントを使つてのホタルの種類や生態、またその育て方などを詳しく話していただいた後、車でホタルの生息地へ移動して観察を行った。			

実施日	7/3(火)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	35名(奥州市立姉体小学校)		
研修会		奥州市環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査 ・児童の環境に対する理解と認識を高める			
内容		採取の際には、児童たちは楽しみながら行っていた。(水質判定・I・きれいな水) 時間制約の関係で、採取後の分類・判定に割ける時間が不足した。			

実施日	7/5(木)	主催者	遠野市立上郷小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	14名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物調査			
内容		森林公園の植物について、葉の形や茎の色、中が空洞なのか…実物で確かめ、説明いただきました。植物には雄雌があることや、イエスキリストの十字架は何という木なのかなど楽しく聞くことができ、参加者の皆さん満足されていました。			

実施日	7/5(木)	主催者	一関市立興田小学校	アドバイザー	川田 昌代
		対象	18名		
研修会		総合的な学習の時間「水生生物調査」			
テーマ		水生生物調査のレクチャー ・身近な自然環境に親しんだり水質を調べる活動を行い、身の回りの環境に関心を持てるようにする。			
内容		講師より水生生物に関わるお話しや調査を行う上での注意点等を聞いた後、実際に調査活動を行った。児童は昨年度に川に親しむ活動は行ってはいたが、改めてふれあう川の生き物に驚いたり、積極的に調べたりしようとしていた。また、自分たちの身の回りの環境に関心を持つきっかけにもなったと思う。			

実施日	7/7(土)	主催者	安俵子供会育成会	アドバイザー	根子 英郎
		対象	46名		
研修会		安俵子供会 安俵地域水質調査及び生き物調査			
テーマ		水質及び生き物調査 ・排水路・ため池水のPH及びCOD測定について ・排水路・ため池に生息する生き物名称及び生態について			
内容		安俵地域を3班で分かれて用水路とため池による水質調査(パックテスト)と生き物の調査を実施。生き物の名称を確認して6年生が報告、講師の方より講評をいただいた。雨のせいと思うが生き物(特にカエル)が見られない状況であった。いつもみている生き物が外来種とわかると子供たちがびっくりしている所が印象的であった。			

実施日	7/10(火)	主催者	岩泉町立大川小学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	17名		
研修会		大川の水生生物を調べよう			
テーマ		水生生物調査 ・身近な環境にいる水生生物の生態等 ・環境を守るために大切なこと			
内容		曇り空で、やや川の水量が多かったが、流れのはやい場所を避けながら調査を進めた。2年前の台風10号の影響で川底の地形が変わったことにより、生物数や種類が減っているのではないかと、とのことだったが、カゲロウやトビゲラの仲間が数多く見られた。			

実施日	7/11(水)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	23名(奥州市立羽田小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査 ・児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		採取の際には、児童たちは楽しんで取り組んでいたようだ。時間が足りなかったのか、採取後も名残惜しそうにしていた児童が多かった。数週間前の河川増水の影響からか、採取できた生物の数はあまり多くなかった。(水質判定・Ⅱ・ややきれいなみず)			

実施日	7/11(水)	主催者	岩泉町立門小学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	20名		
研修会		岩泉町立門小学校 4・5・6年生 水生生物調査			
テーマ		災害後の川の様子の変化 ・台風災害後、川の様子がどのようにもどりつつあるか。 ・小本川の水生生物に変化はあるか。			
内容		学校近辺の小本川にすむ水生生物調査を行った。採取の仕方や生物の名前を教えていただいた。また、一昨年の台風10号での被害からどのように川が変化してきたかについても教えていただいた。たくさんの生物がいた事、また、きれいな川であることが分かり、とても有意義な研修だった。また、まだ川も復興途中であることも教えていただき、子どもたちにも自然を大切にしようとする気持ちをもたせていただいた。			

実施日	7/12(木)	主催者	特定非営利活動法人 紫波みらい研究所	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	9名		
研修会		環境講座「着物リメイク」			
テーマ		箆笥に眠っている古着が生まれ変わりを愉しみながら体験してもらう			
内容		今年度2回目の講座。2年目の参加の方はどんどん新しい作品にチャレンジしていきます。先生の作品から作ってみたいデザインを選ぶのも楽しい作業です。みなさんの段取りも良くなり、次々と小赤澤先生がアドバイスしていきます。			

実施日	7/14(土)	主催者	紫波町環境課循環政策室	アドバイザー	佐藤 喜一
		対象	6名		
研修会		平成30年度 紫波町環境マイスター養成講座			
テーマ		水質測定・水生生物調査の基礎知識(講義・実習)			
内容		水生生物調査による環境評価の有効性について講義をうけたのちに、河川で水質測定と水生生物調査の手法について実習した。グループ分けをして調査したが、お互いに協力し合って成果を出しており、アンケートではこの実習を最も楽しかった講義にあげた受講生もいた。			

実施日	7/15(日)	主催者	とうわ野鳥の会	アドバイザー	根子 英郎
		対象	16名		
研修会		川のいきもの調べ			
テーマ		川の生き物調べを通して東和町の豊かな自然を再認識し、自然環境保全の一助とする。 ・川に生息している生き物の名前 ・川に生息している生き物と水質の関係 ・川に生息している生き物どうしのつながり(食物連鎖)			
内容		班ごとに川に入り、魚類、水生昆虫などを捕まえた後、班でシートを見ながら名前を調べ記録する。その後、講師が班をまわり、まちがって同定しているものは訂正する。今年は雨が多く水量が例年よりも多かったが生き物調べに支障をきたすほどではなかった。全体のまとめの中で講師からは、本地域は県下でも水生生物が豊富な地域であり、保全活動が重要であること、また、今秋、本地域で浚渫工事が始まるため、来年度からは浚渫工事後にどのように生き物が戻ってくるかを調べるという県下でもあまり例がない調査になり、新たな出発でもありデータの蓄積が注目されるとの話があった。講師の熱心でわかりやすい説明で、楽しく有意義な観察会であった。			

実施日	7/17(火)	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	15名		
研修会		平成30年度せんまや里山塾 リフォームコース(古着の有効活用リメイク教室)			
テーマ		古着の有効活用リメイク教室 ・古着の有効活用を通して、地球にやさしいエコ生活につなげる			
内容		5月の第1回目に裁断したものを完成させている方もいました。次の作品に取り掛かる方もおり順調に制作できているようです。完成品にもアドバイスをいただき手直しを加えている方もおり、さらに完成度があがったようです。先生の前には順番待ちの列が途切れることなく、それを次々と対応していただき参加者の方も意欲がどんどんできてきているようです。			

実施日	7/17(火)	主催者	金ヶ崎町立西小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	13名		
研修会		総合的な学習の時間「黒沢川の水生生物調査」をしよう			
テーマ		水生生物調査 ・川をきれいにするにはどうすればよいか ・川がきれいになると、どんなよいことがあるか			
内容		黒沢川の上流右岸と下流左岸において水生生物調査を行った。結果、右岸はきれいな川、左岸はややきれいな川ということが分かった。 調査中に雨が降ってきたが、教室でまとめを行うことができた。川を守ることは全ての生態系を守ることにつながることが分かり、より環境を守る必然性を強く感じることができた。大変勉強になった。			

実施日	7/18(水)	主催者	岩手県生活問題研究所	アドバイザー	粒針 文子
		対象	13名		
研修会		環境学習(マイクロプラスチックについて)			
テーマ		マイクロプラスチックについて ・MPの現状 ・岩手県の場合はどうか ・私たちが気を付けることは何か			
内容		パワーポイントを使用し、マイクロプラスチックについてお話を聞いた。化学物質が生物に与える影響が強く共生していかなければならない時代になった。			

実施日	7/18(水)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	24名(奥州市立大田代小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査 ・児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		児童たちはサワガニはじめ生物を多く採取し、歓声をあげながら楽しんでいったようだ。また、全校児童での調査のため、経験のある高学年児童が低学年児童をうまくサポートしながら取り組んでいたようだ。(水質判定・Ⅰ・きれいな水)			

実施日	7/18(水)	主催者	雫石町立御明神小学校	アドバイザー	安原 昌佑
		対象	16名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		「環境を考える」「滝川の水生生物調査」 ・身近な自然を守ろうという意識を高める。			
内容		水生生物が載っている下敷を参考に説明してくださったり、川の様子を教えてください、分かりやすく学ぶ事ができた。また、環境について話をしてくださりこれからの生活に生かすことができる。自分たちで滝川（雫石川）の美しさを守ろうという意識もたかまった。			

実施日	7/19(木)	主催者	遠野市立綾織小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	10名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		・水生生物調査の意味・方法。 ・実地調査の指導			
内容		綾織町内砂子沢川にて、講師小田嶋氏の指導のもと、水生生物調査を行った。水生生物を捕獲した後、本校理科室に運び、児童と一緒に生物の名称と数をまとめ、砂子沢川の水質階級を判定した。			

実施日	7/19(木)	主催者	葛巻町立吉ヶ沢小学校	アドバイザー	高橋 正一
		対象	10名		
研修会		水生生物による水質調査(吉ヶ沢川水質調査)			
テーマ		川の水質と環境との関わり ・地域の川の水質調査を実施する事を通じて、児童の地域の環境の保全意識を高める。			
内容		2日前までの雨の影響で水量が多く、また流れも速いことから、児童は川には入らず、環境アドバイザーの講師の先生と教職員で水生生物の捕獲を行い、児童は陸地で水生生物の観察を行った。一つ一つ生物について丁寧に教えていただいた。水質調査の意義や環境を守ることの大切さを学ぶことができた。			

実施日	7/20(金)	主催者	一戸町立一戸小学校	アドバイザー	高橋 正一
		対象	37名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物による水質調査 ・水生生物の生態 ・馬淵川の水質の過去と現在			
内容		水辺での安全な行動や水生生物について環境アドバイザーよりお話をいただいた後、調査を実施した。先日の雨でやや水量が多かったが、浅いところのみに限定して調査することで安全に行った。初めて川に入るという児童たちもあり、安全かつ積極的に調査に取組み、楽しんでいるようであった。下敷きに記載されていない水生生物や、指標生物に分類されていない水生生物についても詳しく説明をしていただき、昔の様子なども織り交ぜながらの説明で児童たちも興味を示しているようであった。また、水資源や環境保全の大切さについても話していただき、充実した内容であった。			

実施日	7/21(土)	主催者	盛岡市都南公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	37名		
研修会		親子ホタル観察講座			
テーマ		ホタルの生態など基礎知識の学習と現地視察 ・乙部(大ヶ生)地区で観察されるゲンジ・ヘイケ・ヒメボタルについて、それぞれの特長と見分け方 ・ホタルが光るしくみ			
内容		研修室にて講話後、大ヶ生にバス移動。大ヶ生到着後、駐車場から下流に向かって徒歩にて観察。天気も良く、アスパラでホタルをとり一人ひとり詳しく観察できた。川の護岸工事後、年々数が減っているように感じる。3種類のホタルが観察できる希少な場所であることを認識するとともに、はじめての感動を多くの子供達に伝えていきたい。親子とも関心が高く、講師の講話も、ホタルの生態と同時に豊かな自然を守る事の大切さも学ぶことができ大変有意義であった。			

実施日	7/21(土)	主催者	NPO法人 奥州・いわてNPOネット	アドバイザー	小沢 宗
		対象	17名		
研修会		故郷の川、岩谷堂人首川水生生物調査			
テーマ		水生生物調査による人首川の水質調査学習会 ・川での調査で注意すること ・生き物で知ることができる川の水質について ・きれいな水に保つため、自分のできる取り組みについての気づき。			
内容		川との安全で上手な付き合い方について、子供たち、若い子育て世代に伝えるよい機会となっている。			

実施日	7/21(土)	主催者	一関学習交流館	アドバイザー	千田 典文
		対象	25名		
研修会		海の生物体験			
テーマ		岩手県の海に生息する生物の基礎知識 ・岩手県の海に生息する生き物の種類や特徴について ・岩手県の海の特徴(親潮、黒潮が交じり合う場所)について ・「森は海の恋人」と言われる理由につて			
内容		千田氏から海の環境問題についての話をいただきました。プラスチック・ペットボトル・ストロー等が海を漂流して海の生物に良くない事が起きていること、世界中で問題になっていること、海を汚さないこと等分かりやすく話していただき、参加者も良く理解できたようでした。			

実施日	7/21(土)	主催者	東稲山さくら会	アドバイザー	阿部 慶元
		対象	75名		
研修会		平泉ネイチャーウォーキング			
テーマ		東稲山麓の自然環境等について ・東稲山麓の自然環境において特筆すべき事項 ・希少野生動植物等について ・紫陽花について			
内容		ウォーキングコースを案内していただきながら、付近の自然環境、植生などについてお話をいただいた。 参加者は注意深く聞き入っており、お話の内容も好評だった。			

実施日	7/22(日)	主催者	田野自治会	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	30名		
研修会		川における安全教育			
テーマ		川下りにおける安全対策			
内容		馬淵川川下りについての安全講習			

実施日	7/26(木)	主催者	盛岡市都南公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	40名		
研修会		親子ホタル観察講座			
テーマ		ホタルの生態など基礎知識の学習と現地視察 ・乙部(大ケ生)地区で観察されるゲンジ・ヘイケ・ヒメボタルについて、それぞれの特徴と見分け方 ・ホタルが光るしくみ			
内容		研修室にて講話後、大ケ生にバス移動。大ケ生到着後、駐車場から下流に向かって徒歩にて観察。天気も良く、アスパラガスの葉でホタルをとり一人ひとり詳しく観察できた。川の護岸工事後、年々数が減っているように感じる。3種類のホタルが観察できる希少な場所であることを認識するとともに、はじめての感動を多くの子ども達に伝えていきたい。親子とも関心が高く、講師の講話も、ホタルの生態と同時に豊かな自然を守る事の大切さも学ぶことができ大変有意義であった。			

実施日	7/26(木)	主催者	八幡平市田頭コミュニティセンター	アドバイザー	川邊 弥生
		対象	13名		
研修会		エコ風呂敷講座			
テーマ		エコ風呂敷講座			
内容		風呂敷の由来～活用法、風呂敷の包み方実践、包み方の実験など大変詳しく教えてくださいました。時にクイズ形式で参加者に問いかけるなど、大変楽しくお話を聞いていたようでした。			

実施日	7/27(金)	主催者	盛岡市乙部地区公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	15名		
研修会		親子ホタル観察講座			
テーマ		ホタルの生態など基礎知識の学習と現地視察 ・乙部(大ケ生)地区で観察されるゲンジ・ヘイケ・ヒメボタルについて、それぞれの特徴と見分け方 ・ホタルが光るしくみ			
内容		研修室にて講話後、大ケ生にバス移動。大ケ生到着後、駐車場から下流に向かって徒歩にて観察。ホタルは思ったより少なかったが、初めてホタルを見る児童も多く、実際にホタルの生態を学べたため開催してよかった。来年はより多くのホタルが観察できるように、開催時期を検討したい。			

実施日	7/27(金)	主催者	めだかの学校 住田教室	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	8名		
研修会		めだかの学校 住田教室			
テーマ		眠っている着物をリメイクする			
内容		前回の作品を作り、約1ヶ月、早く続きを教えてという意気込みが感じられました。また、病気の自分が皆の前に出たくないという去年は参加を渋っていた方が参加するようになった事が喜ばしいことでした。			

実施日	7/27(金)	主催者	遠野市立遠野小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	18名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物調査 ・来内川の水がきれいなのか ・きれいな年とそうでない年あるのはなぜか ・私たちが何に気を付けると川がきれいになるのか			
内容		来内川に住む水生生物を調査することによって、来内川の水質がきれいであることが分かった。講師と児童と交流により、「川をきれいにしよう」という児童の意識が高まった。児童の中には個人でも「研究としてまとめたい」という児童もいた。			

実施日	7/27(金)	主催者	北上市農林部農業振興課	アドバイザー	川邊 弥生
		対象	25名		
研修会		第5回オーガニック・エコ推進研修会～夏やさい収穫体験(親子自由研究)～			
テーマ		圃場にある雑草等の働きや効能について ・夏休み期間中の親子等を対象とし、自然農法を行っている市内生産者の圃場で、野菜の収穫や植物の観察を通じて生態系への理解を深め、広くオーガニック・エコの普及促進を図る。			
内容		資料や書籍を用いて学習を行った後、実際に圃場の中に入り、虫の観察や野菜の収穫体験を行った。圃場で見られた虫や野草について、子供たちの質問に適宜答えながら研修を行った。子供たちに対する接し方も慣れており、安心して研修会を任せられた。配布資料の作成においても、事前に圃場を訪れて作成するなど、熱心に研修に関わってもらった。			

実施日	7/28(土)	主催者	山目地区まちづくり協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	10名		
研修会		わくわくぼうけんじゃー			
テーマ		昆虫採集及び里山観察 ・赤荻の歴史的遺産を後世に伝えるために、地域の子ども達にその遺産を知ってもらう。			
内容		昆虫採集の仕方の説明後、実際に山に出かけ昆虫採集及び里山観察。 帰館後図鑑で取ってきた虫の名前を調べる。 標本の作り方の説明。			

実施日	7/28(土)	主催者	山後公民館	アドバイザー	安原 昌佑
		対象	20名		
研修会		山後資源保全組合 生き物調査			
テーマ		水生生物調査 ・水生生物の種類の説明 ・水生生物の種類による川の水質の説明			
内容		山後公民館で、はじめの会を行ったあと徒歩3分の用水路に移動して水生生物を採取。 その後、公民館にもどり採取してきた生物の種類をアドバイザーの安原さんと子供たちが一緒に確認。 水生生物と川の関係の説明。			

実施日	7/29(日)	主催者	ボーイスカウト盛岡5団カブ隊	アドバイザー	安原 昌佑
		対象	27名		
研修会		中津川の水生生物調査			
テーマ		水生生物調査のやり方と水生生物について			
内容		・安全について、水生生物調査のやり方、環境についての説明。 ・川での水生生物採取→分類・集計(用紙記入)→水生生物を川に戻す。 ・川の環境についての話。			

実施日	7/29(日)	主催者	ボーイスカウト盛岡5団カブ隊	アドバイザー	河野 豊
		対象	27名		
研修会		中津川の水生生物調査			
テーマ		水生生物調査のやり方と水生生物について			
内容		・安全について、水生生物調査のやり方、環境についての説明。 ・川での水生生物採取→分類・集計(用紙記入)→水生生物を川に戻す。 ・川の環境についての話。			

実施日	7/31(火)	主催者	黒岩自治振興会	アドバイザー	藤原 正
		対象	18名		
研修会		少年少女学級 白山わいわい塾 「水辺の生物調査」			
テーマ		水生生物観察 ・黒岩地区の自然豊かな地域性を活かし、隠れた景観資源の発掘に繋げ、感性豊かな児童を育むことを目的に実施。			
内容		猛暑による熱中症に注意をしながら(気温33℃、水温26℃)水生生物の採取を行った。交流センターへ戻り、採取生物の観察を行った。ややきれいな水に住む生物が多かったことから、環境を大事にする大切さを学んだ。			

実施日	7/31(火)	主催者	平成30年度湯田ダム水源地見学会実行委員会	アドバイザー	佐井 守
		対象	30名		
研修会		平成30年度 湯田ダム水源地見学会(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査 ・郷土の河川環境について水生生物調査をとおして学ぶ。 ・ダムや発電所などの人の暮らしやエネルギーについて。 ・川の活動での安全についての助言。			
内容		・郷土の河川環境について水生生物調査しながら学び、川の活動での安全についても学びました。 ・ダムや発電所などの人の暮らしやエネルギーについても学習しました。			

実施日	7/31(火)	主催者	平成30年度湯田ダム水源地見学会実行委員会	アドバイザー	米澤 大介
		対象	30名		
研修会		平成30年度 湯田ダム水源地見学会(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査 ・郷土の河川環境について水生生物調査をとおして学ぶ。 ・ダムや発電所などの人の暮らしやエネルギーについて。 ・川の活動での安全についての助言。			
内容		・郷土の河川環境について水生生物調査しながら学び、川の活動での安全についても学びました。 ・ダムや発電所などの人の暮らしやエネルギーについても学習しました。			

実施日	8/1(水)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	15名(みずさわエコキッズ)		
研修会		奥州市における環境学習事業(田んぼの生き物調査、水生生物調査)			
テーマ		田んぼ・水路の生き物調査 ・児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		水生生物調査においては、一カ月前の豪雨被害の影響により生物の数は前回調査時より少なめだったようだが、サワガニをはじめさまざまな生物を採取でき、子供たちは楽しみながら活動していたようだ。(水質判定・I・きれいな水)			

実施日	8/1(水)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	菅原 民子
		対象	10名(みずさわエコキッズ)		
研修会	奥州市における環境学習事業(田んぼの生き物調査、水生生物調査)				
テーマ	田んぼ・水路の生き物調査 ・児童の環境学習に対する理解と認識を深める				
内容	水生生物調査においては、一カ月前の豪雨被害の影響により生物の数は前回調査時より少なめだったようだが、サワガニをはじめさまざまな生物を採取でき、子供たちは楽しみながら活動していたようだ。(水質判定・I・きれいな水)				
実施日	8/1・2 (水・木)	主催者	盛岡市立北陵中学校 科学部	アドバイザー	安原 昌佑
		対象	12名		
研修会	身近な河に住む水生生物調査による河の水質調べ				
テーマ	身近な河の水質とそこに住む水生生物の実態をどのように調査するのかを学ぶ ・水生生物調査の方法と、留意点。 ・水生生物の種類と調査結果の見定め方。				
内容	前年に引き続き、川真珠貝の生息状況を確認し、川の様子や水生生物について学んだり、現地で体験学習することができました。				
実施日	8/2(木)	主催者	奥州市立胆沢中学校	アドバイザー	川田 昌代
		対象	11名		
研修会	科学部の活動				
テーマ	水生生物調査 ・どのような水生生物がいるのかを知る。 ・生息する生物から川の水質の状況を知る。				
内容	水生生物を採取、分類し、観察を行った。 生息する生物から水質の階級を調べた。 丁寧に指導をいただき、生徒たちも積極的に質問、活動することができました。				
実施日	8/3(金)	主催者	紫波町立紫波第三中学校 総合文化部	アドバイザー	佐藤 喜一
		対象	7名		
研修会	滝名川水質調査				
テーマ	水生生物による水質調査の方法を学ぶ ・水質調査の仕方(水質のpHなど) ・安全に行うために注意すること				
内容	川の水質がきれいなことが、pH、COD、透視度指標生物によってわかった。				
実施日	8/5(日)	主催者	教育振興会川舟貝沢実践班	アドバイザー	田中 寛
		対象	32名		
研修会	自然観察会(川の生き物調べ)				
テーマ	夏休みを利用して郷土の自然を観察するとともに川の生き物調べを通じてその豊かさを体験させる ・水生生物調査と自然観察				
内容	8/5は悪天候のため、屋内で講師からの「水生生物」についての簡単な「お話」とした。 8/7に改めて都合のつく児童を対象に「川の生き物調べ」を実施した。やや水量が多いが実施、ヘビトンボ、トビケラ類等が見られた。他にヤマメの稚児、カジカも近くで捕まえることができたので観察できた。				

実施日	8/6(月)	主催者	川口学童保育クラブ	アドバイザー	大友 晃
		対象	25名		
研修会		安比ブナの森を探検しよう!!			
テーマ		自然体験（規制のコースを歩くのではなく、探検する事で自分なりの自然を感じる） ・子供たちが安全に森の中を歩きまわれる方法 ・自然を利用した遊び ・自然の楽しみ方			
内容		雨の中の活動だった為、思いきり遊ぶことは出来なかったが、雨だから知る事が出来た森のしくみや不思議があって楽しかった。天候が悪かったので子どもたちの体調を考え、早めに切り上げていただいた。			

実施日	8/6(月)	主催者	一戸町公営塾	アドバイザー	高橋 正一
		対象	28名		
研修会		一戸町公営塾プレゼンツ 夏休みクイズラリー内座学			
テーマ		夏の自然について ・夏の自然について、子どもたちが興味を持てる話 ・特に一戸町のことについて			
内容		小学生を対象に、「自由研究の課題」という話を軸に一戸の自然の話や、昔と今の自然についての話をいただいた。昔使っていた道具や、ホワイトボードを使っでの説明に、子どもたちは熱心に聞き入っていた。			

実施日	8/6(月)	主催者	閉伊川サクラマスMANABIプロジェクト実行委員会	アドバイザー	水木 高志
		対象	52名		
研修会		台湾×東京×岩手 森・川・海とそのつながりを学ぼう (小学生を対象に、自然ある閉伊川流域で、遊びや地域に根ざした活動による体験で森川海の繋がりと、国際交流を通じて、自然の大切さと勇気を与える活動として行うもの)			
テーマ		川の流され体験・水辺の生き物調べ、他 ・川での泳ぎ方、流され方、安全に遊ぶ方法。 ・水辺にはどんな生物がいるのか？採取法。 ・森・川・海の関わり。			
内容		天候不順にて雨天の為、急遽、河原での体験から室内学習へと切り替え、水圏環境リテラシー教育を通し、森川海の繋がりを体験の中で学ぶ。その後、閉伊川漁協の協力のもと、ヤマメ稚魚の放流を行う。			

実施日	8/7(火)	主催者	山目地区まちづくり協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	11名		
研修会		わくわくぼうけんじゃー			
テーマ		昆虫採集及び里山観察			
内容		雨は降っていたが、セミの抜け殻を捕りに観音寺に向かう。雨の時の昆虫の生態を聞きながら探す。ちょうど葉っぱの下で休んでいたオニヤンマや、木にとまってじっとしているセミを見つけ捕まえる。公民館に戻りフローチャートを使って、セミの抜け殻からセミの種類を判別。判別しづらいものは顕微鏡やルーペを使う。			

実施日	8/7(火)	主催者	紫波町立紫波第一中学校科学部	アドバイザー	佐藤 喜一
		対象	12名		
研修会		科学部			
テーマ		・水生生物による水質調査ー水生生物からわかる紫波町を流れる北上川の水質 ・パックテストによる水質調査ーパックテストでわかる紫波町を流れる川の水質。COD pH リン酸			
内容		大雨の翌日で北上川では実施できず、昨年と同じ平沢川で行った。平沢川も増水、水が濁っていた。パックテストできた。			

実施日	8/10(金)	主催者	一関学習交流館	アドバイザー	千田 典文
		対象	31名		
研修会		放課後子ども教室推進事業『あこおぎ子ども広場』夏休み特別プログラム 沢登り体験			
テーマ		自然界の植物、生き物の基礎的知識 ・沢の生き物の種類や特徴について ・里山の植物や野鳥、生き物について ・沢のぼりの基本的知識について			
内容		学校教育や家庭生活ではなかなか体験できない自然とふれあいを体験しようと、毎年同じ夏休み時期に沢登りを計画しています。環境アドバイザーの千田様に、沢あそびの知識や注意点、自然の植物、野鳥、生き物の説明をいただき、子どもたちは貴重な体験をすることができました。			

実施日	8/10(金)	主催者	西和賀町立新町保育所	アドバイザー	瀬川 強
		対象	15名		
研修会		沢内地区保育所 5歳児交流保育 川遊び			
テーマ		・3保育所の5歳児が集まり、普段より多い人数での活動を楽しみながら交流する。 ・川遊びをしながら、水生生物を観察したり触れたりして興味や関心を持つ。			
内容		川遊び、水生生物の観察、川周辺の植物や石の観察。			

実施日	8/11(土)	主催者	NPO法人 いちのへ文化・芸術NPO	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	24名		
研修会	第12回親子deサイエンス図書館 ～星空(ソラ)はとってもおもしろい！みづかなソラをたのしもう！～				
テーマ	・星空について ・空について ・空や星空には何があるか ・星空の観察方法				
内容	フリーワードビンゴや、外に出て観察する等アクティビティを交えなが身近な空についてわかりやすく解説をしていただいた。星座早見盤の作成や月の満ち欠けについての配布物もあり、夜空にも興味を持つ内容であった。				

実施日	8/11(土)	主催者	畑自治会	アドバイザー	河野 豊
		対象	22名		
研修会		地域の川とふれよう			
テーマ		柏台小学校児童及び保護者、地域住民に対し、川とふれあうことによる地域環境状況の理解、河川環境保全意識の啓発を実施することを目的とします。			
内容		青年団、消防団の見守る中、川・自然とふれあった。			

実施日	8/21(火)	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	14名		
研修会		平成30年度せんまや里山塾 リフォームコース(古着の有効活用リメイク教室)			
テーマ		古着の有効活用リメイク教室			
内容		1つ目の作品を完成させ次の作品制作にかかる方も増えてきました。前回参加できなかった方も作成に取り掛かり制作を進めています。先生の大胆な発想に毎回皆さんから歓声が上がります。パワフルな先生に皆さんの制作意欲もどんどんわいてくるようです。ファッションショーのご案内もいただいたのでぜひ参加できるように作品を完成させたいと皆さん張り切っていました。			

実施日	8/21(火)	主催者	遠野市立附馬牛小学生	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	14名		
研修会		高学年 水生生物調査			
テーマ		水生生物調査 ・川の生き物について ・調査の仕方や活用の仕方について			
内容		採取の仕方について丁寧に説明いただいた。子どもたちは夢中になって採取に取り組むことができました。仕分けの作業で、子どもたちが不明な生物を的確にアドバイスをいただき、広い知識で接していただいた。			

実施日	8/21(火)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	84名		
研修会		川体験学習事前研修			
テーマ		川の役割と生物一中津川の水生生物と環境保全の取組について			
内容		生徒にとって身近な中津川や北上川の様子を取り上げ、地形や歴史、生態系に触れながら川の果たす役割やその価値について詳しく講演をしていただいた。			

実施日	8/21(火)	主催者	一戸町立一戸南小学校	アドバイザー	高橋 正一
		対象	16名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物による水質調査 ・水生生物の生態 ・馬淵川の水質の過去と現在			
内容		先日の大雨で水位が上昇しており大変危険な状態であったため、馬淵川の基本的な説明や、水辺での安全な行動や水生生物について環境アドバイザーより教室でお話をいただいた後、環境アドバイザーの高橋正一氏と一戸町役場水環境課の馬林が代表して川に入り調査を実施した。安全のため、子供たちには川に入らないで水生生物を観察してもらい、水生生物の他、石に関する説明を行い、非常に楽しんでいるようであった。下敷きに記載されていない水生生物や、指標生物に分類されていない水生生物についても詳しく説明をしていただき、昔の様子なども織り交ぜながらの説明で児童たちも興味を示しているようであった。また、水資源や環境保全の大切さについても話していただいた。			

実施日	8/22(水)	主催者	花巻市建設部公園緑地課	アドバイザー	田村 麗丘
		対象	22名		
研修会		市内花壇見学バスツアー			
テーマ		園芸・景観 ・花いっぱいのまちづくりについて ・花壇の手入れ・管理の仕方(体制)、デザインについて			
内容		市内の花壇の実践者のお話し(取り組みのきっかけ、管理方法、花壇デザインのポイントなど)を交えながら見学しました。その後、講評会場に移動し、田村先生に見学した花壇の講評や風景・景観の捉え方・考え方についてご講義いただきました。花壇実践者の方も多数参加しており、田村先生の講評から、今後の活動のヒントを得た参加者も多かったのではないかと思います。			

実施日	8/22(水)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	36名		
研修会		川体験学習			
テーマ		川の役割と水生生物 ・中津川の水生生物と環境保全の取組について			
内容		川に入る前に、川の水質の予想をした。川に入るねらいを明確にして、水生生物を採取し、種類や数を観察記録としてグループごとにまとめた。また、発見された指標生物から川の水質を知ることができた。身近にある中津川は多くの生物や魚が住んでいるきれいな川であることを生徒たちが体験を通して学ぶことができた。また、生態系についても体験的に学ぶことができた。			

実施日	8/22(水)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	36名		
研修会		川体験学習			
テーマ		川の役割と水生生物 ・中津川の水生生物と環境保全の取組について			
内容		川に入る前に、川の水質の予想をした。川に入るねらいを明確にして、水生生物を採取し、種類や数を観察記録としてグループごとにまとめた。また、発見された指標生物から川の水質を知ることができた。身近にある中津川は多くの生物や魚が住んでいるきれいな川であることを生徒たちが体験を通して学ぶことができた。また、生態系についても体験的に学ぶことができた。			

実施日	8/22(水)	主催者	岩手県立西和賀高等学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	43名		
研修会		平成30年度 1学年 第3回総合的な学習の時間			
テーマ		郷土の自然観察学習ー自然観察として川に関する内容(川の地形や生物など)			
内容		川の地形や水の流れ方を学んだ上で、川で溺れたときはどうすればどう助かるか、溺れている人をどのように救助するかについて教えていただいた。その後、ゴムボートに乗る体験も行い、水の流れのスピードを体験した。川で安全に過ごす方法を生徒たちは真剣な表情で学んでいた。授業の最後では思う存分水遊びを楽しみ、十分に自然とふれあう時間が得られた。			

実施日	8/23(木)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	26名		
研修会		川体験学習			
テーマ		川の役割と水生生物 ・中津川の水生生物と環境保全の取組について			
内容		川に入る前に、川の水質の予想をした。川に入るねらいを明確にして、水生生物を採取し、種類や数を観察記録としてグループごとにまとめた。また、発見された指標生物から川の水質を知ることができた。身近にある中津川は多くの生物や魚が住んでいるきれいな川であることを生徒たちが体験を通して学ぶことができた。また、生態系についても体験的に学ぶことができた。			

実施日	8/24(金)	主催者	めだかの学校 住田教室	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	6名		
研修会		めだかの学校 住田教室			
テーマ		着物リメイク			
内容		ゆっくりと、丁寧に指導していただきました。それぞれ形になって来たのと、早い人はパンツを2・3枚つくり、友人にあげたとうことです。着用する人も増えてくるのを期待しています。			

実施日	8/24(金)	主催者	遠野市立宮守小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	28名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物調査			
内容		川で班毎に水生生物を採集し、学校に戻って理科室で仕分け・集計作業をした。採集の仕方を丁寧に教えてくださったので、班毎に作業手順を確認しながら協力して活動することができた。			

実施日	8/24(金)	主催者	紫波町立赤石小学校	アドバイザー	佐藤 喜一
		対象	68名		
研修会		「わたしたちの町を流れる川について調べよう」(総合的な学習)			
テーマ		滝名川の水生生物調査 ・川の水生生物について ・滝名川の環境について(きれいな水にいる生き物等)			
内容		実際に採集していただいた水生生物やイモリ、パワーポイントの画像などを使って、自分たちの住む地域の環境や生き物について教えていただいた。岩手県と他県との生き物の特徴の違いを、実物を見せながら話してくださったので、環境の違いによる生き物の変化も体感することができた。準備をしていただいたおかげで、興味関心を持続し、話を聞くことができた。雨天により川での調査が出来なかったことが残念だった。しかし、実際に滝名川にいる魚や昆虫の画像を見せてくださるなど、自分たちの住む地域の川について、知らないことを知ることができるとともに、各種のデータを見せていただいたことで、川をきれいにしようとする意識も高めることができた。			

実施日	8/25(土)	主催者	盛岡市環境部環境企画課	アドバイザー	大友 晃
		対象	22名		
研修会		盛岡市環境学習講座「夏の姫神山に登ってみよう！」			
テーマ		登山及び自然観察 ・登山の装備、留意点 ・山の自然 ・姫神山の歴史			
内容		登山での疲れない歩き方を具体的に教わりながら、登ることに一生懸命にならず、その時しか味わえない自然の表情を楽しみながら登山が出来た。また、足場が不安定な箇所や頂上付近の風の強い岩場でも、講師の声かけやサポートにより、参加者全員笑顔で頂上に立ち、安全に登山、下山が出来た。道中、登山道の土砂流出について触れ、豪雨や登山者の増加などによる影響も話され、地球温暖化や自然環境保全について考えさせられる機会ともなった。 山頂での昼休憩の際は目下に建設中の風力発電施設について、盛岡市環境企画課職員より説明。			

実施日	8/26(日)	主催者	岩手県立県南青少年の家	アドバイザー	藤原 正
		対象	42名		
研修会		平成30年度 岩手県立県南青少年の家主催事業 自然ワンダークラブ			
テーマ		水生生物調査 ・水生生物の観察方法の実演 ・岩手の河川について。川の恩恵や役割について。			
内容		説明も分かりやすく、参加者も興味をもって研修できた。 約1時間半の研修だったが、内容が充実していた。			

実施日	8/27(月)	主催者	遠野市立遠野北小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	67名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物調査ー水生生物の生態について			
内容		前日の雨で実施できるか心配であったが、調査を行うことができた。調査方法や水生生物について、分かりやすく教えていただき、児童も調査に意欲的に取り組むことができた。いろいろな水生生物を見つけることができたし、きれいな川であることも分かり、これからきれいな川を守っていきたいという気持ちを持つことができた。			

実施日	8/27(月)	主催者	盛岡市立下橋中学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	25名		
研修会		第1学年 川体験学習			
テーマ		川の役割と生物ー中津川の水生生物と環境保全の取組について			
内容		川に入る前に、川の水質の予想をした。川に入るねらいを明確にして、水生生物を採取し、種類や数を観察記録としてグループごとにまとめた。また、発見された指標生物から川の水質を知ることができた。身近にある中津川は多くの生物や魚が住んでいるきれいな川であることを生徒たちが体験を通して学ぶことができた。また、生態系についても体験的に学ぶことができた。			

実施日	8/28(火)	主催者	八幡平市立田山小学校	アドバイザー	河野 豊
		対象	8名		
研修会		総合的な学習の時間			
テーマ		水生生物調査 ・水の中の生き物 ・郷土の川について(水質について)			
内容		児童ににもわかるような言葉遣いで、児童の興味関心を引くように、児童の発見を大事にして対応していただいた。 郷土の河川環境について、水生生物について、今まで知らなかったこともたくさん知ることができた。郷土の川が「きれいな河川」であることがわかった。			

実施日	8/28(火)	主催者	葛巻町立小屋瀬小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	22名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		・水生生物調査(実地調査)と指標生物の生態等 ・土谷川の水質と環境保全のための取組			
内容		昨年度と同様の、山形川と土谷川の合流地点で両方の川の水生生物調査を実施した。どちらも水質階級は「Ⅰ」だったが、それぞれの川にいる水生生物に違いが見られた。その違いからそれぞれの川の姿について教えていただいた。			

実施日	8/28(火)	主催者		アドバイザー	内田 尚宏
		対象	35名		
研修会		中津川を探検しよう			
テーマ		中津川にいる水生生物について			
内容		「中津川はきれいか」。実際、水生生物を採って、分類表から川の水質を調べることができました。水生生物を手で触り自分の目で確かめることができたことが良かった。			

実施日	8/28(火)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	35名		
研修会		中津川を探検しよう			
テーマ		中津川にいる水生生物について			
内容		「中津川はきれいか」。実際、水生生物を採って、分類表から川の水質を調べることができました。水生生物を手で触り自分の目で確かめることができたことが良かった。			

実施日	8/28(火)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	安原 昌佑
		対象	35名		
研修会		中津川を探検しよう			
テーマ		中津川にいる水生生物について			
内容		「中津川はきれいか」。実際、水生生物を採って、分類表から川の水質を調べることができました。水生生物を手で触り自分の目で確かめることができたことが良かった。			

実施日	8/28(火)	主催者	一戸町立鳥海小学校	アドバイザー	高橋 正一
		対象	7名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物による水質調査 ・水生生物の生態 ・竜頭川の水質の過去と現在			
内容		水辺での安全な行動や水生生物について環境アドバイザーよりお話をいただいた後、調査を実施した。先日の大雨でやや足場が悪かったが、比較的平らで浅いところのみに限定して調査することで安全に行った。初めて川に入るといふ児童たちもあり、安全かつ積極的に調査に取組み、楽しんでいるようであった。下敷きに記載されていない水生生物や、指標生物に分類されていない水生生物についても詳しく説明をしていただき、昔の様子なども織り交ぜながらの説明で児童たちも興味を示しているようであった。また、水資源や環境保全の大切さについても話していただいた。			

実施日	8/29(水)	主催者	胆沢平野土地改良区	アドバイザー	川田 昌代
		対象	15名		
研修会		若柳小学校 ビオトープ生き物勉強会			
テーマ		ビオトープ池にいる生き物・植物の説明 ・当該地(ビオトープ池)に適していると思われる生き物・植物について ・今後の活動でどのようなことをすれば良いか			
内容		植物観察では、ビオトープ池に生育する植物について詳しく説明をいただきました。生き物観察では、児童一人ひとりが採ったビオトープ池の生き物を見ながら、詳しく解説をいただきました。まとめにビオトープ池は、たえず人が適正に管理していく必要があること等も児童に分かりやすく教えていただきました。			

実施日	8/29(水)	主催者	岩手大学附属小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	40名		
研修会		総合的な学習の時間「わたしたちの中津川」			
テーマ		・中津川の自然について一水質・生き物など ・中津川の環境保全について			
内容		中津川(富士見橋付近)での水質調査 ・川の安全な入り方について ・中津川に生息する水生生物の採集 ・採集した生物をもとに水質の調査			

実施日	8/29(水)	主催者	岩手大学附属小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	40名		
研修会		総合的な学習の時間「わたしたちの中津川」			
テーマ		・中津川の自然について一水質・生き物など ・中津川の環境保全について			
内容		中津川(富士見橋付近)での水質調査 ・川の安全な入り方について ・中津川に生息する水生生物の採集 ・採集した生物をもとに水質の調査			

実施日	8/29(水)	主催者	岩手大学附属小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	39名		
研修会		総合的な学習の時間「わたしたちの中津川」			
テーマ		・中津川の自然について一水質・生き物など ・中津川の環境保全について			
内容		中津川(富士見橋付近)での水質調査 ・川の安全な入り方について ・中津川に生息する水生生物の採集 ・採集した生物をもとに水質の調査			

実施日	8/29(水)	主催者	八幡平市立田頭小学校	アドバイザー	安原 昌佑
		対象	12名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物調査一地域に流れる河川の状況を知り、環境保全の意識化を図る			
内容		初めての水生生物調査活動だったため、子どもたちは、とても意欲的に取り組めた。 当日は、おだやかな天候のもと、元気いっぱい活動し、たくさんの水生生物を捕獲することができた。			

実施日	8/30(木)	主催者	一戸町立奥中山小学校	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	180名		
研修会		PTA行事「しらかばの集い」			
テーマ		星空について			
内容		スクリーンに星空の写真を投影して、奥中山から見える空や星のことについてのお話をいただいた。児童は星空の写真を興味深く見ていた。			

実施日	8/30(木)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	菅原 民子
		対象	12名(木細工小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査—児童の環境に対する理解と認識を深める			
内容		時間の制約がある中ではあったが、講師と講師補助の適度な指導により、スムーズに進行した研修だった。水質判定・Ⅰ・きれいな水			

実施日	9/1(土)	主催者	ときめき世界遺産塾実行委員会	アドバイザー	阿部 慶元
		対象	15名		
研修会		ときめき世界遺産塾 第3回講座「今年こそ藤原氏の鉄を探すぞin奥州～もしかしたら金もとれるかも～」			
テーマ		砂鉄採り体験指導—平安時代の砂鉄採り体験を通して奥州市の歴史と自然を学ぶ			
内容		鉄の性質について講義を受けたのち、アドバイザーの指導を受けながら、大久保川で砂鉄取りを体験した。全ての児童生徒が砂鉄を取ることができ、持ち帰ることができた。			

実施日	9/1(土)	主催者	ときめき世界遺産塾実行委員会	アドバイザー	川田 昌代
		対象	14名		
研修会		ときめき世界遺産塾 第3回講座「今年こそ藤原氏の鉄を探すぞin奥州～もしかしたら金もとれるかも～」			
テーマ		砂鉄採り体験指導—平安時代の砂鉄採り体験を通して奥州市の歴史と自然を学ぶ			
内容		鉄の性質について講義を受けたのち、アドバイザーの指導を受けながら、大久保川で砂鉄取りを体験した。全ての児童生徒が砂鉄を取ることができ、持ち帰ることができた。			

実施日	9/3(月)	主催者	陸前高田市立矢作小学校	アドバイザー	千田 典文
		対象	4名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物調査 ・水生生物調査の手順について ・川の様子や生き物について			
内容		川の生き物等を調べて、水質を判定することができた。 川の生き物について、たくさん学ぶことができた。			

実施日	9/7(金)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	30名(岩谷堂小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査—児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		児童が多く、2箇所に分かれての実施となった。児童たちは歓声をあげながら楽しんで生物を採取していたようだった。(水質判定 Ⅱ —ややきれいな水)			

実施日	9/7(金)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	川田 昌代
		対象	27名(岩谷堂小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査—児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		児童が多く、2箇所に分かれての実施となった。児童たちは歓声をあげながら楽しんで生物を採取していたようだった。(水質判定・Ⅱ・ややきれいな水)			

実施日	9/7(金)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	菅原 民子
		対象	27名(岩谷堂小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査—児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		児童が多く、2箇所に分かれての実施となった。児童たちは歓声をあげながら楽しんで生物を採取していたようだった。(水質判定・Ⅱ・ややきれいな水)			

実施日	9/7(金)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	高橋 扶和
		対象	27名(岩谷堂小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査ー児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		児童が多く、2箇所に分かれての実施となった。児童たちは歓声をあげながら楽しんで生物を採取していたようだった。(水質判定・Ⅱ・ややきれいな水)			

実施日	9/11(火)	主催者	盛岡ペットワールド専門学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	8名		
研修会		環境セミナー 北上川の河川生物調査			
テーマ		水生生物の河川調査 ・「指標生物」の見わけ方や採集方法 ・「指標生物」と自然環境とのかかわり			
内容		環境保健研究センターでお借りしました網などを使って、河川生物調査を行いました。その後、教室に戻り、採集した生物を観察・スケッチし、生物を特定し河川環境の指標を測り、高橋先生から講話をして頂きました。			

実施日	9/11(火)	主催者	大船渡市立猪川小学校	アドバイザー	臼澤 良一
		対象	30名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		河川敷においての水生生物調査の仕方及び調査の指導と支援 ・水生生物の観察・記録の仕方 ・水質の違いによる生息している生物の特徴・見分けかたのこつ			
内容		地域の川にすむ水生生物を調査し、実際に生息している生き物を観察することができた。学校のそばを流れる川の汚れ具合を知ることができ、川をきれいにしていくために必要なことをたくさん探り、川をきれいにしていこうとする児童が増えた。			

実施日	9/11(火)	主催者	大船渡市立猪川小学校	アドバイザー	加藤 直子
		対象	23名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		河川敷においての水生生物調査の仕方及び調査の指導と支援 ・水生生物の観察・記録の仕方 ・水質の違いによる生息している生物の特徴・見分けかたのこつ			
内容		地域の川にすむ水生生物を調査し、実際に生息している生き物を観察することができた。学校のそばを流れる川の汚れ具合を知ることができ、川をきれいにしていくために必要なことをたくさん探り、川をきれいにしていこうとする児童が増えた。			

実施日	9/12(水)	主催者	宮古市立重茂小学校	アドバイザー	臼澤 良一
		対象	18名		
研修会		6年総合的な学習における水質環境調査			
テーマ		重茂の水生生物・水質調査をし、環境について考える ・重茂川の水質調査 ・重茂川の水生生物 ・重茂の環境について(岩手県も含む)			
内容		講師指導による水質調査、水生生物観察			

実施日	9/20(木)	主催者	奥州市生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	11名(奥州市立伊手小学校)		
研修会		奥州市における環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		水生生物調査			
内容		調査時間も長めに設定されていたため、採取・分類・判定の一連の作業について、児童たちを急かすことなく余裕をもって実施できた。(水質判定・Ⅰ・きれいな水)			

実施日	9/26(水)	主催者	一関市弥栄市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	13名		
研修会		自然観察会(網張温泉)			
テーマ		自然観察・自然保護―網張温泉の自然や植物について			
内容		展望リフトを利用し、犬倉山を目指した。 参加者は、観察場所の植物や山等に関する千田講師からの説明に熱心に耳を傾けていた。 時々、参加者からの質問に対して丁寧に対応いただいた。			

実施日	9/27(木)	主催者	花巻太陽の子保育園	アドバイザー	大友 晃
		対象	28名		
研修会		秋の不思議を見つけよう！			
テーマ		自然観察―秋の生きものや植物に触れ、自然の面白さを体感する			
内容		講師の方に案内していただきながら、公園の中を散策しました。秋の木の実(栗、どんぐり、栃の実、ヤマボウシの実など)拾い、大きい朴の葉でのお面作り、丸太渡り、木登り、枝から枝へ飛び移るリスを見つけ歓声を上げ、オオウバユリの林の間をジグザグに走り、サツキの植え込みの迷路を駆け抜けると、小雨の降る中、また短い時間でしたが、秋の自然に触れたつぷりと楽しむことができました。			

実施日	10/2(火)	主催者	盛岡市都南公民館	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	10名		
研修会		市民のための環境セミナー「自然保護の概念の曖昧さと、岩手県としての自然保護とはどういうことか」			
テーマ		自然保護について			
内容		豊富な映像、講師ご自身の体験・活動による貴重な資料を使用した「自然保護」につき、講話いただいた。			

実施日	10/8(月)	主催者	岩手県立県北青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	14名		
研修会		平成30年度県北青少年の家主催事業「宿泊トレッキング」			
テーマ		野鳥観察・トレッキング ・野鳥の種類等について(判別の仕方) ・野鳥観察のポイントについて ・季節に合わせたトレッキングについて			
内容		講師には、参加者の年齢やスキルに合わせて、ガイドする内容やコースを臨機応変に変えていただくなど、柔軟にまた細やかに対応していただき、季節を感じながら十分なトレッキングを堪能できた。			

実施日	10/20(土)	主催者	だいこく・あやめ子供会	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	43名		
研修会		だいこく・あやめ子供会交流会			
テーマ		枯山水作りー枯山水作りを通して、自然について学ぶ			
内容		子供たちがじょじょに作品作りにのめり込んでいく様子が印象的でした。時間が足りない子供もいました。			

実施日	10/22(月)	主催者	岩山自然観察会	アドバイザー	亀山 喜作
		対象	10名		
研修会		岩手公園周辺の自然観察会			
テーマ		植物・自然観察 ・岩手公園周辺の植栽の特長について ・市民運動になったヒマラヤスギなどの話			
内容		秋晴れの清々しい陽気の中、内丸周辺および岩手公園内の秋の植物観察をしました。亀山氏の丁寧な解説に、参加者も皆、とても勉強になり身近なところに発見も多くありました。また災害対策のせいか、今伐採が進められている樹木の中には県内でも一本しか無かった種類のものであったというのが当日わかって大変驚きました。県や市の公園管理事業の一環として環境緑化のイベントをよく行っている場所なのに残念、という感想もありました。			

実施日	10/23(火)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	35名		
研修会		中津川を探検しよう			
テーマ		中津川を探検しよう(鮭の生命について)－鮭が帰ってきた様子について			
内容		中津川の「鮭のゆくえと命」について学習し、現地で郷里に帰ってきた鮭の様子を見ることができました。			

実施日	10/23(火)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	35名		
研修会		中津川を探検しよう			
テーマ		中津川を探検しよう(鮭の生命について)－鮭が帰ってきた様子について			
内容		中津川の「鮭のゆくえと命」について学習し、現地で郷里に帰ってきた鮭の様子を見ることができました。			

実施日	10/23(火)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	35名		
研修会		中津川を探検しよう			
テーマ		中津川を探検しよう(鮭の生命について)ー鮭が帰ってきた様子について			
内容		中津川の「鮭のゆくえと命」について学習し、現地で郷里に帰ってきた鮭の様子を見ることができました。			

実施日	10/25(木)	主催者	NPO法人 紫波みらい研究所	アドバイザー	若生 和江
		対象	12名		
研修会		環境講座「うちエコごはん講座」			
テーマ		地元の食材を使い、エコな調理方法を学びながら環境のお話を聞く			
内容		旬の食材を無駄なくおいしく食べる調理方法を教えていただきました。 2時間半と短い時間の中で、予定していた7品＋捨てる部分でのきんぴらなど3品と盛りだくさんなメニューに参加者も大満足でした。			

実施日	10/26(金)	主催者	岩手県消費者団体連絡協議会	アドバイザー	粒針 文子
		対象	40名		
研修会		2018年 岩手県消費者大会 第三分科会 環境問題			
テーマ		マイクロプラスチックが環境に与える影響について ・マイクロプラスチックとは何か ・環境に与える影響について ・環境を守るために私たちが身近のできることは何か			
内容		県内各地から40名の参加があり、会議室がぎっしりで関心の高さがうかがえました。粒針さんよりマイクロプラスチックの危険が、自分たちの気が付かないところでとても身近にあるんだよということをお話いただきました。特に衣類の洗濯でも出るという段では参加者から大きな反響がありました。エコバッグやタワシの話も聞きました。40分ほどの質問タイムも充実していました。			

実施日	10/27(土)	主催者	閉伊川サクラマスMANABIプロジェクト実行委員会	アドバイザー	水木 高志
		対象	30名		
研修会		ヤマメの産卵、サクラマスの不思議			
テーマ		ヤマメの生態、観察、採卵体験			
内容		寒さと雨の中での体験であったが、テントの下、水槽の中を泳ぐイワナ・ヤマメの姿を観察した。その後、普段みることのできない施設見学を行う。今年度はヤマメの成熟が早く、数匹の残されたヤマメの採卵を行い、イワナを麻酔で眠らせ、国内でも貴重なイワナの採卵を実施した。昼食に閉伊川のヤマメ・アユの串焼きを美味しくいただいた。講義学習では、森・川・海の繋がりを元に、閉伊川流域における自然の豊かさを説明され、各自然の繋がりが成り立っているという森・川・海の学びを受ける。			

実施日	11/23(金)	主催者	一関市民センター	アドバイザー	佐藤 良平
		対象	5名		
研修会		少年教室「清庵学び塾」			
テーマ		秋の自然観察 ・植物の特徴や生態 ・生き物の生態			
内容		朝に雪が降りましたが、開始と同時に晴天となり、晩秋の自然観察という雰囲気になりました。マツの花や実や樹皮、リスが食べたクルミ、モグラの穴、コカマキリ、アキアカネなどの植物や生き物を観察しながら歩きました。釣山は市街地の近くですが、初めて行った子どもが多く興味を持って参加していました。			

実施日	12/14(金)	主催者	盛岡市環境部環境企画課	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	14名		
研修会		盛岡市環境学習講座「森の素材でクリスマスリース作り！」			
テーマ		木の実のクラフト(リース作り) ・材料について ・デザインの組み立て方など			
内容		材料となる蔓や木々、葉っぱや木の実などたくさんご用意いただき、集まった参加者は豊富な素材に興味関心が高まっている様子であった。材料や大まかな手順について講師より説明いただき、何よりも大切なのは自由な発想で作ることと、素材について興味を持つことであるとお話いただいた。			

実施日	12/15(土)	主催者	盛岡市環境部環境企画課	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	23名		
研修会		盛岡市環境学習講座「森の素材でクリスマスリース作り！」			
テーマ		木の実のクラフト(リース作り) ・材料について ・デザインの組み立て方など			
内容		開催二日目ですさらに人数も多く、不足した材料を補充いただき、床一面の材料に集まった参加者も驚かされていた様子であった。材料や大まかな手順について講師より説明いただき、何よりも大切なのは自由な発想で作ることと、素材について興味を持つことであるとお話いただいた。リース作りが初めてで自信の無い方も、やっていくうちにどんどんアイデアが広がっている様子で、講師にアドバイスを求めたり、参加者同士で褒め合い、和やかな雰囲気の中で講座を行うことができた。			

実施日	1/12(土)	主催者	浄土ヶ浜ビジターセンター運営協議会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	33名		
研修会		浄土ヶ浜しぜんかんさつかい冬 ～夜空の星に会いに行こう！～			
テーマ		天体・星の話や観察方法など ・この時期に宮古市で見ることの出来る天体や星に関して ・今年度話題となった天・星に関する話(火星大接近、はやぶさ2-リュウグウ) ・一般の方が天体・星を観察する際の観察機器や方法など			
内容		浄土ヶ浜をフィールドに行う定例の自然観察会で、冬季は夜の時間帯の観察会とし、夜の世界を五感をもって体感しながら星や天体を観察することで、宇宙や自然や景観の美しさにも気付いてもらう。天体望遠鏡を使い、天体や星や星座の観察をすることができました。			

実施日	3/2(土)	主催者	いちのせき健康の森	アドバイザー	千田 典文
		対象	10名		
研修会		自然観察会「冬芽の観察会」			
テーマ		冬芽について			
内容		健康の森周辺の山をかんじきをはいて散策しました。木々の冬芽を観察しました。参加者の中には小学生もあり、皆で楽しみながら行うことができました。			

●エコカーゴによる出張環境学習会

環境学習広報車『エコカーゴ』に環境学習キット等を積んで、県内のイベント・地域の学習会等に出張しています。

09

番号	1	イベント名等	第47回もりおか環境緑花まつり
	主催団体	もりおか環境緑化まつり実行委員会	
	日時	2018年4月20日(金)～22日(日) 10:00～16:00	
	場所	盛岡市 盛岡城跡公園	
	参加者数	約450名	
	内容	テーマ: 自然環境・自然体験 内容: アイーナの森たんけん 春バージョン、トイレトペーパー芯でお花のチャームづくり、いわての自然とあそぼうコーナー、環境パネル展示、図書・資料コーナー、「家庭のエコチェック」アンケート	
番号	2	イベント名等	菜の花公開2018
	主催団体	農研機構 東北農業研究センター	
	日時	2018年5月13日(日) 9:00～16:00	
	場所	盛岡市 東北農業研究センター	
	参加者数	約350名	
	内容	テーマ: 自然環境・自然体験、地球温暖化・エネルギー 内容: アイーナの森たんけん 春バージョン、自然のビンゴゲーム、いわての自然とあそぼうコーナー、図書・資料コーナー、「家庭のエコチェック」アンケート	
番号	3	イベント名等	高森高原まつり
	主催団体	高森高原まつり実行委員会	
	日時	2018年6月3日(日) 10:00～14:00	
	場所	一戸町 高森高原レストハウス	
	参加者数	約150名	
	内容	テーマ: 自然環境・自然体験、地球温暖化・エネルギー 内容: アイーナの森たんけん 春バージョン、自然のビンゴゲーム、いわての自然とあそぼうコーナー、図書・資料コーナー、「家庭のエコチェック」アンケート	
番号	4	イベント名等	花と緑のまつり2018
	主催団体	花と緑のまつり実行委員会(花巻市公園緑地課)	
	日時	2018年6月8日(金)～10日(日) 10:00～16:00	
	場所	花巻市総合体育館	
	参加者数	約650名	
	内容	テーマ: 自然環境・自然体験、地球温暖化・エネルギー 内容: 森の工作館、「家庭のエコチェック」アンケート	
番号	5	イベント名等	親子体験スクール
	主催団体	一関市千厩市民センター	
	日時	2018年6月30日(土) 10:30～12:00	
	場所	一関市千厩市民センター	
	参加者数	19名(参加者18名、職員1名)	
	内容	テーマ: 自然環境・自然体験 内容: 環境紙芝居「ももたろう21」、どんぐりつまみ、森の工作館、発電体験	

番号	6	イベント名等	岩手沿岸南部クリーンセンター 施設見学会
		主催団体	岩手沿岸南部広域環境組合
		日時	2018年7月21日(土) 10:00~16:00
		場所	釜石市 岩手沿岸南部クリーンセンター
		参加者数	約70名
		内容	テーマ:ごみ問題、地球温暖化・エネルギー、自然環境・自然体験 内容:みちかな材料でリサイクル工作(新聞バッグ、トイレトーパー芯のプレスレット・ネックレス、マラカス)、ごみっしょんいんぽっしる、「家庭のエコチェック」アンケート、発電体験、いわての自然とあそぼうコーナー、図書・資料コーナー
番号	7	イベント名等	青少年講座「チャレンジKid's」エコカーゴを呼び環境問題について楽しく学ぼう!
		主催団体	八幡平市田頭コミュニティセンター
		日時	2018年7月26日(木) 13:30~15:00
		場所	八幡平市田頭コミュニティセンター
		参加者数	40名
		内容	テーマ:自然環境・自然体験、地球温暖化・エネルギー 内容:環境紙芝居「えこちゃんともりぽっこ」、ごみっしょんいんぽっしる(抜粋3問)、牛乳パックでリサイクルハガキをつくろう、発電体験、森のつみ木、トイレトーパー芯のフラワーチャーム作り
番号	8	イベント名等	カシオペア環境フェスティバル
		主催団体	カシオペア環境研究会
		日時	2018年7月28日(土) 10:00~15:00
		場所	二戸市シビックセンター
		参加者数	約50名
		内容	テーマ:自然環境・自然体験、地球温暖化・エネルギー 内容:森の工作館、発電体験、図書・資料コーナー
番号	9	イベント名等	【自主】縄文の時にふれる自然観察会
		主催団体	環境学習交流センター
		日時	2018年7月29日(日) 10:00~12:00
		場所	御所野縄文公園・御所野縄文博物館
		参加者数	6名
		内容	テーマ:自然環境・自然体験 内容:御所野縄文公園内自然観察、御所野縄文博物館で縄文時代の環境を知る
番号	10	イベント名等	【自主】知ろう! 風力発電☆学んでみよう星空環境
		主催団体	環境学習交流センター
		日時	2018年8月4日(土) 10:00~13:00
		場所	一戸町風力発電星風の丘・一戸町観光天文台
		参加者数	6名
		内容	テーマ:再生可能エネルギー、星空環境 内容:風力発電施設見学会及び現地見学、一戸町観光天文台施設見学と星空環境について講座
番号	11	イベント名等	一戸町公営塾プレゼンツ 夏休みクイズラリー
		主催団体	一戸町公営塾
		日時	2018年8月6日(月) 16:00~18:00
		場所	一戸町町民文化センター
		参加者数	33名
		内容	テーマ:自然環境・自然体験 内容:環境アドバイザーのお話、アイーナの森たんけん

番号	12	イベント名等	夏休み☆エコ体験教室
	主催団体	一関市役所 生活環境課	
	日時	2018年8月11日(土) 10:00～12:00	
	場所	一関市 一関保健センター	
	参加者数	29名	
内容	テーマ:ごみ問題、地球温暖化・エネルギー 内容:水のオリンピック(平均台)、もてるかな?、環境紙芝居「地球がたいへんだあ〜!」、発電体験、ごみクイズ、ふうとうリサイクルバッグづくり、自分にできること(ワークシート)、「家庭のエコチェック」アンケート		

番号	13	イベント名等	いわて銀河フェスタ2018
	主催団体	奥州宇宙遊学館	
	日時	2018年8月18日(土) 11:00～16:00	
	場所	奥州市 奥州宇宙遊学館	
	参加者数	約270名	
内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー 内容:発電体験(発電キット、自転車発電、ソーラークッカー)、環境クイズラリー、「家庭のエコチェック」アンケート		

番号	14	イベント名等	東北農業研究センター公開デー2018
	主催団体	東北農業研究センター	
	日時	2018年9月8日(土) 9:30～15:30	
	場所	盛岡市 東北農業研究センター	
	参加者数	約300名	
内容	テーマ:自然環境・自然体験、地球温暖化・エネルギー 内容:「家庭のエコチェック」アンケート、自然のビンゴゲーム、いわての自然とあそぼうコーナー、発電体験、資料配布		

番号	15	イベント名等	いわてエコカーフェスタ
	主催団体	岩手県	
	日時	2018年9月9日(日) 10:00～17:00	
	場所	滝沢市 いわて産業文化センターアピオ 附属展示場	
	参加者数	約200名	
内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー 内容:「家庭のエコチェック」アンケート、発電体験		

番号	16	イベント名等	【自主】いわて潮風トレイルトレッキング
	主催団体	宮古市地球温暖化対策地域協議会、宮古市環境生活課	
	日時	2018年10月6日(土) 9:00～12:00	
	場所	休暇村陸中宮古 崎山潮吹穴周辺	
	参加者数	15名	
内容	テーマ:自然体験、気候変動 内容:休暇村陸中宮古～崎山潮吹き穴みちのく潮風トレイルトレッキング、気候変動の話(講師:菅原 省司氏)		

番号	17	イベント名等	【自主】十文字チキンカンパニー鶏糞バイオマス施設見学会
	主催団体	環境学習交流センター	
	日時	2018年10月19日(金) 13:00～14:30	
	場所	十文字チキンカンパニー鶏糞バイオマス施設(軽米町)	
	参加者数	21名(施設関係者4名)	
内容	テーマ:エネルギー 内容:鶏糞バイオマス発電施設の見学と仕組みを学ぶ		

番号	18	イベント名等	住宅祭2018
	主催団体	住宅祭2018実行委員会	
	日時	2018年10月20日(土)・21日(日) 1日目 9:30～16:00 2日目 9:30～15:00	
	場所	一関市総合体育館 ユードーム	
	参加者数	約600名	
	内容	テーマ:自然環境・自然体験、地球温暖化・エネルギー 内容:「家庭のエコチェック」アンケート、発電体験、地球温暖化・エネルギー資料展示、資料配布、図書閲覧、木のわぎりボーリング、森のつみ木広場等	

番号	19	イベント名等	江刺産業まつり
	主催団体	江刺産業まつり実行委員会 ※奥州めぐみネットと合同出展	
	日時	2018年10月28日(日) 9:00～15:00	
	場所	奥州市 JA江刺駐車場	
	参加者数	約400名	
	内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー、自然環境・自然体験 内容:「家庭のエコチェック」アンケート、発電体験(自転車発電、発電キット)、いわての自然とあそぼうコーナー	

番号	20	イベント名等	リサイクル工作・新聞バック作り体験
	主催団体	第2川口学童保育クラブ	
	日時	2018年10月29日(月) 11:00～12:00	
	場所	岩手町 第2川口学童保育クラブ	
	参加者数	28名(子ども24名、大人4名)	
	内容	テーマ:地球温暖化・エコ・リサイクル 内容:新聞バッグづくり	

番号	21	イベント名等	真城まつり
	主催団体	第45回真城まつり実行委員会	
	日時	2018年11月3日(土) 10:00～15:00	
	場所	奥州市水沢真城地区センター	
	参加者数	約200名	
	内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー、自然環境・自然体験 内容:「家庭のエコチェック」アンケート、発電体験、森のつみ木広場、どんぐりつまみ等	

番号	22	イベント名等	やんぴやにクラブ
	主催団体	一般社団法人ちーむ麻の葉	
	日時	2018年11月22日(木) 10:00～11:45	
	場所	陸前高田市 市営住宅脇の沢団地集会所	
	参加者数	11名	
	内容	テーマ:ごみ減量 内容:トイレtpペーパー芯の工作	

番号	23	イベント名等	平成30年度滝沢市環境フォーラム
	主催団体	滝沢市	
	日時	2018年12月1日(土) 10:30～15:00	
	場所	滝沢市 ビッグルーフ滝沢	
	参加者数	約50名	
	内容	テーマ:ごみ問題、自然環境・自然体験 内容:ふうとうエコバッグづくり、ごみっしょんいんぽっしる、資料配布、図書閲覧、いわての自然とあそぼうコーナー	

番号	24	イベント名等	【自主】海の豊かさ、陸の豊かさを知ってみよう！勉強会
	主催団体	宮古市・宮古地球温暖化対策地域協議会	
	日時	2019年1月29日(火) 13:30～15:30	
	場所	宮古市民交流センター 1階 会議室3	
	参加者数	16名	
内容	テーマ:地球温暖化 内容:地球温暖化の仕組みと影響について市民が学び、考える		

番号	25	イベント名等	【自主】海の豊かさ、陸の豊かさを知ってみよう！勉強会
	主催団体	宮古市・宮古地球温暖化対策地域協議会	
	日時	2019年2月19日(火) 13:30～15:15	
	場所	宮古市民交流センター 1階 会議室3	
	参加者数	16名	
内容	テーマ:地球温暖化 内容:地球温暖化の仕組みと影響について市民が学び、考える 私たちの暮らしと地球温暖化「冬の寒さと温暖化」		

●流域活動支援

「岩手県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」に基づく流域基本計画により、取組を推進するためのネットワーク作りや活動のコーディネートや情報提供を行っています。

10

番号	1	イベント名等	平成30年度盛岡広域管内流域協議会
	主催・協力	盛岡広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2018年5月16日（水） 13:30～	
	場所	盛岡地区合同庁舎 8階 講堂C	
	参加者	協議会メンバーなど 37名	
内容	盛岡広域管内流域基本計画の各種指標の達成状況、りぱ～るくんの郷づくりパートナー認定制度について意見交換、など		

番号	2	イベント名等	映画会「奥会津の木地師」と山地資源の有用性に認識を新たにする集まり
	主催・協力	箆笥工房はこや 木戸 氏	
	日時	2018年5月19日(土) 18:00～23:30	
	場所	紫波町山屋箆笥工房はこや(木戸宅)	
	参加者	25名	
内容	映画会「奥会津の木地師」(民族映像文化研究所制作)、意見交換 ※スクリーン・プロジェクターの貸出		

番号	3	イベント名等	りぱ～るくんの郷づくりパートナー 基礎研修
	主催・協力	盛岡広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2018年6月26日（火） 9:30～15:30	
	場所	盛岡地区合同庁舎 6階 会議室／中津川河畔	
	参加者	協議会、環境保全団体など 15名	
内容	水の循環についての講演および、環境活動における安全対策についての講習会		

番号	4	イベント名等	りぱ～るくんの郷づくりパートナー 現地研修
	主催・協力	盛岡広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2018年7月20日（金）13:00～15:30	
	場所	紫波町赤沢公民館／赤沢川	
	参加者	協議会、環境保全団体など 15名	
内容	水生生物調査でわかる河川の水質、赤沢川での水生生物調査		

番号	5	イベント名等	実践！北上川上流域の森・里・川を守る取組み～「りぱ～るくん」と考えるふるさとの環境～
	主催・協力	盛岡広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2018年11月16日（金）13:00～16:00	
	場所	岩手広域交流センタープラザあい 多目的ホール	
	参加者	35名	
内容	講演「水生生物で知る！森・里・川のつながり」他、事例紹介、認定証交付式、環境保全団体活動紹介パネル設置		

番号	6	イベント名等	平成30年度いわて水と緑の交流フォーラム
	主催・協力	岩手県	
	日時	2019年1月26日(土) 13:20～16:20	
	場所	いわて県民情報交流センター(アイーナ) 8階 804A	
	参加者	環境保全団体、環境アドバイザーなど 93名	
内容	表彰、事例報告、意見交換、パネル及び資料展示 ※環境アドバイザーへの参加呼びかけ、会場準備・撤去等		

番号	7	イベント名等	平成30年度県南広域振興局環境交流フォーラム～2030年の未来のために～
	主催・協力	県南広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2019年2月14日(木) 13:00～16:20	
	場所	奥州市文化会館(Zホール) 展示室	
	参加者	環境保全団体、行政関係者など 約70名	
内容	表彰式、カードゲームで学ぶ持続可能な社会づくりとSDGs(ワークショップ)、センター紹介およびSDGsパネル展示		

番号	8	イベント名等	平成30年度いわて三陸ふるさとの魅力再発見事業意見交換会
	主催・協力	沿岸広域振興局保健福祉環境部 宮古保健福祉環境センター	
	日時	2019年2月15日（金）13:00～16:30	
	場所	イーストピアみやこ 2階 多目的ホール	
	参加者	環境保全団体、行政関係者など 約50名	
	内容	表彰式、講演会、みちのく潮風トレイルやジオパークをフィールドとした環境活動を実践している団体による意見交換会 センター紹介およびSDGsパネル展示	

番号	9	イベント名等	平成30年度第2回三陸町地域の美しい水環境をつくり守る協議会
	主催・協力	大船渡保健福祉環境センター	
	日時	2019年2月28日(木) 14:00～15:00	
	場所	大船渡市 三陸公民館 1階第1研修室	
	参加者	協議会メンバー 10名	
内容	次期流域計画の意見交換、センター事業紹介、質疑応答など、SDGsパネル展示		

番号	10	イベント名等	平成30年度第2回けせん環境懇談会
	主催・協力	環境学習交流センター／岩手県地球温暖化防止活動推進センター	
	日時	2019年3月7日(木) 13:00～15:30	
	場所	大船渡市防災観光交流センター 2階会議室	
	参加者	懇談会メンバー 10名	
内容	地域循環共生圏について、里山里川里海保全による脱炭素コミュニティづくりについてなど意見交換会		

番号	11	イベント名等	リアス線開通に向けた甲子川河川敷クリーンアップ活動 ※午後:RWC対戦国フィジー・ウルグアイの展示イベント打合せ
	主催・協力	加藤直子氏・臼澤良一氏を中心とした市民団体	
	日時	2019年3月22日(金) 10:00～11:30	
	場所	釜石消防署駐車場～甲子川 ※午後打合せ:シープラザ釜石	
	参加者	約60名	
内容	リアス線沿線河川敷を中心としたゴミ拾い(振興局及び釜石市の職員も参加)		

● 岩手県地球温暖化防止活動推進センター

●いわてわんこ節電所 (https://www.co2-diet.com/)

11

省エネ行動の成果をホームページ上でわかりやすく表示する「いわてわんこ節電所」を通じて、地球温暖化に対する意識を高め、自主的な取組促進につながることを目的とした普及啓発を行っています。

平成30年度 のべ参加者数 **10,125名**

家庭のCO₂削減数 **417,355kg-CO₂**
(758,827kWh相当、207世帯分の年間電気使用量)



©わんこきょうだい

毎月15日に配信するメルマガ「いわてわんこ節電所ニュース」では、イベント情報やタイムリーなお知らせ記事を中心にお届けし、その他、取材を交えた特集記事や先進的な事業所の取組を紹介するコーナー等を掲載しています。

メールマガジンテーマ	
4月号	◆メールマガジンリニューアル
5月号	◆クールビズ ◆ワンランク上の省エネ行動:照明(LED)
6月号	◆6月環境月間 ◆ワンランク上の省エネ行動:太陽光発電
7月号	◆いわて夏エコ☆キャンペーン ◆ワンランク上の省エネ行動:エアコン
8月号	◆自然エネルギー王国・いわて～風力発電について学ぼう～
9月号	◆ワンランク上の省エネ行動:家電買換え(冷蔵庫)
10月号	◆自然エネルギー王国・いわて～バイオマスエネルギーについて学ぼう～
11月号	◆WARM BIZ(ウォームビズ)スタート
12月号	◆12月地球温暖化防止月間 ◆いわて冬エコ☆キャンペーン
1月号	◆体内の熱を作る力を高めて、冬を快適に！
2月号	◆2月省エネルギー月間
3月号	◆もうすぐ新生活！省エネ・節電生活をはじめよう



最新情報は、
いわてわんこ節電所
トピックスで配信！

●地球温暖化を防ごう隊

「地球温暖化を防ごう隊」とは、将来、地球温暖化の影響を受ける可能性のある小学生を対象として、家庭でできる身近な省エネルギー等の取組を通して、地球温暖化防止に対する意識を高めることを目的とした活動です。

参加する小学生を「地球温暖化を防ごう隊員」に任命し、各家庭において地球温暖化対策を任務として遂行してもらいながら、普段の生活の見直しや環境にやさしい取組みなどに気づき、実践して、家庭での省エネルギー活動に対する知識と理解を深めます。



* H30年度地球温暖化を防ごう隊発表会 & イオンチアーズクラブ活動発表会

地球温暖化を防ごう隊活動発表会では、一般の方にもご参加いただき、子どもたちの取組やアイデアの発表をご覧いただいています。平成30年度は、10月にイオンモール盛岡で行われた「いわて温暖化防止フェア」にて開催しました。



- 日時: 2018年10月13日(土)
- 会場: 盛岡市 イオンモール盛岡 イーハートブ広場
- 発表校・団体
 - ・久慈市立宇部小学校
 - ・花巻市立亀ヶ森小学校
 - ・イオン盛岡南店チアーズクラブ
 - ・イオン盛岡店チアーズクラブ

●省エネ・節電キャンペーン

「省エネ・節電キャンペーン」は、岩手のみなさんの省エネ・節電活動を応援するキャンペーンです。

12

■キャンペーン概要

平成30年度は、エネルギー需要の高い時期に、クールシェアまたはウォームシェアを呼び掛けることで、地域全体の省エネ・節電に繋げることを目的として、夏季と冬季の計2回実施しました。夏季は、日頃取り組んでいる省エネ・節電やアイデアを写真に撮ってSNS(TwitterまたはInstagram)に投稿するA「わたしの #いわて夏エコ」と、いわてクールシェアスポットにお出でかけし、写真を撮ってSNSに投稿するB「お出かけして #いわてクールシェア」を実施しました。冬季は、いわてウォームシェアスポットにお出でかけし、写真を撮ってSNSに投稿する「SNSで参加 #いわてウォームシェア」と、いわてウォームシェアスポット2か所以上の感想等をはがきで投稿する「ハガキで参加 クチコミ! いわてウォームシェア」を実施しました。

1. いわて夏エコ☆キャンペーン

- 実施期間: 2018年7月～9月
- 応募件数: 応募コースA 66件／応募コースB 101件
- いわてクールシェアスポット(協力施設): 164箇所(前年度比+22)
- 賞品: QUOカード1,000円分15名、平泉黄金バウム&イーハトーヴ高原黄金フロマージュブランセット5名

▼「いわてクールシェア」ロゴ



▼専用サイト



▼PR展示



2. いわて冬エコ☆キャンペーン

- 実施期間: 2018年12月～2019年2月
- 応募件数: 応募コース(SNS) 49件／応募コース(はがき) 230件
- いわてウォームシェアスポット(協力施設): 140箇所(前年度比+20)
- 賞品: 「菜の雫とおそばセット」3名様、「にのへ畜産王国セット」3名様、防災備蓄品「逃げた先にある安心。もしもの備え」スタンダードタイプ ラージ2人用6名様

▼「いわてウォームシェア」ロゴ



▼専用サイト



▼PR展示



3. 本キャンペーンで作成したチラシ類

▼夏季: チラシ



▼夏季: 紙うちわ



▼冬季: チラシ



●いわて温暖化防止フェア ～みんなで学ぼう！～

13

温暖化対策をテーマとした講演会、パネル展、表彰、県内の優れた事業所・地域の活動事例発表、省エネ家電の選び方、エコアクション等を学ぶイベントです。

開催日：2018年10月13日(土)・14日(日) 場所：イオンモール盛岡

10/13(土)

1階 イーハートブ広場

講座・イベント名	開会宣言	
時間	10:00	
参加者数	108名	
内容	野澤 日出夫 氏 (岩手県地球温暖化防止対策活動推進センター長)	
講座・イベント名	エココンサート①	
時間	10:10～10:50	
参加者数	108名	
内容	トリオ・ヴィオレによるクラシック音楽演奏	
講座・イベント名	リメイクファッションショー	
時間	11:00～11:50	
参加者数	76名	
内容	環境アドバイザーの小赤澤直子教室による着物リメイクファッションショー	
講座・イベント名	「触れる地球」除幕式	
時間	13:00～13:30	
参加者数	164名	
内容	岩淵 明 氏(国立大学法人岩手大学学長) 高橋 達也 氏(岩手県環境生活部副部長) 野澤 日出夫 氏(岩手県地球温暖化防止活動推進センター長) 取組発表校児童らによる除幕式	
講座・イベント名	「触れる地球」デモンストレーション	
時間	13:00～13:30	
参加者数	164名	
内容	「触れる地球」は、東日本大震災の復興支援、特に被災地の子どもたちの為の支援として、24時間テレビチャリティー委員会から久慈市を通じて久慈地下水族科学館「もぐらんぴあ」へ寄贈されたものです。100種類のコンテンツが掲載されており、「リアルタイムの雲」・「生態系・生物多様性」・「ライブカメラ」などが楽しめます。	
講座・イベント名	「地球温暖化を防ごう隊」発表会	① ② ③ ④
時間	13:30～14:30	
参加者数	164名	
内容	①久慈市立宇部小学校 ②花巻市立亀ヶ森小学校 ③イオンモール盛岡南チアーズクラブ ④イオンモール盛岡チアーズクラブ	

講座・イベント名	岩手大学理工学部・サイエンスショー	
時間	14:30～15:30	
参加者数	188名	
内容	高橋 克幸 助教と5人の岩大生によるサイエンスショー ・二酸化炭素の重さ体験 ・かみなり発生実験	

講座・イベント名	エココンサート②	
時間	15:30～16:00	
参加者数	272名	
内容	山家 章裕 氏のギター演奏	

ワークショップスペース

講座・イベント名	岩手大学理工学部『エネルギー変換と電気の利用』	
講師	高橋 克幸 助教と5人の岩大生	
時間	10:00～16:00	
参加者数	558名(展示会場A)	
内容	「かみなり実験」「手回し発電」「自転車発電」の体験コーナー	

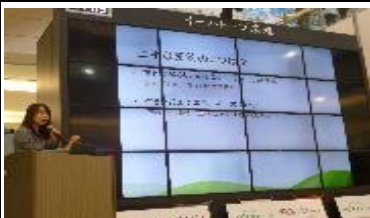
その他

講座・イベント名	高橋 功 氏『ハロウィンかぼちゃ&ツリー展示』	
時間	10:00～16:00(13日・14日両日)	
参加者数	13日:820名、14日:757名	
内容	ツリーのオブジェに取り付けた手回し発電機で、白熱球とLEDの発電負荷を体験。かぼちゃからは風船が飛び出る仕組み。	

10/14(日)

1階 イーハートヴ広場

講座・イベント名	エココンサート③	
時間	10:00～10:50	
参加者数	280名	
内容	河村 崇司 氏とつかさ音楽教室の皆さんによるバイオリン演奏	

講座・イベント名	セミナー「かしこく選ぼう省エネ家電」	
講師	和田 由貴 氏(節約アドバイザー・家電製品アドバイザー)	
時間	11:00～12:00	
参加者数	92名	
内容	和田 由貴 氏による省エネ家電についての講演	

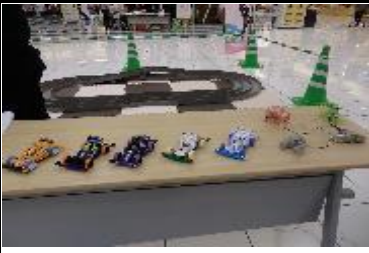
講座・イベント名	環境紙芝居『私たちのくらしと沈みゆく国 キリバス』	
講師	若生 和江 氏(岩手県地球温暖化防止活動推進員・岩手県環境アドバイザー)	
時間	12:00～12:30	
参加者数	76名	
内容	海面上昇により沈みゆく国の現状を手作りの紙芝居で紹介	

講座・イベント名	アニメ上映『地球との約束』	
制作・著作	環境省	
時間	12:45～13:15	
参加者数	176名	
内容	地球温暖化の影響で変わり果てた未来の地球！このピンチを乗り越えることができるか！？	

講座・イベント名	鉄神ガンライザーと地球を守ろう！ 「おうちでできるエコアクション！」&握手会	
時間	13:30～14:30	
参加者数	644名	
内容	地球温暖化の現状やおうちでできるエコな取り組みの紹介、クイズ等	

講座・イベント名	ダブルダッチサークルパフォーマンス	
時間	15:00～15:45	
参加者数	536名	
内容	岩手県立大学ダブルダッチサークルのメンバー17名が、観客やエコチルを巻き込んでの縄跳び競演	

ワークショップスペース

講座・イベント名	岩手県企業局『充電レーシングカー』&『手回し発電』	
講師	岩手県職員	
時間	10:00～16:00(随時参加)	
参加者数	864名(展示会場A)	
内容	手回し発電の「レーシングカー」の轟音がイオンモールに鳴り響きました	

両日開催

展示・体験コーナー／その他 10:00～16:00

講座・イベント名	岩手県環境生活部『FCV(燃料電池自動車)展示』&給電	
参加者数	13日:912名 14日:1,302名 合計2,214名	
内容	水素自動車「トヨタMIRAI」の実物展示。 給電装置から充電を実施(レーシングカー用)。	

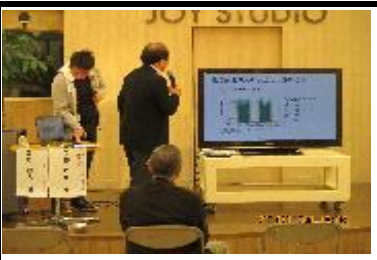
講座・イベント名	岩手県環境保健研究センター『調べよう！二酸化炭素の秘密』	
参加者数	13日:912名 14日:1,302名 合計2,214名	
内容	空気と二酸化炭素の重さ比べ実験	
講座・イベント名	盛岡地方気象台『地球温暖化が進むとどうなるの？』	
参加者数	13日:912名 14日:1,302名 合計2,214名	
内容	温暖化の現状と未来を、映像とパネルで紹介 「雲」の発生実験器実演	
講座・イベント名	岩手県環境保全連絡協議会 『SDGsって何？企業が取り組む気候変動アクション』	
参加者数	13日:912名 14日:1,302名 合計2,214名	
内容	独自のクイズでSDGsの解説 手作りのDVDケース(県産材使用)の展示	
講座・イベント名	岩手県企業局 『電気事業等を通じた地球温暖化防止への取組』	
参加者数	13日:912名 14日:1,302名 合計2,214名	
内容	岩手県企業局が行なう電気事業をPR みずりん&みどりんも応援してくれました	
講座・イベント名	東北地域エネルギー・温暖化対策推進会議 『風力発電・手回し発電ミニカーレースによる発電体験』	
参加者数	13日:912名 14日:1,302名 合計2,214名	
内容	手回し発電機と風力発電機でレーシングカーを充電し、カーレース 走行距離数を競いました	
講座・イベント名	ニッコーファインメック(株)・NPO法人インクルいわて・NPO法人フード バンク岩手 『3R回収ステーション』	
参加者数	13日:912名 14日:1,302名 合計2,214名	
内容	小型家電、制服、食品の回収を行い、3Rの実践を呼びかけた ・小型家電回収実績(121個・300kg) ・制服回収実績(20着) ・食品回収実績(3,98kg)	

●いわて温暖化防止フェアin北上

盛岡市で開催された温暖化防止フェアをベースに、「地域版フェア」としてきたかみ地球温暖化対策協議会と連携しイベントを開催しました。

開催日:2018年11月4日(日) 10:00~16:00 場所:江釣子ショッピングセンター

●ステージプログラム

講座・イベント名	最近の異常気象と今後	
講師	櫻井 則彰 氏(地球温暖化防止コミュニケーター)	
時間	10:15~10:45	
参加者数	7名	
内容	映像と資料を織り交ぜながら、時にはお客さまとの問答をしながら、気候変動の解説を軽妙にお話いただいた。	
講座・イベント名	「省エネ住宅を考える!」「自分で建てるDIYホーム」	
講師	櫻田 文昭 氏(岩手県環境アドバイザー・一級建築士・住工房 森の音代表)	
時間	11:00~11:30	
参加者数	26名	
内容	・住宅の断熱を中心に、エコ住宅についてお話していただきました。 ・究極のエコ=自分で建てるDIYホーム	
講座・イベント名	Q&A 北上の将来お天気とプラスチック使用の心得	
講師	佐藤 哲朗 氏、菅野 健志 氏(両氏 きたかみ地球温暖化対策協議会)	
時間	11:45~12:15	
参加者数	19名	
内容	・北上市周辺の気候変動をグラフで説明し、将来の北上を予測。 ・プラスチックごみへの警鐘と問題提起。	
講座・イベント名	岩手大学理工学部 サイエンスショー	
講師	高木 浩一 氏(岩手大学理工学部教授)、 補助:岩手大学理工学部学生	
時間	12:45~13:15	
参加者数	18名	
内容	・二酸化炭素と空気の重さ体験 ・かみなり実験	
講座・イベント名	リメイクファッションショー(小赤澤直子教室)	
講師	司会・進行:橋浦 律子 氏(NPO法人 紫波みらい研究所) 出演:藤原 誠子 氏、細田 クエ 氏、七木田 玲子 氏、石田 愛子 氏、 鈴木 美保子 氏(以上、小赤澤直子教室)	
時間	13:30~14:00	
参加者数	62名	
内容	着物のリメイク方法を解説しながらのファッションショー	
講座・イベント名	北上市の再エネの取組	
講師	北上市生活環境部環境政策課	
時間	14:15~14:45	
参加者数	7名	
内容	①こどもエコチャレンジについて ②きたかみこども環境未来塾 ③かむいソーラーについて ④おひさまパワー活用設備設置費用補助金	

講座・イベント名	おしゃれな紙バッグづくり	
講師	川邊 弥生 氏(きたかみ地球温暖化対策協議会)	
時間	15:00～15:55	
参加者数	40名	
内容	ポスター・カレンダー・新聞紙を使い「エコバッグ」づくり	

●室内展示ブース(終日)

講座・イベント名	北上市生活環境部環境政策課の取組	
内容	・「かむいソーラー」概要パネル展示 ・「きたかみこども環境未来塾」パネル展示 ・「北上市住宅用おひさまパワー活用設備設置費補助金」解説パネル展示	

講座・イベント名	きたかみ温暖化対策協議会の取組	
内容	・岩手県木材産業協同組合ポスター掲示 ・全国木材組合連合会ポスター掲示 ・木質バイオマスボイラーパネル展示 ・薪ボイラーパネル展示 ・ペレットストーブパネル展示 ・水力発電「市民発電所」パネル展示	

講座・イベント名	協同組合江釣子ショッピングセンター・パルの取組	
内容	・「パル地域貢献レポート」パネル展示 (地域環境・福祉・子供たちの未来への取組)	

講座・イベント名	いわてわんこ節電所体験コーナー	
内容	・いわてわんこ節電所「家庭のエコチェックアンケート」 ・温暖化防止(環境省)ポスター展示 ・「スマートライフおすすめBOOK」冊子配布 ・地球温暖化を防ごう隊ポスター展示	

講座・イベント名	岩手県地球温暖化防止活動推進センター展示	
内容	・地球温暖化の現状 ・岩手県の温暖化対策 ・気候変動対策 ・創エネ等、各種パネル展示	

●岩手県地球温暖化防止活動推進員派遣事業

14

県民の方が地球温暖化などに関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として地球温暖化防止活動推進員を派遣する事業です。H30年度は県内各地で講演等、82回の派遣を行いました。

実施日	4月7日	主催者	荒屋婦人会	推進員	若生 和江
		対象	荒屋婦人会 会員23名		
研修会			エコクッキングと地球温暖化		
テーマ			食と暮らしから考える温暖化の話		
内容(推進員より)			エコクッキング「こころが嬉しくなるようにエコしよう」食と暮らしから考える温暖化の話。		
実施日	6月30日	主催者	北日本機械株式会社	推進員	林 俊春
		対象	協力会社を含む社員126名		
研修会			2018年北日本機械株式会社 全社安全大会		
テーマ			企業の省エネ・エコドライブ・気象変動		
内容(推進員より)			環境省作成の2050年地球の温暖化の予測状況を鑑賞。その後企業が知っておきたい環境知識とエネルギー問題及び、ESD,SDGsを中心に講話。化石燃料を用いて繁栄した社会や化石燃料を用いることなく繁栄する社会を構築することが現在のわれわれに課せられた命題であることを伝えた。		
実施日	7月17日	主催者	北上市生活環境部環境政策課	推進員	川邊 弥生
		対象	北上市立黒沢尻東小学校4年生児童136名、教師6名		
研修会			子供と始める暮らしのエコチャレンジ事前説明会		
テーマ			地球温暖化について		
内容(推進員より)			「地球温暖化の最新情報 未来の地球と私たちの暮らし」をパワーポイントで説明。①2100年未来の天気予報②2100年未来の台風情報③世界の平均気温④二酸化炭素の性質⑤温暖化の影響⑥私たちができる事⑦みんなでクールチョイスのクイズ⑧ハチドリのひとしずく⑨ごみを減らす工夫レジ袋の活用エコ風呂敷の活用簡単な包み方⑩いわてわんこ節電所の説明		
実施日	7月18日	主催者	盛岡市立下橋中学校	推進員	木村 廣子
		対象	生徒268名 教職員24名 盛岡市環境推進課1名合計293名		
研修会			第2回エコ学習会		
テーマ			「盛岡市のごみ問題の現状と私たちがしなければならないこと」		
内容(推進員より)			①盛岡市のごみの回収が昨年6月から地区別回収に代わって初めての速報資料を基に学校周辺(杜陵地区)のごみ排出の状況や特性について現状を伝えた。②もともと環境学習に熱心に取り組んでいる学校ではあるが「クイズ」にこたえてくれるなど参加型学習が一体となってきたことは良かった。		
実施日	7月20日	主催者	遠野市立達管部小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	5・6年児童10名、教員3名、事業担当者2名合計15名		
研修会			地球温暖化防止教室～自分たちに出来ることから始めよう～		
テーマ			CO ₂ 削減のためのエコ活動		
内容(推進員より)			「地球温暖化の最新情報 未来の地球と私たちの暮らし」をパワーポイントで説明。①2100年未来の天気予報②2100年未来の台風情報③世界の平均気温④二酸化炭素の性質⑤温暖化の影響⑥私たちができる事⑦みんなでクールチョイスのクイズ⑧ハチドリのひとしずく。ごみを減らす工夫、レジ袋の活用、エコ風呂敷の活用、簡単な包み方、いわてわんこ節電所の説明。		
実施日	7月23日	主催者	北上市生活環境部環境政策課	推進員	川邊 弥生
		対象	北上市立和賀東小学校4年生児童53名 教師3名		
研修会			子供と始める暮らしのエコチャレンジ事前説明会		
テーマ			地球温暖化について		
内容(推進員より)			「地球温暖化の最新情報 未来の地球と私たちの暮らし」をパワーポイントで説明。①2100年未来の天気予報②2100年未来の台風情報③世界の平均気温④二酸化炭素の性質⑤温暖化の影響⑥私たちができる事⑦みんなでクールチョイスのクイズ⑧ハチドリのひとしずく。ごみを減らす工夫、レジ袋の活用、エコ風呂敷の活用、簡単な包み方、いわてわんこ節電所の説明。		

実施日	7月26日	主催者	ときめき会	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般参加者45名		
研修会		星空観察会 ～夏の夜空の星を見てみよう～ 地球から見える惑星			
テーマ		地球に最接近している火星について			
内容(推進員より)		・地域の星空環境と地域のエネルギー消費。 ・温暖化による天体観測、星空観察への影響。 ・季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。 ・惑星大気の組成と気象現象。			

実施日	7月27日	主催者	活気あふれる大更を創る会	推進員	粒針 文子
		対象	大更婦人学級学生20名		
研修会		大更婦人学級「第2回環境問題について」			
テーマ		家庭生活における環境問題全般			
内容(推進員より)		身の回りの環境問題について問題点をどのようにとらえたらよいか、それを中心にお話しました。身近な話題として、温暖化、有害化学物質の中でもマイクロプラスチックに関わるPCBの問題は過去の公害問題を知らなければその恐ろしさが伝わりませんので、社会の変化とそれに伴う環境問題の捉え方と併せてご説明しました。 また、新たな公害としてマスコミでも取り上げられる機会の多い「香害」についてもお話しました。これからは3Rは当たり前、5Rを目指すことで温暖化をはじめとする様々な環境問題に少しでも皆さんの環境問題に向ける視野や考え方、取り組み方のヒントになればと思います。			

実施日	7月28日	主催者	岩手県企業局	推進員	紺野 透
		対象	一般39名		
研修会		平成30年度岩手県企業局施設見学会（松尾八幡平ビジターセンター）			
テーマ		環境・エネルギー及び発電キットを用いた説明			
内容（推進員より）		小学生の子供10名前後とその親御様、祖父母に向け、地球温暖化の現状と影響、今後のこと。自分たちでできることなどをレクチャー。 地球温暖化防止コミュニケーターHPよりダウンロードした動画などを利用した上で、難解になりそうなところは自身のスライドを用い、簡単に説明。			

実施日	7月28日	主催者	岩手県企業局	推進員	高橋 功
		対象	一般39名		
研修会		平成30年度岩手県企業局施設見学会（岩洞第一発電所）			
テーマ		環境・エネルギー			
内容（推進員より）		「岩洞第一発電所はすごい」というテーマで、クイズを交えながらペットボトル水力発電等の再生可能エネルギー発電を模擬体験していただくことで、再生可能エネルギー発電も万能ではなく、それぞれに強みや工夫が必要なのところがあることについて理解を深めていただきました。また、ダンボールで作った我が家の冷蔵庫？？などを使いながら、楽しく省エネについても考えていただきました。			

実施日	7月28日	主催者	カシオペア環境フェスティバル	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般350名		
研修会		カシオペア環境フェスティバル			
テーマ		地域の星から見る地球温暖化			
内容(推進員より)		地域の星空環境と地域のエネルギー消費。 温暖化による天体観測、星空観察への影響。 岩手県内の星空環境に関する説明。			

実施日	8月2日	主催者	三陸春風の会 岩山支部	推進員	吉田 偉峰
		対象	大人・子ども30名		
研修会		夏休み みんなで星空観察してみよう			
テーマ		夏の夜空を楽しむ、暮らしの灯りを考える			
内容(推進員より)		地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。惑星大気の組成と気象現象。			

実施日	8月3日	主催者	一戸学童クラブ		吉田 偉峰
		対象	小学生63名 指導員5名		
研修会		一戸学童クラブバス遠足			
テーマ		風力発電について学ぶ			
内容(推進員より)		高森高原風力発電所の説明。地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。			

実施日	8月5日	主催者	生活クラブ生協北上 えんで生活の会	推進員	川邊 弥生
		対象	子ども8名大人18名		
研修会		親子工作教室第4回新聞バッグ作り			
テーマ		リサイクル・異常気象と温暖化の関係			
内容(推進員より)		いわてわんこ節電所の紹介。クールシェアについて 身近なものを利用したモノづくりの楽しさを知る。温暖化防止にもつながるレジ袋の削減として、新聞紙やチラシを活用したエコバッグ作り。紙の袋は通気性も良いので野菜の保存袋にも適している。リサイクルの実践として、親子で楽しく作る。			

実施日	8月7日	主催者	リリー会	推進員	吉田 偉峰
		対象	大人6名 子ども6名		
研修会		南青山町の星空環境を学ぶ会			
テーマ		星空と環境			
内容(推進員より)		小学生親子を対象とした、星空環境と地球環境の勉強会を実施した。天候が思わしくなかったため、室内での座学解説を中心に身近な環境問題について考えて頂いた。			

実施日	8月8日	主催者	2018クリーンキャンペーン「RENGO 環境フォーラム」	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般62名		
研修会		2018クリーンキャンペーン「RENGO 環境フォーラム」			
テーマ		地球温暖化のメカニズムと地球環境の希少性			
内容(推進員より)		地球温暖化の基礎とメカニズム。気候変動の地域への影響と観測データ。地域の星空環境と地域のエネルギー消費。			

実施日	8月9日	主催者	学童保育クラブMJけやき子ども会	推進員	川邊 弥生
		対象	子ども会会員47名 引率5名		
研修会		夏休み環境学習会			
テーマ		リサイクル工作 マイ箸づくり			
内容(推進員より)		環境学習のため、アイーナでの学習講座。始めにパワーポイントで温暖化の概要と温暖化に備えること・温暖化を防ぐこと・減らすことなど説明。県産材、間伐材の竹を削ってマイ箸作りの体験。割りばしの使用は1人あたり200膳で年間257億膳の割りばしを消費しており、2階建ての木造住宅が2万軒建つと言われている。割箸はほとんどが中国産。マイ箸を持つことで森林破壊や環境への関心を持つことの大切さを説明。3年～6年までが自分だけの箸づくりに挑戦。いわてわんこ節電所の紹介とPRを行った。			

実施日	8月11日	主催者	岩手席書連盟	推進員	菅原 省司
		対象	表彰式対象者150名		
研修会		第20回 みちのく発進全国書道展表彰式「環境を考え実践を目標とする講話」			
テーマ		環境について			
内容(推進員より)		テーマ:私たちの暮らしと異常気象 ①エコとは ②異常気象・気候変動 ③最近の日本の気象 ④世界の気象⑤異常気象の原因 ⑥私たちの暮らしへの影響 ⑦では、私たちはどうしたらいいの?(現状を知ることから)⑧今日は「山の日」自然に親しみ自然の恩恵に感謝 きっといいエコ。			

実施日	8月11日	主催者	オークフィールド八幡平	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般50名		
研修会		「星」でつながる夏のタペオークフィールド			
テーマ		星空環境、光の害、エネルギー問題			
内容(推進員より)		地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。惑星の環境と温室効果。			

実施日	8月18日	主催者	(公社) 岩手県緑化推進委員会	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般50名		
研修会		八幡平星空散歩 天体観望会			
テーマ		天体の解説			
内容(推進員より)		地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。惑星の環境と温室効果。			

実施日	8月28日	主催者	奥州市立水沢小学校	推進員	若生 和江
		対象	5年生児童117名		
研修会		奥州市環境事業「地球温暖化を防ごう隊」取り組みの事前学習会			
テーマ		地球温暖化・エネルギーについて			
内容(推進員より)		・「地球温暖化の仕組みと暮らしの中のエネルギー」について。地球温暖化の影響を受けている国「キリバス」のはなし。地球温暖化によって今起きている事。防ぐために、私たちができることを見つける、考える・地球温暖化を防ごう隊の事前学習。			

実施日	8月28日	主催者	専修大学北上高等学校		高橋 功
		対象	専修大学北上高等学校生徒160名 教員6名		
研修会		できることからエコアクション			
テーマ		地球温暖化・エコな取り組みについて			
内容(推進員より)		「できることからECOアクション」というテーマで、温暖化のしくみについて再確認していただくとともに、家庭からの温室効果ガスの発生は電気が一番、次いでガソリンであることをお話しし、なぜ電気を使うと二酸化炭素が排出されるのかや、発電時には二酸化炭素を出さない再生可能エネルギー発電にも長所だけでなく工夫が必要な点もあり、一人ひとりが省エネに努めることが必要なことを、紙芝居形式の「ビッグ本」や「手作り模型」等を使いながら理解を深めていただいた。			

実施日	8月29日	主催者	暁の星幼稚園	推進員	川邊 弥生
		対象	暁の星幼稚園父母の会会員 大人28 子供2名		
研修会		父母の会講演会			
テーマ		リサイクル・環境について・いわてわんこ節電所			
内容(推進員より)		いわてわんこ節電所の紹介、キャンペーン参加について。温暖化防止にもつながるレジ袋の削減方法として、風呂敷活用の紹介。お弁当包みの実演が出来るよう各自風呂敷やお弁当箱持参。羊毛フェルトでストラップ作り体験。			

実施日	9月3日	主催者	奥州市生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市立稲瀬小学校児童11名、教員1名、環境団体関係者1名		
研修会		奥州市における環境学習事業			
テーマ		地球温暖化・エネルギー			
内容(推進員より)		暮らしとエネルギーと温暖化のつながりについて知る。身近に起きている温暖化の影響を出し合った。ギリバスの国で起きている事を知り、温暖化防止に向けて自分たちができることを考える。エネルギーのかばんを使ってたくさんエネルギーを使っている事を実感、省エネについて知る。豆電球の実験で、LEDの効果を体験し、自分たちにできることを考え始めるきっかけとする。			

実施日	9月4日	主催者	土沢地域づくり会議	推進員	若生 和江
		対象	土沢地域住民10名		
研修会		今日から役立つエコクッキング講座			
テーマ		環境に配慮し家計にも優しいレシピ			
内容(推進員より)		・旬の野菜を無駄なく食べるエコクッキング実習 を行った。鍋帽子を使った省エネクッキングの紹介と実習 。地球温暖化の影響と家庭でできる取り組みについて。			

実施日	9月5日	主催者	黒沢尻西地区青少年健全育成会議	推進員	川邊 弥生
		対象	5年生児童72名		
研修会		家庭教育学級5年生「環境問題」			
テーマ		CO2の排出抑制に自分たちの出来る事を学ぶ			
内容(推進員より)		・地球温暖化の現状と対策について。・資源の循環活用について。・二酸化炭素排出抑制で自分たちにできることを学ぶ。・いわてわんこ節電所やクールチョイスについて県民運動として取組む事等。			

実施日	9月8日	主催者	岩手県環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	一般57名		
研修会		いわてエコカーフェスタ			
テーマ		エコカーづくりを通して二酸化炭素排出抑制について学ぶ			
内容(推進員より)		・開催場所がスタンプラリーのチェックポイントでもあったことから、お家の方がアンケートを記入している時間に、一緒に来ているこどもさんたちに、電気を使わないエコカー(ペットボトルを使った輪ゴム自動車)をつくり、コースを走らせ楽しんだ。遊び終わった後は世界に一つだけのマイカーをお家に持ち帰っていただきました。			

実施日	9月9日	主催者	岩手県環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	一般104名		
研修会		いわてエコカーフェスタ			
テーマ		エコカーづくりを通して二酸化炭素排出抑制について学ぶ			
内容(推進員より)		・開催場所がスタンプラリーのチェックポイントでもあったことから、お家の方がアンケートを記入している時間に、一緒に来ているこどもたちに、電気を使わないエコカー(ペットボトルを使った輪ゴム自動車)をつくり、コースを走らせ楽しんでいただきました。遊び終わったあとは世界に一つだけのマイカーをお家に持ち帰っていただきました。また、準備した車両がなくなったあとは、世界最小のソーラーカーをコース内に5台おき、遊びながら太陽光発電についての理解を深めていただいた。			

実施日	9月13日	主催者	金ヶ崎町立西小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	小学5年生11名 職員2名		
研修会		地球温暖化を防ごう隊事前学習			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		地球温暖化の最新情報「未来の地球と私たちの暮らし」をパワーポイントで説明した。 ①2100年未来の天気予報②2100年未来の台風情報③世界の平均気温④二酸化炭素の性質⑤温暖化の影響 ⑥私たちができること⑦みんなでクールチョイスのクイズ形式⑧ハチドリのひとつくごみを減らす工夫—レジ袋の活用—エコ風呂敷の活用—簡単な包み方⑨温暖化防ごう隊への取り組みについて			

実施日	9月18日	主催者	小鳥谷子ども教室	推進員	吉田 偉峰
		対象	子ども教室17名		
研修会		子ども教室体験教室			
テーマ		星空環境・気候変動			
内容(推進員より)		高森高原風力発電所の説明。地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。			

実施日	9月18日	主催者	奥州市立胆沢愛宕小学校	推進員	若生 和江
		対象	4年生児童8名		
研修会		奥州市環境学習事業「ごみリサイクルに関する学習会」			
テーマ		ゴミ・リサイクル			
内容(推進員より)		「ごみ問題とは？」・持続可能な社会に向けたごみ減量 とごみとリサイクルの話し。やってみよう分別リサイクル体験、どうすれば減らせるか考えてみよう。			

実施日	9月19日	主催者	盛岡市見前地区公民館	推進員	吉田 偉峰
		対象	ふるさと自然講座 受講者31名		
研修会		ふるさと自然講座～自然エネルギーを考える～高森高原風力発電所を訪ねて			
テーマ		温暖化と自然エネルギーについて			
内容(推進員より)		高森高原風力発電所の説明。地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。			

実施日	9月25日	主催者	オークフィールド八幡平	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般10名		
研修会		星と月in八幡平 月見 オークフィールド八幡平			
テーマ		地域の星空環境と気候変動			
内容(推進員より)		地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。月齢による星空環境の変化とライトダウンの節電効果。			

実施日	10月5日	主催者	岩手県立盛岡青松支援学校	推進員	若生 和江
		対象	生徒・教諭計15名		
研修会		中学部3年総合的な学習の時間「環境学習エコクッキングについて」			
テーマ		エコクッキング			
内容(推進員より)		・エコクッキングってなあに？ ・「食」や「買い物」「食べ方」から考える環境 ・「フードマイレージ」ってなあに？ これらの内容をパネル等を使って分かりやすく説明 ・＜地元の食材を使ったおやつづくり＞ くるみとごはんと味噌でごへいもち。県産米粉でショートブレッド。・ みんなで考える岩手で豊かに暮らす食べ方買い方。			

実施日	10月9日	主催者	オークフィールド八幡平	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般10名		
研修会		星と月In八幡平 月見 オークフィールド八幡平			
テーマ		地域の星空環境と気候変動			
内容(推進員より)		地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。			

実施日	10月10日	主催者	久慈市立久慈小学校	推進員	菅原 省司
		対象	5年児童10人		
研修会		総合的な学習の時間「環境教室」			
テーマ		地球温暖化防ごう隊の事後学習として			
内容(推進員より)		私が環境問題に興味を持ったのは?グリーンランド 犬ぞり1,000kmの旅「地球温暖化」という言葉はいつごろから? 気候変動・異常気象。・海は広いな大きいな、海の広さ 陸の広さ 海水がなくなる、サンゴが白化する、なぜ? ・ 最近の日本の気象、世界の気象・私たちの暮らしは?			

実施日	10月11日	主催者	遠野市立鱒沢小学校	推進員	千葉 和
		対象	児童10名 引率教諭2名 計12名		
研修会		遠野の森林について学ぼう			
テーマ		森林を守るために			
内容(推進員より)		炭焼き体験(実際に炭窯に入り炭出しや炭切り、炭材立て込みなど) 森林の役割と間伐等の森林整備の必要性を実際の森林で解説。間伐体験(全員で杉の木の間伐する) 自然環境や温暖化防止について生徒との質疑応答を行った。			

実施日	10月18日	主催者	岩手県企業局	推進員	吉田 偉峰
		対象	奥中山中学校3年生20名		
研修会		高森高原風力発電所 環境学習			
テーマ		再生可能エネルギーと地球温暖化防止について			
内容(推進員より)		地球温暖化の基礎知識。発電の原理と様々な再生可能エネルギー。身近な地球温暖化防止の取組み。星空環境と省エネ。			

実施日	10月19日	主催者	釜石市働く婦人の家	推進員	若生 和江
		対象	公募一般参加者12名		
研修会		働く婦人の家後期定期講座「エコ料理講座」			
テーマ		エコ料理講座			
内容(推進員より)		旬の食材を無駄なく使いきる調理法の紹介と実習。ゆで方や段取りで、時間も節約 になる。省エネ レシピ添付			

実施日	10月21日	主催者	イオンチアーズ10月度活動	推進員	川邊 弥生
		対象	チアーズクラブ会員3名、コーディネーター1名 計4名		
研修会		イオンチアーズ10月度活動			
テーマ		人間に必要なエネルギーってな～に			
内容(推進員より)		地球温暖化についての紹介「地球温暖化の最新情報未来の地球と私たちの暮らし」①2100年未来の天気予報 ②2100年未来の台風情報③世界の平均気温④二酸化炭素の性質⑤温暖化の影響⑥私たちができること⑦みんなでクールチョイス⑧ハチドリのひとつしずく。エネルギー消費を減らすことは、温暖化対策の一つである。ごみを減らす工夫—レジ袋の活用—エコ風呂敷の活用—簡単な包み方を体験。圧力鍋を活用して玄米ご飯を炊き、蒸気のエネルギーや自然エネルギーについて紹介。食べることは人の活動源になること等。			

実施日	10月22日	主催者	星と月in八幡平	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般11名		
研修会		星と月in八幡平			
テーマ		星空環境・地域の自然			
内容(推進員より)		温暖化による天体観測、星空観察への影響。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。地球と月の比較と生命生存に適した環境。			

実施日	10月27日	主催者	折爪岳振興協議会	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般30名		
研修会		折爪岳星空観察会			
テーマ		天体観測・星空環境			
内容(推進員より)		地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。節電キャンペーンの紹介。			

実施日	10月29日	主催者	株式会社 結	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般34名		
研修会		福祉事業開所10周年記念行事			
テーマ		星空環境・気候変動			
内容(推進員より)		高森高原風力発電所の説明。地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。			

実施日	10月29日	主催者	第二川口学童保育クラブ	推進員	川邊 弥生
		対象	児童22名 職員3名		
研修会		体験を通して楽しみながら環境を学ぶ			
テーマ		地球温暖化・エネルギー・リサイクル			
内容(推進員より)		地球温暖化について、環境紙芝居「南極ペンちゃんの地球があっち」を読んで、身近にできる温暖化対策の紹介。夜の地球の写真からどの国が電気を沢山使用しているか？等やレジ袋削減にむけたエコ風呂敷の包み方を実演したり、クイズを交えて、子供たちに答えてもらいながら進行了。わんこ節電所の紹介をしたり、最後に「はちどりのひとしずく」を読んで、自分に出来る事を進んで実行するようにお話をしました。			

実施日	11月3日	主催者	(株)コミュニティライフ雫石	推進員	吉田 偉峰
		対象	移住に関心のある一般27名		
研修会		2018雫石秋の移住体験ツアー			
テーマ		温暖化・エネルギー問題と地域の星空環境			
内容(推進員より)		地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。岩手の自然と環境保全の取組の紹介。			

実施日	11月6日	主催者	岩手県公衆衛生組合連合会	推進員	林 俊春
		対象	市町村地区衛生組織指導者・市町村担当職員他 108名		
研修会		平成30年度市町村地区衛生組織指導者研修会			
テーマ		ごみ減量・地球温暖化問題、資源リサイクルについて			
内容(推進員より)		地球温暖化の概要(パリ協定とその後の世界の変化)について説明する。また、DVDを活用し2050年の頃の世界の様子や災害の状況について説明する。なお地球上の人口の急激な増加が温暖化の要因であることや生物多様性についても触れ、生物のなかの人間のみが化石燃料である石油や石炭をここ200年の間に掘り出し、地球温暖化をもたらしたことを伝えた。また、最近話題のSDGsとは何なのかを説明し、地球を守り、世界の人々がこれからも持続可能な生活をしてゆくための「ものさし」として考え出された手段であり、その一例として、「海を守ろう」のプラスチック製品100%のリサイクル活動が始まった。2050年を目標にプラゴミのリサイクル100%達成することが世界の目標になっていくであろうことを伝えた。			

実施日	11月7日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	事業者のエコスタッフ12名		
研修会			平成30年度エコスタッフ養成セミナー		
テーマ			事業所における省エネ活動のポイント		
内容(推進員より)			■環境活動を考えることは、自分の将来や未来を考えることにつながると伝える。■今日の目的①環境にやさしいとはなにか、改めて考える。②自分が無意識に行っている、環境にやさしい行動に気づく。③意識して自分から行動する。さらに、④環境に良い製品が、本当に自社に役立つのかよく考え導入する。⑤導入後、発生する初期トラブルに、きちんと向き合い対応する。これらを確認した。■環境の良し悪しを考える場合、インプットやアウトプットまで考えたり、また、上から見たり、裏から見たり、見る位置を色々変えて見たり考えたりする。■私がこれまで、環境にやさしい製品と気づいた物を解説する。コーヒービン、保温便座利用の工夫、エコバック、卵パック等について、実際のサンプルを見せ説明する。環境にやさしい商品造りの会社は、実は人にも優しい会社であることを事例で示し、触れて感じてもらう。■『割り箸を使う』これが環境にやさしいかを質問する。■食品を含む色々な表示にも関心をもつ。例えば、食品表示の『国産』と『国内産』の違い。■人の手間を省いてくれる各種センサーの事例や、温度センサーと人感センサーの使い分け。■その他、2グループ討議での進行や助言、また、結果発表に対する講評を自身のこれまでの経験を交えて話した。		

実施日	11月9日	主催者	雫石町環境対策課	推進員	高橋 良和
		対象	雫石町民12名		
研修会			平成30年度町民環境学習講座		
テーマ			地球温暖化対策		
内容(推進員より)			今年の町民環境講座1～4回は、すべて現場の見学のため、最後の5回目の座学では、テーマを、『「知ろう」・「考えよう」から「行動しよう」』を掲げ、実践の必要性を重視した内容とした。そして、環境は、掛け算であると伝え、それは、(知識)×(気づき)×(実践)の掛け算であり、この実践が伴わなければ、いつまでも実践値はゼロのままで、掛け算の合計値もゼロである。たとえ少しでも実践が伴えば、環境値はプラスになる。この内容を、私のこれまでの経験や、私が気づいた環境に優しい製品の実物を見せながら伝えた。皆さんが、環境に優しいとは何かを判断する場合、(インプット)と(利用・使用)と(アウトプット)、この3つの全体を見て環境を判断すれば、真に環境に優しい製品を見誤ることがないと、気づきの大切さに時間を割いて伝えた。さらに、環境に優しい製品を作る意識の高い会社は、実は人にも優しい製品をも作っていることを併せて伝えた。		

実施日	11月10日	主催者	県北広域振興局経営企画部二戸地域振興センター	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般県民17名		
研修会			御所野縄文WEEK「縄文の星空体験」		
テーマ			縄文の星空体験・地球温暖化		
内容(推進員より)			地域の星空環境と地域のエネルギー消費。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。縄文時代の星空環境、縄文人と星空の関わり。節電キャンペーンの紹介。		

実施日	11月11日	主催者	県北広域振興局経営企画部二戸地域振興センター	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般県民17名		
研修会			御所野縄文WEEK 縄文の星空体験		
テーマ			縄文の星空体験・地球温暖化		
内容(推進員より)			地域の星空環境と地域のエネルギー消費。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。縄文時代の星空環境、縄文人と星空の関わり。節電キャンペーンの紹介。		

実施日	11月11日	主催者	もりおかエコライフ2018実行委員会	推進員	高橋 良和
		対象	一般市民240名		
研修会			もりおかエコライフ2018		
テーマ			省エネ、身近にあるエコ		
内容(推進員より)			■前半は、口笛演奏で集客を図り、同時に口笛は究極の環境にやさしい楽器であるとの説明を通じ、環境にやさしさとは何かの理解と、音の出る仕組みを通じ、空気は無駄なく再利用することでも、環境への優しさを印象深く理解してもらう。■後半の環境講和は、環境は、掛け算であり、それは、(知識×気づき×実践)と解説する。ここでの実践が、(安心・安全・健康)につながることを話す。ただし実践がゼロであれば、これまでの知識や気づきがあっても、プラスにはならないため、環境活動の実践の必要性を伝える。そして、今日は単なる共感で終わらず、実践に繋げてほしい。次に、これまでに環境にやさしいと考える製品等の実物を見ることが、触れることで、その製品の環境への優しさを理解してもらった。また、環境配慮の製品を販売する会社の製品には人へのやさしさがあると現物見本を通じて説明する。それは、コーヒー瓶、卵パック、瓶のふた、蛍光ペンの補充インキ、トイレトーパー等身近な製品とエコを関連付けて説明することで、環境へのやさしさを実感してもらう		

実施日	11月13日	主催者	ひらいずみ地球温暖化対策協議会		推進員	櫻井 則彰
		対象	協議会会員11名			
研修会		ひらいずみ地球温暖化対策協議会研修会				
テーマ		地球温暖化の最新の現状・予測・対策				
内容(推進員より)		・地球温暖化とは何か?・過去100年間の世界の気温上昇はどの位か?・最近頻発する異常気象・地球温暖化のメカニズム・日本の最高気温の更新・私たちの便利な暮らしがCO ₂ の増大を招く・温暖化を防ぐためにどうするのか?・温暖化の緩和策と適応策・2100年の天気予報 IPPCC日本の事務局が作成したPPTデータおよび動画を交え解説を行った。				

実施日	11月17日	主催者	日詰15区いこいの家		推進員	川邊 弥生
		対象	地域住民19名			
研修会		平成30年度日詰15区第4回いこいの家				
テーマ		リサイクルごみ減量				
内容(推進員より)		いわてわんこ節電所の紹介やキャンペーン参加について。温暖化防止にもつながるレジ袋の削減方法として、風呂敷包みの紹介。マイクロプラスチック汚染について。冬の節電やウォームビズ・ウォームシェアについて。使用済牛乳パックを活用した小物入れ作り等。				

実施日	11月19日	主催者	オークフィールド八幡平		推進員	吉田 偉峰
		対象	一般10名			
研修会		星と月in岩手八幡平 星見 オークフィールド八幡平				
テーマ		地域の星空環境と気候変動				
内容(推進員より)		地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。季節の星空と、気候条件や周辺環境による星空環境の変化。天体観測における大気状況、シーイングの影響。				

実施日	11月20日	主催者	花巻市谷内第一行政自治会		推進員	川邊 弥生
		対象	自治会女性部員36名			
研修会		ふろしき変幻自在講座				
テーマ		ごみ減量				
内容(推進員より)		いわてわんこ節電所の紹介とキャンペーン参加について。原油価格の高騰による燃料価格の値上がりについて。身近なペットボトルやレジ袋が原因の海洋マイクロプラスチック汚染について。温暖化防止にもつながるレジ袋の削減方法として、風呂敷活用の紹介。各自風呂敷持参して、包み方の体験。				

実施日	11月21日	主催者	一関市千厩市民センター		推進員	若生 和江
		対象	一般市民12名			
研修会		元気セミナー				
テーマ		エコクッキング講座 食品ロス				
内容(推進員より)		食材を無駄なく使いきる等エコクッキングの実習・郷土料理に込められた昔ながらのエコの知恵を学び鍋帽子を使った省エネクッキング・旬の冬野菜中心の献立の工夫 地球温暖化防止について知る→実践へ。地球温暖化の仕組みや現状について知る・買い物や調理など普段の私達の行動が環境とつながっている事に気づく キリバスの紙芝居で世界で起きている事を深く知る・温暖化の影響を真っ先に受けるのは・・・待ったなしの状況を知り、今からの実践につなげる。				

実施日	11月25日	主催者	イオン前沢チアーズクラブ		推進員	高橋 功
		対象	チアーズクラブ会員5名			
研修会		チアーズクラブ11月度活動				
テーマ		エネルギー				
内容(推進員より)		「エネルギーを考える」というテーマでの依頼であったことから、地球温暖化の仕組みについて説明するとともに、水・風・太陽光のエネルギーを使った水力・風力・太陽光発電について各発電模型を使って体験して頂くとともに、再生可能エネルギーは発電時に二酸化炭素は出さないもののそれぞれに工夫が必要な点があり、国内の約8割は火力発電で電気がつくられている事を説明した。また、災害に備え、北海道でのブラックアウトを知っていただくために作った模型や、台風等で倒れた木が当たって電線が切れる模型で遊びながらブラックアウトの仕組みや切れた電線には絶対に触らないよう話した。				

実施日	11月27日	主催者	一戸町立一戸南小学校	推進員	吉田 偉峰
		対象	なかよし学級と4,5,6年児童計45名		
研修会		理科学習会			
テーマ		星空環境(光害等)			
内容(推進員より)		宇宙の中の地球の場所と、地球から見る宇宙。地球や太陽、月、星々の見え方や動き方。地球温暖化の基礎的メカニズムと地域環境の関係性。地球と生命の関わりと、身近な環境問題、身近な地球温暖化対策。			

実施日	12月4日	主催者	関が丘市民センター	推進員	高橋 悦徳
		対象	一関市民43名		
研修会		関が丘市民センター事業「地球温暖化防止講座」			
テーマ		身近なところから地球温暖化を防ぐ			
内容(推進員より)		1DVD2本による地球温暖化のメカニズムの解説と「私たちのできる事」。はちどりの一滴に学ぼう！2家庭のエコチェックアンケートの実施。3紙芝居キリバス。			

実施日	12月8日	主催者	北上市黒沢尻15区3班 青い鳥子ども会	推進員	川邊 弥生
		対象	子ども会 会員17名 父兄3名		
研修会		冬休み子ども会行事			
テーマ		地球温暖化の現状と対策・排出抑制			
内容(推進員より)		地球温暖化について、環境紙芝居「南極ペンちゃんの地球があっちっ」を読んで、身近にできる温暖化対策の紹介。レジ袋削減にむけたエコ風呂敷の紹介をしてから各自持参した風呂敷で包み方を体験してもらいました。リサイクルできる物の活用法等。			

実施日	12月12日	主催者	岩手県立宮古商業高等学校	推進員	高橋 良和
		対象	全校生徒、教職員、保護者450名		
研修会		平成30年度宮商祭			
テーマ		節電・省エネ			
内容(推進員より)		■演奏を通じて、口笛楽器から環境へのやさしさを伝える。新しいものばかり追い求めるのではなく、今あるものを大切に無駄なく最後まで使いきることが環境行動につながる。日本人は、服を10kg/年を購入し、9kg/年を廃棄している現実がある。また、口笛の音の仕組みでは、生存のため空気を肺に取り込み、余った空気を外に吐き出す、このとき音を作り聴く人を和ませることが出来る。このように口笛は、いかに環境に優しい楽器であるかを一事例として話した。■今日、私が最も伝えたいこと、それは、環境は掛け算であり、【環境力＝(知識)×(気づき)×(行動)】で決まり、いくら環境知識だけでもだめで、また知識が無ければ気づきが得られないこと。さらに、環境行動がゼロであれば、環境力は常にゼロとなる。そこで環境力をプラスにするには、少しでも環境行動を実施する必要があること、この内容を繰り返し、皆さんの記憶に留めてほしいと話す。■飲み水は大切であり、蛇口から安心して飲み水が出る日本は本当に恵まれている。地球上の水を100%とすると、海水の割合は、97%。さらに氷河や地下水の割合は2%。そして、飲料水となる湖沼や河川の水は、わずか0.02%。山の木を切ることで、森林の保水力は低下し、山に降った雨は、直ぐに山の表面から河川に流れ込み、海へと流れだし、その結果として飲み水が減る。■日常生活で、直ぐ100均製品に頼り、購入前の工夫や代用品を探す手間を放棄している。100均製品は、その時は確かに便利であるが、使用後は他への転用が難しく、持ち物が増える原因でもある。また、少しでも破損すれば修理出来ず廃棄となり残念である。■最後に、将来の自分のために、地球環境を考え行動を起こしてほしいと話す。			

実施日	12月15日	主催者	一戸町立図書館	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般20名		
研修会		第6回サイエンス講座 いちのへ☆星空講座～エネルギーのリサイクルが星空を救う！～			
テーマ		温暖化,環境汚染、ごみ、リサイクルなど			
内容(推進員より)		宇宙の中の地球の場所と、地球から見る宇宙。地球や太陽、月、星々の見え方や動き方。地球温暖化の基礎的メカニズムと地球環境の関係性。地球と生命のかかわりと、身近な環境問題、身近な地球温暖化対策。			

実施日	12月19日	主催者	久慈市衛生班連合会	推進員	川邊 弥生
		対象	一般53名 市役所職員5名		
研修会		環境学習講座			
テーマ		地球温暖化、家庭のごみ減量について			
内容(推進員より)		「未来の地球と私たちの暮らし～みんなで考えよう」と題して、温暖化の最新情報を話しました。次に岩手県ごみ速報値から各市町村の排出量について数値を紹介して、北上市のごみ有料化についてはデータを元に詳しく説明。さらにはごみ減量に向けた取り組みを、ごみを減らす初級編・中級編・上級編を紹介。最後に温暖化防止にもつながるレジ袋の削減方法としてエコ風呂敷の簡単な包み方を紹介しました。			

実施日	1月11日	主催者	上田学童保育クラブ	推進員	高橋 功
		対象	児童60名		
研修会		エコカーを走らせよう			
テーマ		エコカー工作づくりを通して地球温暖化防止について学ぶ			
内容(推進員より)		・「エコカー工作から地球温暖化を考えよう」というテーマでの依頼であったことから、地球温暖化の仕組みについて説明するとともに、火・水・風のエネルギーを使った火力・水力・風力発電について各発電模型を使って体験して頂くとともに、国内でつくられている電気の約8/10は火力発電で電気がつくられていて、電気を使っても二酸化炭素が出てくるので節電も温暖化の防止に繋がることを説明した。その後、ペットボトルと輪ゴムを使った“世界に1つだけのエコカーづくり”を行い、楽しく遊んでいた。			

テーマ	地球温暖化の影響と防災の基本
内容(推進員より)	地球温暖化防止活動推進員および防災士として、温暖化でどのような災害が起こり得るか、あるいは傾向として起きていることとその対処について お話しました。地球温暖化の基礎知識としては、気候変動の考え方、温暖化の理由、ひとりひとりが家庭でできる温暖化対策について伝えました。また、防災の面で想定しておかなくてはならない自然災害(大雨や洪水、地震、台風、土砂災害、火山活動など)について、最近の情報をご紹介しました。小学校の理科レベルの内容でも大人になると知っているようで知らないことが多くあるものです。日々のニュースを我が身のことに置き換えながら、リスクに対する備えを考える一助にさせていただきたいと思います。

実施日	1月23日	主催者	盛岡広域振興局	推進員	高橋 功
		対象	エコスタッフ受講生34名		
研修会		平成30年度エコスタッフ養成セミナー			
テーマ		事業所における省エネ活動のポイント			
内容(推進員より)		「職場のエコは家庭から」というサブタイトルで、電気・事務所(住宅)・自動車のエコのポイントや、県内の企業が取り組んでいる事例、そして昨年北海道で発生した大停電(ブラックアウト)を教訓に、エコスタッフとしての対応について、手作りの作品を使い実験を交えながらお話しさせていただきました。			

実施日	2月4日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	県内事業者42名		
研修会		環境マネジメントスキルアップセミナー			
テーマ		事業所における省エネ活動のグループ討議にアドバイス等のできる方			
内容(推進員より)		■Aグループメンバーは、製造業・建設業・行政・設備管理会社であり、何れもISO14001の認証中3社と、残りは認証返却企業であった。このこともあり事例発表の刈谷建設のISO14001認証17年間の省エネ活動の悩みや今後の課題について、例えば目標の数値化では、原単位を取り入れた比較をしてもなかなかうまくいかない等の報告があった。Aグループでは単なる表面的な解決策を追わず、一歩踏み込んだ議論を行い、各社の立場や経験からの自由な議論がなされた。その結果、刈谷建設さんの日常の環境行動につながる方法を考えるにはどうしたらよいかと中身の濃い内容になった。 ■私もこれまでの企業のISOの経験や他社の事例を交えたアドバイスができた。 ■(刈谷建設事例発表は)会社全体目標から個々のCO2削減とその効果が見えない。また原単位での比較で、景気の影響を除く工夫を試みるがあまり効果が得られない。(原因として⇒)現場が点在する影響が大きく、全体目標値が各現場の身近な目標値として感じられないのではないか。(実現性のある新たな目標を提示する⇒)個々の現場の見積もり計算書から、CO2の排出量を計算し、その値の全社共通の削減目標を決める。工事の経過に合わせ、少なくとも週単位の速報値を、全員が見える場所に掲げ、工事終了までに削減目標達成を、現場ごとに協力し目指す。年1回、各工事現場の達成を発表する。			

実施日	2月4日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	鳥山 和夫
		対象	県内事業者42名		
研修会		環境マネジメントスキルアップセミナー			
テーマ		事業所における省エネ活動のグループ討議にアドバイス等のできる方			
内容(推進員より)		事業所における省エネのポイント(グループ討議)事例発表が建設業ということで少し戸惑ったようだが、現場、現場が一つの事業所と捉えて効果の大きい現場からと重点思考で考えるよう指導した。悪い物を減らすだけでなく、環境工法の売り上げを伸ばすことで環境負荷の低減になるよう考えると会社全体が取り組みやすいことをアドバイス。			

実施日	2月4日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	紺野 透
		対象	県内事業者42名		
研修会			環境マネジメントスキルアップセミナー		
テーマ			事業所における省エネ活動のグループ討議にアドバイス等のできる方		
内容(推進員より)			企業の温暖化防止推進策について実際の取組みを発表いただき、聴講した4グループの参加者で意見や情報の交換をし、温暖化防止策について情報共有を図るもので、グループ討議におけるアドバイザーの役割で同席させていただいた。		

実施日	2月4日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	県内事業者42名		
研修会			環境マネジメントスキルアップセミナー		
テーマ			事業所における省エネ活動のグループ討議にアドバイス等のできる方		
内容(推進員より)			省エネ活動に向けたグループ討議の支援者として参加させていただき、省エネ運転への意識を高めるため「給油の都度レシートに平均燃費を記載する」、執務室の省エネに向け「窓とカーテンの間にビニールのカーテンを取り付ける」など助言させていただいた。		

実施日	2月11日	主催者	三陸春風の会 岩山支部	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般10名		
研修会			地球温暖化のお話し会～地球という惑星について知っておきたい事～		
テーマ			地球温暖化		
内容(推進員より)			地域の星空環境と地域のエネルギー消費。温暖化による天体観測、星空観察への影響。地球環境と生物生存可能領域の希少性。惑星大気の組成と気象現象		

実施日	2月17日	主催者	岩手県立県北青少年の家	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般100名		
研修会			ステラパル冬まつり「星空＆宇宙体験」		
テーマ			二戸地域の星空環境		
内容(推進員より)			地球環境と地球温暖化の関係性。光害と地域の星空環境について。研修施設のイベントに併せて、地域の星空環境や天文学宇宙に関する展示を行った。例年好評の宇宙シミュレーターに加えて、大型の地球模型を会場内に配置した。極圏や氷域について関心の高い参加者もあり、地球温暖化対策について理解を深めて頂いた。		

実施日	2月24日	主催者	奥州万年の森ソーラー合同会社	推進員	櫻井 則彰
		対象	小学3,4年生30名		
研修会			環境教室		
テーマ			地球温暖化、太陽光発電の説明、実験		
内容(推進員より)			・電池のエネルギーでモーターが回ることを実演・逆にモーターを回すと電気エネルギーが発生することの説明 ・これを具体化した手回し発電機がある(実物を見せ、実演)・電力会社はどうやって電気を作るのか?・原理は大きなモーターを回して発電する、どうやって大きなモーターを回すか。手段の説明・火力発電の仕組みとCO ₂ の発生、地球温暖化への影響の説明・再生可能エネルギー、特に太陽光発電の仕組みの説明・キットにより太陽光発電により電気エネルギーの発生の実演。		

実施日	3月16日	主催者	盛岡劇場・河南公民館	推進員	粒針 文子
		対象	一般19名		
研修会			平成30年度盛岡市河南公民館講座 環境講座		
テーマ			今こそ実践!プラスチックカットで豊かな暮らし		
内容(推進員より)			「プラスチックカットで豊かな暮らし」というテーマをいただきました。日本各地の浜辺に流れ着く海洋漂着ごみの中でプラスチック製の割合が非常に高いという調査結果を示すと、集まった皆さんもこれほどまでとは思っていらっしやなかったようでした。プラスチックごみのマイクロ化は海洋生物への影響のみならず、人体への影響が世界中で懸念されています。最近マイクロプラスチックが食品にも紛れ込んでいることがわかってきたからです。有害化学物質がプラスチックの製造過程で使われていること、その中には30年以上経っても公害問題となつて解決していないものもあること、私たちの身近なところから出たプラスチック製品が私たち自身の健康を脅かす存在になりつつあることなどをふまえて、地球温暖化防止につながる基本行動の3Rがプラスチック削減にもそのまま当てはまるので特にリサイクルのためには資源の徹底分別が大切なことをお伝えしました。生分解性プラの開発が進めば進むほど、分別は必要なのです。レジ袋はマイバッグに、と唱えるだけでなく、便利なものを適切に使うことで全体的にプラスチックに頼りきってきたものの見直しをするために想像力を働かせ、まずは自ら行動する勇気をもつことをおすすめしました。		

●いわて森のゼミナール推進事業

15

児童・生徒をはじめ広く県民を対象に、森林・林業に対する理解を深めていただく機会を提供することを目的に、「森林学習会」等を開催。

－ 森林学習会 －

No.1	実施日	6月15日	実施校	北上市立口内小学校	講師	菅原 民子/高橋 扶和
			対象	1・2年生 11名		
内容			樹木観察			

No.2	実施日	8月17日	実施校	矢巾町立矢巾東小学校	講師	川村 晃寛/川村 冬子
			対象	4～6年生 60名		
内容			樹木観察			

No.3	実施日	9月4日	実施校	葛巻町立小屋瀬小学校	講師	川村 晃寛
			対象	全学年 25名		
内容			樹木観察			

No.4	実施日	9月7日	実施校	奥州市立胆沢愛宕小学校	講師	佐藤 勤/伊藤 富美子
			対象	5年生 11名		
内容			樹木観察			

No.5	実施日	9月7日	実施校	山田町立大浦小学校	講師	齋藤 眞琴
			対象	3・4年生 5名		
内容			樹木観察			

No.6	実施日	9月11日	実施校	盛岡市立羽場小学校	講師	川村 晃寛/川村 冬子
			対象	2年生 27名		
内容			樹木観察			

No.7	実施日	9月11日	実施校	大船渡市立越喜来小学校	講師	千田 永久世
			対象	3年生 13名		
内容			樹木観察			

No.8	実施日	9月14日	実施校	一関市立舞川小学校	講師	千田 典文
			対象	5年生 10名		
内容			樹木観察			

No.9	実施日	9月17日	実施校	盛岡市立飯岡小学校/盛岡市立永井小学校/盛岡市立羽場小学校 共同所有 学校林	講師	川村 晃寛/川村 冬子
			対象	1～6年生 27名		
内容			学校林活用			

No.10	実施日	9月19日	実施校	盛岡市立大慈寺小学校	講師	泉 桂子/松木 佐和子/道原 僚
			対象	3年生 26名		
内容			樹木観察			

No.11	実施日	9月20日	実施校	盛岡市立玉山小学校	講師	浜津 ミサノ
			対象	1～3年生 14名		
内容			樹木観察			

No.12	実施日	9月26日	実施校	宮古市立崎山小学校	講師	齋藤 眞琴/平塚 喬/岩間 良明
			対象	1年生 35名		
内容			樹木観察			

No.13	実施日	9月26日	実施校	大船渡市立赤崎小学校	講師	千田 永久世
			対象	5学年 18名		
内容			樹木観察			

No.14	実施日	9月28日	実施校	奥州市立大田代小学校	講師	阿部 永宏/菅原 民子/早川 京子
			対象	全学年 19名		
内容			樹木観察			

No.15	実施日	10月2日	実施校	久慈市立夏井小学校	講師	中野 雅幸
			対象	1～4年生 12名		
内容			樹木観察			

No.16	実施日	10月2日	実施校	花巻市立内川目小学校	講師	高橋 修
			対象	1・2年生 8名		
内容			樹木観察			

No.17	実施日	10月5日	実施校	奥州市立伊出小学校	講師	菅原 民子/小沢 宗
			対象	5年生 8名		
内容			樹木観察			

No.18	実施日	10月5日	実施校	葛巻町立江刈小学校	講師	川村 晃寛
			対象	全学年 30名		
内容			樹木観察			

No.19	実施日	10月13日	実施校	盛岡市みたけ児童センター	講師	浜津 ミサノ/泉 桂子
			対象	1～3年生 18名		
内容			樹木観察			

No.20	実施日	10月15日	実施校	一関市立中里小学校	講師	千田 典文
			対象	4年生 45名		
内容			樹木観察			

No.21	実施日	10月17日	実施校	雫石町立御明神小学校	講師	川村 晃寛/川村 冬子
			対象	4年生 14名		
内容			学校林活用			

No.22	実施日	10月22日	実施校	葛巻町立小屋瀬小学校	講師	川村 晃寛
			対象	全校生徒 25名		
内容			森林散策			

No.23	実施日	10月22日	実施校	遠野市立達曽部小学校	講師	道原 僚/道原 純子
			対象	5・6年生 9名		
内容			樹木観察			

No.24	実施日	10月24日	実施校	洋野町立帯島小学校	講師	中野 雅幸/小原 良樹/橋上 智/辻 鼻 均/中野 大六
			対象	4～6年生 35名		
内容			学校林活用			

No.25	実施日	1月8日	実施校	矢巾町立矢巾東小学校	講師	川村 晃寛/川村 冬子
			対象	4～6年生 60名		
内容			樹木観察			

No.25	実施日	2月13日	実施校	久慈市立久慈小学校	講師	中野 雅幸/小原 良樹
			対象	5年生 37名		
内容			樹木観察			

団体名

やまんばプロジェクト

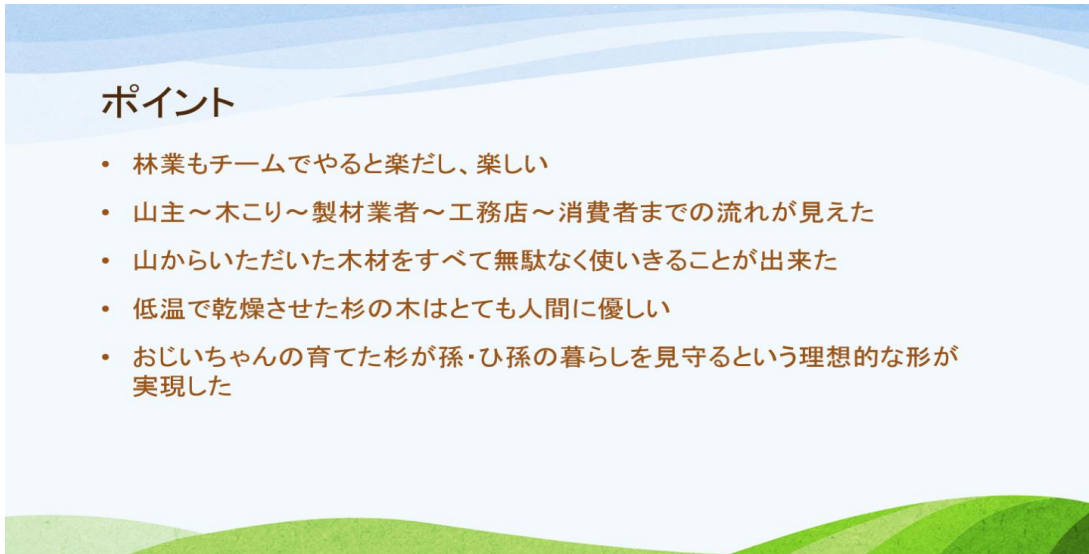
開催日時	2018年7月24日(火)10:00～12:00		2.00	出席者	● 川村 晃寛 西島 富士子 櫻井 則彰
開催場所	西島富士子氏自宅 (一関市舞川梅木)				
開催回数	第1回	開催目的	森ゼミ候補地区(キーパーソン)の意思確認等		

森ゼミ候補地区(キーパーソン)の意思確認等

やまんばプロジェクトを主宰する西島さん宅を訪問し、森の実践ゼミナール候補地の下見(これについては後日に活動を見せってもらうことになった)と、プロジェクトの概要を伺った。既に県民参加の森林づくり促進事業に応募しようと企画書も前年度作っており、候補地として申し分ないように思えた。今後はプロジェクトの概要を拝見させていただきながら、森林づくり、人材づくりの、促進事業の応募の観点からアドバイスを行うことになった。

やまんばプロジェクトの概要を記したパワーポイント

活動内容



ポイント

- ・ 林業もチームでやると楽し、楽しい
- ・ 山主～木こり～製材業者～工務店～消費者までの流れが見えた
- ・ 山からいただいた木材をすべて無駄なく使いきることが出来た
- ・ 低温で乾燥させた杉の木はとても人間に優しい
- ・ おじいちゃんの育てた杉が孫・ひ孫の暮らしを見守るという理想的な形が実現した

森の実践ゼミナール活動報告書				
団 体 名				
やまんばプロジェクト				
開催日時	2018年9月15日(土)09:00～15:00		6.00	出席者 ● 川村 晃寛 西島 富士子 櫻井 則彰 その他7名
開催場所	古民家(一関市東山町松川字岩の下397)			
開催回数	第2回	開催目的	やまんばプロジェクトの現地調査	
活動内容	やまんばプロジェクトのひとつ、古民家リノベーションを行う「やまんばの学校」を通して、木材の使い方やそれに必要な知識(家の構造とリノベーションの仕方、木材の使い方等について)をどのように得ているか、現地調査を行った。 現地調査は実際に行う「やまんばの学校」を体験する手法で行った。			
				
				
				

森の実践ゼミナール活動報告書

団 体 名

やまんばプロジェクト

開催日時	2018年10月6日(土)12:00~15:00	3.00	出席者	● 川村 晃寛 西島 富士子 その他6名
開催場所	古民家(一関市東山町松川字岩の下397)			
開催回数	第3回	開催目的		
		やまんばプロジェクトの現地調査		

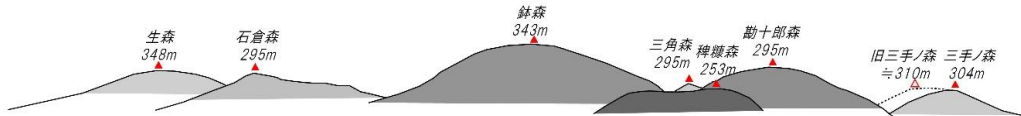
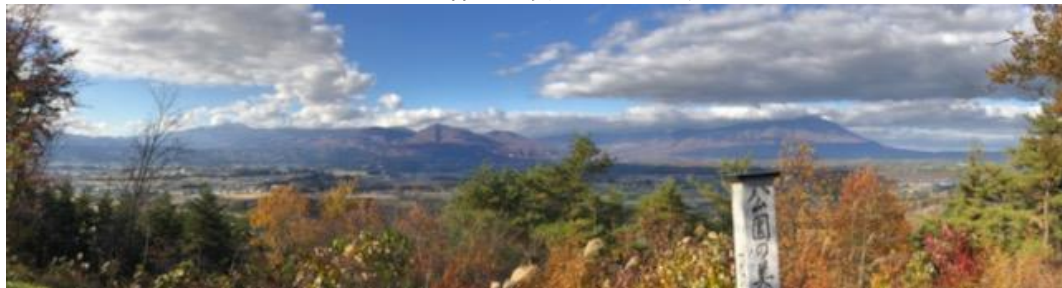
活動内容

- ・「やまんばの学校」の2回目の出席。この活動を通して最終的なプロジェクトの目的と、主催者である西島さんに促進事業でこのプロジェクトを展開する場合、何がネックになっているか聞いた。

※現行の促進事業では、多様な森づくりの課題に対応できないという点で一致した。



森の実践ゼミナール活動報告書				
団 体 名				
SEVEN FOREST PROJECT (セブン・フォレスト・プロジェクト)				
開催日時	2018年7月24日(火) 15:00～17:00		2.00	● 川村 晃寛 徳田 慎太郎 徳田 真理子 櫻井 則彰
開催場所	徳田慎太郎・真理子氏自宅 (雫石町七ツ森105-18)			
開催回数	第1回	開催目的	森ゼミ候補地区(キーパーソン)の意思確認等	
活動内容	徳田さんたちの活動は、地域活性化(世代や地域を超えた交流が期待できる)とバリアフリーをテーマに雫石(七ツ森)の自然を活用し、子供から大人まで年代・性別・さらに、障がいの有無なども越え、人と人がつながりあうことを大きな目的としている。そのうち「SEVEN FOREST PROJECT」とは、おとなと子どもの森のがっこうを指し、おおよそ年3回開催予定で、雫石町の中で周辺の市とアクセスがよく生森森林公園など、一般市民が利用できる公園があり、イベントなどに活用できる畑や小屋などの提供が見込める七ツ森地域にて、森遊び・畑作業などを通して自然に親しむ活動。また、自然環境や教育、障害などに精通した講師による講演、ワークショップなども実施する。 年次計画&ワークショップ各回の予定内容を見ると、すでに平成30年度雫石町ふるさと文化振興基金助成事業交付申請を行っており、今後、県民参加の森林づくり促進事業の候補地として申し分ないように思えた。 今後はプロジェクトの概要を拝見させていただきながら、森林づくり、人材づくりの、促進事業の応募の観点からアドバイスをを行うことになった。			
				

森の実践ゼミナール活動報告書				
団 体 名				
SEVEN FOREST PROJECT (セブン・フォレスト・プロジェクト)				
開催日時	2018年11月4日(日)15:00～17:00		2.00	● 川村 晃寛 出席者
開催場所	七ツ森生森地内 (雲石町七ツ森)			
開催回数	第4回	開催目的	セブン・フォレスト・プロジェクトの現地調査	
活動内容	七ツ森の活かし方を探っていたが、樹液採取の可能性に気づき、その調査を行った。ウリハダカエデが10数本自生していることがわかり、十分活用できると判断した。また、伐採により七ツ森全体が見渡せる場所が現出しており、この展望箇所や伐採によりしやすくなった七ツ森のトレッキングを、今後の活動に生かせることを確認した。			
				
	 七ツ森全山展望地からの眺め			
	 生森頂上からの展望			
	 生森に自生するウリハダカエデとその分布状況			

森の実践ゼミナール研修会						
行事名						
第1回研修会						
開催日時	2018年9月30日(日)13:00～16:30			出席者	● 川村 晃寛 若生 和江 木戸 良平 木戸 章子 西島 富士子 徳田 眞太郎	菊地 明子 徳田 真理子 櫻井 則彰
開催場所	紫波町山屋・木戸良平氏宅(筆筈工房はこや)					
開催回数	第1回	開催目的	森林環境学習地域プラン作成に向けての検討			
活動内容	挨拶 認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて 事務局長 櫻井 則彰 岩手県農林水産部森林整備課 計画担当(普及・担い手) 主任主査 菊地 明子 様 平成30年度森の実践ゼミナール候補地概要の紹介 1.雫石町 徳田慎太郎 様(SEVEN FORESTプロデューサー) 2.一関市 西島富士子 様(岩手やまんばプロジェクト代表) 県民参加の森づくり促進事業について 講師 森林インストラクター 川村 晃寛 氏 講師 いわての森林づくり県民税事業評価委員 若生 和江 氏 アンケート					
行事名						
第2回研修会						
活動内容	2019年2月16日(土)13:00～16:30			出席者	● 川村 晃寛 若生 和江 木戸 良平 木戸 章子 西島 富士子 徳田 眞太郎	櫻井則彰
	紫波町山屋・木戸良平氏宅(筆筈工房はこや)					
	第2回	開催目的	森林環境学習地域プラン作成に向けての検討			
	挨拶 認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて 事務局長 櫻井 則彰 平成30年度森の実践ゼミナール候補地概要の紹介 1.雫石町 徳田慎太郎 様(SEVEN FORESTプロデューサー) 2.一関市 西島富士子 様(岩手やまんばプロジェクト代表) 県民参加の森づくり促進事業について 講師 森林インストラクター 川村 晃寛 氏 講師 いわての森林づくり県民税事業評価委員 若生 和江 氏 アンケート					

認定特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて

〒020-0124 岩手県盛岡市厨川 5 丁目 8 番 6 号

TEL:019-681-1904 FAX:019-681-1906

環境学習交流センター

岩手県地球温暖化防止活動推進センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 7-1 アイーナ 5F

TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

E-mail:eco@aiina.jp(環境学習交流センター宛)

iccca@aiina.jp(岩手県地球温暖化防止活動推進センター宛)

